

講義科目名称： 心理学

授業コード： 4P001

英文科目名称： Psychology

対象カリキュラム： 2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1学年	2単位	必修
担当教員	担当者		
榎本 光邦			

授業形態	講義（14コマ）、演習（1コマ）。講義中、随時10分程度の小演習（個別・グループ）も取り入れる。		担当者
授業計画	第1回	<p>心理学の歴史と方法 本講義のテーマ、講義の展開予定、受講上の注意などについて説明をする。また、心理学の歴史と研究方法について学び、本講義の到達目標について展望する。 key words：哲学における心理学、実験心理学の始まり（ヴェント）、ヴェント批判（ゲシュタルト心理学、行動主義、精神分析）</p>	榎本光邦
	第2回	<p>脳と心理学 脳科学と心理学は密接な関係にある。本講義では、心の働きの基盤となる脳と神経の基礎的な仕組みと働きについて学習する。 key words：人間の脳の構造、脳の働き、高次脳機能障害</p>	榎本光邦
	第3回	<p>心の発達 年齢によって人間の一生を大まかに分け、それぞれの区分における特徴や変化に焦点を当てて、これらの方向性や順序性を明らかにしていく心理学の分野は「発達心理学」とよばれている。本講義では人間の発達の諸側面、子どもの認知発達について学ぶ。 なお、本講義は初級障がい者スポーツ指導員の基準カリキュラム「各障がいの理解（知的障がい）」に該当する（知的障がいについて扱う時間は0.5時間）。 key words：こどもの認知発達（ピアジェ）、こどもの社会性の発達、生涯発達心理学、知的能力障害</p>	榎本光邦
	第4回	<p>発達障害 平成19年度から全国で特別支援教育が開始され、ここ数年の間に発達障害に関する知識が急速に広まっている。本講義では代表的な発達障害であるAD/HD、SLD、自閉スペクトラム症の特徴について学び、支援の方法について理解を深める。 なお、本講義は初級障がい者スポーツ指導員の基準カリキュラム「各障がいの理解（知的障がい）」に該当する（講義時間は1.5時間）。 key words：発達障害、AD/HD、SLD、自閉スペクトラム症、太田ステージ理論、特別支援教育</p>	榎本光邦
	第5回	<p>感覚と知覚 人間が外界に適応した行動をとるためには、外界を理解する必要がある。本講義では、我々が外界の情報を受容し、それを利用する手段である感覚と知覚について学ぶ。 key words：感覚、知覚的な体制化、奥行き知覚と知覚の恒常性、錯覚、運動の知覚</p>	榎本光邦
	第6回	<p>学習 一般に学習というと、学校における教科学習を想像するが、心理学において学習とは「経験によって生ずる行動の変容」と定義される。本講義では、行動主義が提唱した学習原理と、社会的学習理論を概観する。 key words：古典的（レスポナント）条件づけ（パブロフ）、オペラント条件づけ（スキナー）、社会的学習理論（バンデューラ）</p>	榎本光邦
	第7回	<p>記憶と思考 感覚・知覚によって入力されてきた情報は、私たちが環境に適応するために使用される。そのためには、情報を効率的に貯蔵し、この使用の方法についての戦略が必要になる。心理学では前者の課程を「記憶」と呼び、後者の課程を「思考」とよぶ。本講義では、人間の記憶と思考の仕組みについて学習する。 key words：記憶のしくみ、記憶の二重貯蔵モデル、問題解決と意思決定、推論</p>	榎本光邦
	第8回	<p>動機づけと情動 人の行動は多様であるが、それぞれの行動には、その行動と結びついた特定の原因があると考えられる。例えば、Aさんが勉強を中断して夜食を食べたのは「空腹だったから」であろうし、また、恋人と別れてBさんが泣いたのは「悲しかったから」であろう。行動の原因と考えられるもののうち、前者のグループは「動機づけ」とよばれ、後者のグループは「情動」とよばれる。本講義では、人間の動機づけと情動について理解を深める。 key words：動機づけと欲求、マズローの欲求階層モデル、感情・情動、表出行動とコミュニケーション、動機づけと情動の病理</p>	榎本光邦

	<p>第9回 性格 私たちはそれぞれ、他の人とは違うその人らしい考え方、感じ方、そして行動の仕方（行動様式）を持っている。このような考え方や行動の仕方は、状況の変化にも関わらず、時や場所を越えて、比較的一貫し、安定している。このことから、私たちに、このような個人の独自性と統一性をもたらすものが存在すると考えられ、それは「性格」とよばれる。本講義では性格の代表的な理論である「類型論」と「特性論」や性格の5因子モデルについて学ぶ。講義の後半では、臨床の現場で用いられる性格検査を体験する。 key words：類型論，特性論，性格の5因子モデル，性格検査の信頼性と妥当性</p> <p>第10回 対人関係と集団 人は生きていく中で、様々な他者と出会い、交流しながら関係を築いていく。人間は本質的に一人では生きていくことのできない存在だからである。しかし、他者とともにあることは、人生を豊かにする半面、様々な苦悩の源泉ともなる。本講義では、私たちが他者をどのようにとらえ、関わっているか、他者からどのような影響を受けているかを学習する。 key words：対人認知，対人感情，関係の維持</p> <p>第11回 臨床心理学（1） 「精神分析」 精神分析とは、オーストリアの神経学者フロイトによって創始された人間の心を研究する方法であり、理論であり、精神疾患や不適応の治療法である。本講義では、心理療法としての精神分析を中心に、その基本概念について学習する。 key words：意識，前意識，無意識，エス（イド），自我，超自我，エディプス・コンプレックス</p> <p>第12回 臨床心理学（2） 「分析心理学」 分析心理学はスイスの精神医学者カール・グスタフ・ユングによって創始された心理学・心理療法であり、一般にユング心理学として知られている。ユングは当初フロイトから強い影響を受けたが、その理論の違いからフロイトと決別することになる。本講義では、フロイトの理論との比較を通してユングの理論について理解を深める。 key words：個人的無意識，普遍的無意識，元型，症状の持つ意味，夢分析</p> <p>第13回 臨床心理学（3） 「クライアント中心療法」 カール・ロジャースは20世紀アメリカを代表する心理学者の1人である。ロジャースは人間の本質を善ととらえる人間観に基づき、人間の成長力、主体性を重視し、心理療法を「クライアント中心」に進めていくという大きな変革をもたらした。本講義ではロジャースの生涯をたどり、その理論の変遷について理解する。 key words：クライアント中心療法，パーソン・センタード，静かなる革命，受容，共感，自己一致，建設的なパーソナリティ変化が生じるための必要かつ十分な条件</p> <p>第14回 心理療法（1） 「コラージュ療法」演習 心理療法とは、「心の問題」に対する心理学の知見を用いた援助である。本講義では、心理療法の中でも「芸術療法」と呼ばれるものの1つである「コラージュ療法」を体験する。 key words：心理療法，芸術療法，コラージュ療法</p> <p>第15回 心理療法（2） 「箱庭療法」 箱庭療法はローエンフェルトによって考案され、その後、カルフがユングの考えを導入して発展させ、河合隼雄によって我が国へ導入され、さらに世界中に広がった技法である。本講義では、箱庭療法の分析方法を紹介し、それを応用し、自らが作成したコラージュについて検討を行う。 key words：コラージュ療法，箱庭療法，空間象徴</p>	榎本光邦
科目の目的	<p>心理学を学ぶことにより、社会を見つめる感性や現代を生きる人間としての生き方について考える力を養う。自己および他者への理解を深め、社会の中で適応的に生活するために必要な心理学の知識を身に付けることを目的とする。 なお、第3・4回目の講義は初級障がい者スポーツ指導員の基準カリキュラム「各障がいの理解（知的障がい）」に該当する（講義実施時間は合計2.0時間）。</p> <p>ディプロマポリシー：【倫理観と幅広い教養】【基本的知識と技術】【地域リハビリテーションの理解・問題解決力】【自己研鑽・探求力】</p>	
到達目標	<p>1. 心理学理論による人間理解を深めるとともに自分について振り返る。 2. 心理学的援助の概要と方法について理解し、自らの専門分野に活かす。</p>	
関連科目	<p>【教養・共通基盤科目群】教育学，教育心理学，生命倫理，哲学，人間と宗教，家族社会学，生活文化と医療，人口知能・ロボットと社会，人間関係・コミュニケーション論，基礎統計学，情報処理，情報リテラシー，データサイエンス入門，大学の学び入門，大学の学び一専門への誘い，多職種理解と連携</p> <p>【専門基礎科目群】生理学Ⅰ，生理学Ⅱ，生理学実習，人間発達学，生涯発達心理学，学習・認知心理学，心理測定法，行動科学とリハビリテーション，公衆衛生学，神経内科学，精神医学，小児科学，チーム医療とリハビリテーション，臨床心理学，医療統計学，社会福祉・地域サービス論</p> <p>【専門科目群】障害者スポーツ・レクリエーション論，発達支援理学療法学，災害保健学</p>	
成績評価方法・基準	<p>定期試験（レポート形式・50%）に毎回の講義後に作成する小レポート等の評価（50%）を加味して評価する。小レポートの内容に対するフィードバックは次回の講義の冒頭に行う。</p>	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	<p>準備学習の内容については前回の講義時に指示をする。各単元について、1時間程度の予習・復習を行うことを目安とする。 講義資料は、概ね講義の1週間前までにActive Academyにて配布するので、各自ダウンロードし</p>	

	ておくこと。
教科書・参考書	【教科書】 山祐嗣・山口素子・小林知博編著（2009）「基礎から学ぶ心理学・臨床心理学」 北大路書房
オフィス・アワー	月・水・木・金の昼休み（1号館3階305研究室）
国家試験出題基準	なし
履修条件・履修上の注意	講義中の私語，スマートフォン・携帯電話の使用，講義と関係のない作業（他の科目の学習等）は禁止します。注意しても止めない場合や，それらの行為が頻回に見られる場合は退室を命じ，その回の講義の出席を認めない場合もあります。

講義科目名称： 教育学

授業コード： 4P002

英文科目名称： Education

対象カリキュラム： 2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	2単位	選択
担当教員	担当者		
安藤 哲也			

授業形態	講義（グループワーク等の演習を含みます） 15コマ		担当者
授業計画	第1回	なぜ「教育学」を学ぶのか？ 本講義の目的、展開予定、受講上の注意に関する説明と本講義の到達目標の展望。 自分にとって教育学を学ぶことの意味について考える。	安藤哲也
	第2回	教育とは？ 先人(大村はま、斎藤喜博、東井義雄)の教育観や教育実践を知り、自身が経験してきた教育を振り返ることを通して、教育の在り方について考える。	安藤哲也
	第3回	現代の日本の学校教育 学習指導要領の変遷を基に、改訂当時の社会状況などを知ることを通して、それぞれの時期に目指した学校教育の有り様の背景について考える。	安藤哲也
	第4回	世界の教育思想Ⅰ ※提出課題あり 代表的な先人(コメニウス、ロック、ルソー)の教育思想について調べ、交流することを通して、社会の有り様と教育との関連や現代の教育との関連について考える。 提出された課題は、学習資料として全体で共有し、学びを広げる。	安藤哲也
	第5回	世界の教育思想Ⅱ ※提出課題あり 代表的な先人(ペスタロッチ、ヘルバルト、デューイ)の教育思想について調べ、交流することを通して、社会の有り様と教育との関連や現代の教育との関連について考える。提出された課題は、学習資料として全体で共有し、学びを広げる。	安藤哲也
	第6回	現在の学校教育が指すもの 新学習指導要領の記述を基に、自身が経験した教育内容を振り返ることを通して、現在の学校教育が指す教育の有り様について考える。	安藤哲也
	第7回	潜在的なカリキュラムとは？ 複数の事例を基に潜在的なカリキュラムが及ぼす影響について考えることを通して、教育行為の基盤となるものにまで視野を広げる。	安藤哲也
	第8回	子どもの思いに基づく幼児期の教育 「環境を通して行う教育」「遊びを通しての総合的な指導」といった幼児教育の基本について知ることを通して、自身の専門領域における指導の在り方を考える。	安藤哲也
	第9回	子どもの思いを理解する ビデオ映像を基に、一連の保育場面における子どもの思いを読み取ることを通して、子ども理解の方法とその重要性について具体的に考える。	安藤哲也
	第10回	子どもの思いを指導に活かす ビデオ映像を基に、子どもの思いを環境構成や保育者の関わり方に重ね合わせることを通して、子どもへの指導の在り方を具体的に考える。	安藤哲也
	第11回	活動を通して学ぶということ 自身の学校経験を振り返るとともに、特別活動を具体的に体験することにより、活動を通して学ぶことの意義を見出す。	安藤哲也
	第12回	集団で活動することの意義 小集団での活動を具体的に体験することにより、特別活動を指導する上で重要視する3つの視点から、子どもにとっての困難さや意義について考える。	安藤哲也
	第13回	特別活動で何を育てるのか？ 特別活動を具体的に体験し、活動を通しての学びを実感することにより、教師の視点から特別活動の意義や指導の在り方を考える。	安藤哲也
	第14回	チームの重要性 前回までの活動に基づくカンファレンスを通して、教職員同士の協働性や同僚性、学び合いの大切さについて考える。	安藤哲也
	第15回	「教育学」をどう活かすか？ ※課題レポートあり 「教育学」で得た学びの活かし方に関する考えを交流することを通して、自身のキャリア形成について幅広い視野から考えを深める。	安藤哲也

科目の目的	学校教育を中心とした自身の教育経験を対象化し、教育内容や教育方法、教師の資質などについて、幅広い視点から振り返り、具体的に考察することを通して、対人援助職に共通して必要となる知識を見出すことを目的とします。【倫理観と幅広い教養】【基本的知識と技術】【地域リハビリテーションの理解・問題解決力】【自己研鑽・探求力】
到達目標	本授業で得た教育に関する学びを自身の専門領域に引き寄せ、何を、どのように活かせるかについて考えを深め、自分の言葉で述べるができる。
関連科目	教育心理学
成績評価方法・基準	①毎回の授業で使用するワークシートの内容（課題解決過程や振り返りの内容）と②課題レポートの内容を総合して評価します。配点は、①が70%、②が30%です。 ①は、毎回のめあてに近づく思考がなされているか、鍵概念を理解できているかという観点で評価します。そして、評価に基づいたコメントを付し、次回に返却することを通して、個々の学びを深めていきます。 ②は、本授業のまとめとして作成し、本授業での学びを自分の将来像(生き方)に意味付けているかという観点で評価します。第15回に他者と交流することを通して、幅広い視点から自分の学びを見つめ直します。その上で、評価の観点に基づいたコメントを付し、個々に返却します。
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	事前に配布する講義資料を基に予習をするとともに、返却されたワークシートを基に復習をしましょう。予習・復習に必要な時間の目安はそれぞれ90分程度です。
教科書・参考書	教科書は使用しません。必要な資料は適宜配布します。
オフィス・アワー	授業の前後(場所:非常勤講師室)でお願いします。
国家試験出題基準	
履修条件・履修上の注意	講義で使用する資料は、原則として前回授業の翌日にActive Academyにより事前配布します。各自、事前に取得しておいて下さい。

講義科目名称： 教育心理学

授業コード： 4P003

英文科目名称： Educational Psychology

対象カリキュラム： 2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1学年	2単位	選択
担当教員	担当者		
鎌田 依里			

授業形態	講義（演習＝エクササイズを含む）15回		担当者
授業計画	第1回	教育心理学を学ぶ意義 ガイダンス 学校教育とは 子供の誕生と消滅 エクササイズ（思い出に残る先生）	鎌田 依里
	第2回	発達の視点を持つ 様々な発達理論 思春期とは？ エクササイズ（自分史グラフ）	鎌田 依里
	第3回	思春期の仲間関係の発達 ギャンググループ チャムグループ ピアグループ エクササイズ（自分たちの体験を振り返る）	鎌田 依里
	第4回	児童期 フロイトの自我理論 心理学のあゆみ エクササイズ	鎌田 依里
	第5回	乳幼児期① 生理的早産仮説 有能な赤ちゃん 愛着形成 エクササイズ	鎌田 依里
	第6回	乳幼児期② ビデオ学習「赤ちゃん」	鎌田 依里
	第7回	青年期の心理と課題 エリクソンの発達理論 エクササイズ（アイデンティティ・ステイタス）	鎌田 依里
	第8回	自己概念 ジェンダー・アイデンティティ 男女の会話スタイル エクササイズ	鎌田 依里
	第9回	学校教育相談 ビデオ学習「学校教育相談」 学校教育相談の歩み チェーン・インタビュー	鎌田 依里
	第10回	学校教育相談② アサーション アクティブ・リスニング エクササイズ（聞く態度で信頼関係はつくられる）	鎌田 依里
	第11回	特別支援教育② 特別支援教育に至る経緯 発達障害の概念の整理 エクササイズ（視覚優位か聴覚優位か）	鎌田 依里
	第12回	教育現場での実践的諸問題① ビデオ学習「多様な性の子どもたち」 不登校やいじめの背景にある性的マイノリティ	鎌田 依里
	第13回	教育現場の実践的諸問題② ビデオ学習「傷つき傷つけられた果てに」 摂食障害 自傷行為（リストカット）	鎌田 依里
	第14回	学校教育と自己肯定感 自己肯定感 エレファントシンドローム エクササイズ（OKマークをペタン）	鎌田 依里
	第15回	学校臨床学という視点 自己実現 エクササイズ（様々な私） まとめ	鎌田 依里
科目の目的	自分や周囲が体験してきた教育を振り返り、その心理的意味を考察することで、人間を理解し、人との関係の取り方や自分自身の有り様を見つめる。【倫理観と幅広い教養】【基本的知識と技術】【地域リハビリテーションの理解・問題解決力】【自己研鑽・探求力】		
到達目標	教育心理学の概要を自分および周囲の人々の体験から理解し、自分自身を考察し、他者との効果的な関係づくりを習得する		
関連科目	教育学 心理学 臨床心理学		
成績評価方法・基準	定期試験（レポート形式・70%）に、毎回の受講後に作成する小レポートの評価（30%）を加味して評価する。小レポートの内容に対するフィードバックは次回の講義の冒頭に行う。		

準備学習の内容・ 準備学習に必要な 学習時間の目安	講義終了時に、次回の予告をする。格別準備はいらないが自分の教育体験をよく想起しておく（45分程度）
教科書・参考書	【教科書】石隈利紀（編）（2019）「公認心理師の基礎と実践18 教育・学校心理学」遠見書房 参考書： 保坂亨著「いま、思春期を問い直す」東京大学出版会 2010年 近藤邦夫他編「子どもの成長 教師の成長～学校臨床の展開」2000年 神田橋條治著「発達障害をめぐって」岩崎学術出版社 2018年
オフィス・アワー	昼休み及び授業前後
国家試験出題基準	
履修条件・履修上の注意	とくになし

講義科目名称：健康スポーツ理論

授業コード：4P004

英文科目名称：Sports Science

対象カリキュラム：2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
衣川 隆			

授業形態	講義（14回）・演習（1回）	担当者
授業計画	第1回 健康管理概論 1. ヘルスプロモーション（健康づくり） 2. 予防医学 3. 生活習慣病（NCD）概論	衣川隆
	第2回 健康づくり施策概論 1. 健康日本21（2011）のこれまでの取り組み 2. 健康日本21（第二次）（2013）とは？ 1. 健康日本21（2011）のこれまでの取り組み 3. 日常生活の歩数の増加 日常生活のなかで積極的に体を動かそう 4. ライフスタイルと生活習慣病	衣川隆
	第3回 生活習慣病（NCD） 1. メタボリックシンドローム 2. 高血圧 3. 糖尿病 4. ロコモティブシンドローム 5. 悪性新生物（がん） 6. 認知症	衣川隆
	第4回 運動生理学 1. 呼吸・循環器系と運動 2. 脳・神経系と運動 3. 骨格筋系と運動	衣川隆
	第5回 機能解剖学 1. ハムストリングスの肉離れ ～アスリートを悩ます重大な障害～ 2. 筋肉の種類や分類法	衣川隆
	第6回 健康づくり運動の理論（トレーニングと筋肥大・栄養・骨） 1. 体力トレーニングの原理と原則 2. 強度の条件（主にコンセントリック） 3. 筋トレセット間の休憩時間 4. 筋力トレーニングと栄養（トレーニング50対栄養50） 5. 骨について	衣川隆
	第7回 健康づくり運動の理論（ストレッチ） 1. ストレッチの種類は大きく分けて2種類	衣川隆
	第8回 スポーツ障害と予防健康管理概論 1. スポーツ障害とは	衣川隆
	第9回 体力測定と評価 1. 体組成とは	衣川隆
	第10回 運動プログラムの実際 1. 健診結果と特定保健指導の基準値 2. メディカルチェック	衣川隆
	第11回 運動と心の健康増進 1. 喫煙とメンタルヘルス、運動 2. 多くの現代人を悩ませる「睡眠負債」とは？	衣川隆
	第12回 栄養摂取を考察する 1. 栄養素の種類と働きを考察する	衣川隆
	第13回 健康についての雑学（食事・栄養） 1. ダイエットに関する情報 2. 危険な4つの食べ物	衣川隆
	第14回 健康についての雑学（心・体） 1. 健康とこころ（心理学に学ぶ） 2. アナトミートレイン 3. その他	衣川隆
	第15回 スポーツ小テスト 1. 授業中に課題を出した柔軟性の小テストを実施する	衣川隆

科目の目的	<p>「健康と運動」、「老化と運動」に関しその維持と増進方法について、なぜ運動が重要なのかを学ぶ。特に有酸素運動と筋トレの効果は、心肺機能、呼吸器の向上、筋力の向上と筋肥大だけでなく、肥満防止や生活習慣病の予防・改善、姿勢の改善、高齢者生活の障害を低減すること等を説明する。本講義では有酸素運動や、筋力トレーニングを体験しながらその効果をも医療従事者として、地域社会に発信できるよう基礎を学ぶ。</p> <p>またスポーツを行なうことや、その能力を高めることに心の問題は切り離せない。本講義では、スポーツ心理学の概要と自己の目標設定の考え方、情動の自己コントロールについて振り返り、起こり得る問題の対策を学習する。そして生涯にわたって専門分野を探求し、その発展に貢献できるよう考え方を学ぶ。</p> <p>【倫理観と幅広い教養】 【基本的知識と技術】 【地域リハビリテーションの理解・問題解決力】 【自己研鑽・探求力】</p>
到達目標	<p>「健康と運動」、「老化と寿命」等に関しその維持と増進方法について考えるにあたって、日常生活とスポーツ、正しい筋力トレーニングやストレッチの方法を理解し、自発的に生涯に渡ってスポーツに取り組む心を身に着ける。またスポーツ心理学において、自己の目標設定と情動の自己コントロールを中心に学び、知識・行動を身に付ける。</p>
関連科目	健康スポーツ実技
成績評価方法・基準	<p>定期試験（70%）、授業内テスト（30%）</p> <p>定期試験は100点満点で実施するが70点満点に換算。授業内テストは3回実施して各10点満点で採点して合計で30点満点とする。</p>
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	<p>1日（24時間）の生活リズムにおいての、自分自身の健康や体力、栄養について管理をしておくこと。よって1日1回はどこかで運動を行い、食事についてもタイミングと栄養について考えてもらいたい。</p>
教科書・参考書	<p>教科書 アクティブアカデミーにて授業資料を配布します。</p> <p>参考書 「トレーニング：健康・スポーツ科学講義 第2版」出村慎一監修 杏林書院 「これから学ぶスポーツ心理学」荒木雅信監修 大修館書店</p>
オフィス・アワー	講義室または体育棟で、講義の前後
国家試験出題基準	
履修条件・履修上の注意	

講義科目名称：健康スポーツ実技

授業コード：4P005

英文科目名称：Practice in Sports Science

対象カリキュラム：2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
衣川 隆			

授業形態	実技	担当者
授業計画	第1回 オリエンテーション オリエンテーションと班編成&トレーニング	衣川隆
	第2回 球技・トレーニング 基礎体力作りと班対抗戦：バレーボール・バスケットボール、バドミントン、フットサル、ドッジボール等から選択する。	衣川隆
	第3回 球技・トレーニング 基礎体力作りと班対抗戦：バレーボール・バスケットボール、バドミントン、フットサル、ドッジボール等から選択する。	衣川隆
	第4回 体力測定記録会1回目 体力測定記録会の種目（長座体前屈、握力、背筋力、立ち幅跳び、反復横跳び、プッシュアップ30秒、ボール投げ、上体起こし、20m）。 体力測定記録会は小テストになる。	衣川隆
	第5回 球技・トレーニング 基礎体力作りと班対抗戦：バレーボール・バスケットボール、バドミントン、フットサル、ドッジボール等から選択する。	衣川隆
	第6回 球技・トレーニング 基礎体力作りと班対抗戦：バレーボール・バスケットボール、バドミントン、フットサル、ドッジボール等から選択する。	衣川隆
	第7回 球技・トレーニング 基礎体力作りと班対抗戦：バレーボール・バスケットボール、バドミントン、フットサル、ドッジボール等から選択する。	衣川隆
	第8回 球技・トレーニング 基礎体力作りと班対抗戦：バレーボール・バスケットボール、バドミントン、フットサル、ドッジボール等から選択する。	衣川隆
	第9回 球技・トレーニング 基礎体力作りと班対抗戦：バレーボール・バスケットボール、バドミントン、フットサル、ドッジボール等から選択する。	衣川隆
	第10回 心肺持久力記録会 20mシャトルランを実施する。この心肺持久力記録会は小テストとする。心肺機能や走力の向上を図るとともに、有酸素運動とATPの関係も学ぶ。	衣川隆
	第11回 球技・トレーニング 基礎体力作りと班対抗戦：バレーボール・バスケットボール、バドミントン、フットサル、ドッジボール等から選択する。	衣川隆
	第12回 球技・トレーニング 基礎体力作りと班対抗戦：バレーボール・バスケットボール、バドミントン、フットサル、ドッジボール等から選択する。	衣川隆
	第13回 球技・トレーニング 基礎体力作りと班対抗戦：バレーボール・バスケットボール、バドミントン、フットサル、ドッジボール等から選択する。	衣川隆
	第14回 体力測定記録会2回目 体力測定記録会の種目（長座体前屈、握力、背筋力、立ち幅跳び、反復横跳び、プッシュアップ30秒、ボール投げ、上体起こし、20m）。 体力測定記録会は小テストになる。	衣川隆
	第15回 球技・トレーニング 基礎体力作りと班対抗戦：バレーボール・バスケットボール、バドミントン、フットサル、ドッジボール等から選択する。	衣川隆
科目の目的	運動やスポーツが得意な人もあまり得意でない人も、手軽にできるトレーニングやストレッチを行い、体力をつけることを狙いとする。一人で簡単にできる筋力トレーニングやストレッチを行って、少しずつ無理なく、自分のペースでスポーツを楽しめるようにする。	

	<p>各種スポーツでの身体活動を通して、各自が健康や体力に対する認識を深め、その保持増進、体力向上を図ることにより、心身共に健康的で幸福な大学生活を送れるよう自覚を促す。</p> <p>各種室内での軽運動・スポーツ・トレーニング等に親しみ、積極的に参加し、将来健康で豊かなライフスタイルの形成を目指す。加えて、大学生活のスタート時が、より豊かで協同的な人間関係の構築と学生生活の充実の一助となるよう、そして将来チーム医療を実践するための、学生相互のコミュニケーション能力も身に付ける。</p> <p>【倫理観と幅広い教養】【基本的知識と技術】【地域リハビリテーションの理解・問題解決力】 【自己研鑽・探求力】</p>
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 健康と体力の重要性を理解し、維持向上をさせる。 2. 生涯にわたって健康と体力を維持向上するための知識・行動を身に付ける。 3. 自らの生活習慣を観察し、その問題点を把握して対策を立て心身の健康状態を整える。
関連科目	健康スポーツ理論
成績評価方法・基準	授業時間内の実技（70％）。小テスト（30％）。
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	1日（24時間）の生活リズムにおいて、心と体の健康管理と生活状況管理をしておくこと。よって1日1回は運動が出来るような生活リズムを心がけてほしい。
教科書・参考書	<p>参考書</p> <p>「トレーニング：健康・スポーツ科学講義 第2版」出村慎一監修 杏林書院</p> <p>「運動学」伊東元 高橋正明編集 医学書院</p>
オフィス・アワー	体育棟で授業の前後
国家試験出題基準	
履修条件・履修上の注意	

講義科目名称： 生命倫理

授業コード：

英文科目名称： Bioethics

対象カリキュラム： 2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	3学年	2単位	必修
担当教員	担当者		
峯村 優一			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2021年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		

講義科目名称： 哲学

授業コード： 4P007

英文科目名称： Philosophy

対象カリキュラム： 2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2学年	2単位	選択
担当教員	担当者		
赤羽 悠			

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回 イントロダクション 哲学とは何か 宗教と哲学 哲学と社会学・人類学	赤羽 悠
	第2回 古代哲学（1） 「対話」とは何か／「真理」について 【ソクラテス／プラトン／アリストテレス】	赤羽 悠
	第3回 古代哲学（2） 「生きる技術」についての問い 【ストア派／エピクロス】	赤羽 悠
	第4回 中世哲学 意志と恩恵 【アウグスティヌス】	赤羽 悠
	第5回 近世・近代哲学（1） 大陸合理論／「理性」について 【デカルト／スピノザ】	赤羽 悠
	第6回 近世・近代哲学（2） 社会契約論／「国家／社会」とは何か 【ホッブズ／ロック／ルソー】	赤羽 悠
	第7回 近世・近代哲学（3） イギリス経験論の系譜／「私」はどのようにつくられるのか 【ロック／バークリー／ヒューム】	赤羽 悠
	第8回 近世・近代哲学（5） ドイツ観念論の出発点としてのカント／「理性」批判 【カント】	赤羽 悠
	第9回 近世・近代哲学（5） ドイツ観念論の展開 【フィヒテ／ヘーゲル】	赤羽 悠
	第10回 近代哲学の問い直し（1） 「真理」と「道徳」を問う 【ニーチェ】	赤羽 悠
	第11回 近代哲学の問い直し（2） 「意識」と「主観」を問う 【フロイト、マルクス】	赤羽 悠
	第12回 現代哲学（1） 「現象」を考える 【フッサール、メルロ＝ポンティ】	赤羽 悠
	第13回 現代哲学（2） 「実存」をめぐって 【ハイデガー、サルトル】	赤羽 悠
	第14回 現代哲学（3） 「全体主義」の経験から考える 【アーレント】	赤羽 悠
	第15回 講義の総括 現代哲学のその後 改めて、哲学とは何か	赤羽 悠
科目の目的	哲学をすることは、日常からかけ離れた抽象的なことをあれこれ考えることではなく、身近にあるが、しかし容易には答えの出ない問題を、普段よりもう一段掘り下げて考えてみることであり、歴	

	<p>史上の偉大な哲学者が行ってきたことも、実はそうしたことにほかならない。この講義では、そのような哲学者たちの思考の営みをみながら、受講者自身が生きていくなかで問題に直面する際、役立つような哲学的思考を身に着けてもらうことを目指す。</p> <p>講義は「授業計画」に従って進めるが、受講者の理解度等をふまえて若干進度を変更する場合がある。</p> <p>ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）における位置づけ：本科目は【倫理観と幅広い教養】【基本的知識と技術】【地域リハビリテーションの理解・問題解決力】【自己研鑽・探求力】に該当する。</p>
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 歴史上の哲学者がどのような問いを立て、その問いにどのように取り組んできたのかを理解する。 2. 1を通じ、哲学的に問いを立てるということがどういうことかを学ぶ。 3. 以上を通じ、生きていくなかで直面する様々な問題に対処するにあたり必要とされる、哲学的な思考を身に着ける。
関連科目	<ul style="list-style-type: none"> ● 「人間と宗教」、「社会学」、「心理学」、「生命倫理」等の科目と関連を有する。
成績評価方法・基準	<ul style="list-style-type: none"> ● 期末筆記試験（論述）の成績による（100 %）。 ● 詳細については初回講義時に説明する。
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	<ul style="list-style-type: none"> ● 予習については特に求めない。講義の場で話を聞き、またそれについてその場で考えることに集中してもらいたい。 ● 他方、授業後に内容を振り返り、扱われたテーマについて自分なりに考えをまとめる復習の作業はおこなってほしい。そのために必要な学習時間については、概ね1時間程度を目安とする。
教科書・参考書	<ul style="list-style-type: none"> ● 教科書は用いない。講義は講義資料（レジュメ）を配布し、それに基づいて行う。 ● 初学者にもわかりやすい哲学史の教科書としては、竹田青嗣・西研編『はじめての哲学史』（有斐閣アルマ）などがあるが、講義をそれに沿って行うわけではない。 ● 哲学とは何かについて考えるうえでは鷺田清一著『哲学の使い方』（岩波新書）などが役立つが、こちらもあくまで参考として挙げておきたい。 ● その他の参考文献については、講義の中で紹介したい。
オフィス・アワー	<ul style="list-style-type: none"> ● 講義の前後（場所：教室もしくは非常勤講師控室）
国家試験出題基準	
履修条件・履修上の注意	

講義科目名称： 現代文学

授業コード： 4P008

英文科目名称： Modern Literature

対象カリキュラム： 2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2学年	2単位	選択
担当教員	担当者		
徳本 善彦			

授業形態	講義	担当者
授業計画	<p>第1回 ガイダンス：「文学」とは何か 日本の近代化と「文学」について歴史的観点から学ぶ。</p> <p>第2回 文学テキストを（読む） 文学作品をテキストとして読む方法について、実践例を通して学ぶ。</p> <p>第3回 寺田寅彦「団栗」を読む 「写実」的な作品を通して、小説世界の時間・空間を整理し小説を立体的に読む。</p> <p>第4回 志賀直哉「焚火」を読む テキストをじっくり読むことで、物語（ストーリー）に頼らない小説の読み方を学ぶ。</p> <p>第5回 芥川龍之介「トロッコ」を読む 小説の物語的要素を捉え、小説世界の構造を理解する。</p> <p>第6回 群馬県の作家：萩原朔太郎の詩を読む 日本の近代詩に多大な影響を与えた萩原朔太郎の詩を鑑賞する。</p> <p>第7回 川端康成「葬式の名人」を読む 小説に書かれた、言葉の身体／身体という言葉について考える。</p> <p>第8回 小レポート：矢田津世子「茶粥の記」 矢田津世子「茶粥の記」を事前に読んだ上で、授業内小レポートに取り組む。</p> <p>第9回 解説：矢田津世子「茶粥の記」を読む 小レポートの講評と、課題小説の読解の一例を解説する。</p> <p>第10回 上林暁「花の精」を読む 私小説のテキストを吟味し、細かなモチーフに注目して小説を読む方法を学ぶ。</p> <p>第11回 坂口安吾「真珠」を読む 戦争と文学について、歴史的事実が物語として受容される過程を読み解く。</p> <p>第12回 井伏鱒二「遥拝隊長」を読む 終わらない戦争を生きる人物を通して、戦争と記憶について考える。</p> <p>第13回 現代詩を読む 『荒地』や『櫛』といった戦後の現代詩誌を中心に現代詩について学ぶ。</p> <p>第14回 石牟礼道子「死民たちの春」を読む 経済成長と公害、東京と地方など戦後社会の問題を文学を通して考える。</p> <p>第15回 村上春樹「アイロンのある風景」を読む とらえようのないものを比喩を通して語ること、災害と文学について考える。</p>	徳本善彦 徳本善彦 徳本善彦 徳本善彦 徳本善彦 徳本善彦 徳本善彦 徳本善彦 徳本善彦 徳本善彦 徳本善彦 徳本善彦 徳本善彦 徳本善彦 徳本善彦
科目の目的	<ol style="list-style-type: none"> 1. 文学作品を読み、不明な事柄を調べることで当時の時代状況や社会問題などを理解する。 2. テキストの中に問題を見出すことを通して、情報を批判的に評価する読解力を養う。 3. 小レポートの作成を通して、自分の考察を論理的に表現する力を身につける。 【倫理観と幅広い教養】 【基本的知識と技術】 【地域リハビリテーションの理解・問題解決力】 【自己研鑽・探求力】	
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 文学作品の書かれた当時の時代状況からの視点を体験することで、読む視点の複数性を理解する。 2. テキストの中に問題を見出すことを通して、情報を批判的に評価する読解力を養う。 3. 小レポート・期末レポートの作成に取り組むことで、自分の意見を客観的・論理的に表現する技術を身につける。 	
関連科目	芸術・哲学・社会学	
成績評価方法・基準	授業内小レポート（50%）、期末レポート（50%）。	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	<ul style="list-style-type: none"> ・授業前＝講義で使用するテキストを読み問題を整理する。（1.0時間） ・授業後＝授業内容の復習。（0.5時間） 	
教科書・参考書	教科書：使用しない（講義資料は1週間前を目処にActive Academyを通して配布します。各自で印刷して授業に持参して下さい）。	
オフィス・アワー	授業の前後（非常勤講師室）。	
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		

講義科目名称： 人間と宗教

授業コード： 4P009

英文科目名称： Human Beings and Religion

対象カリキュラム： 2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1学年	2単位	選択
担当教員	担当者		
竹村 一男			

授業形態	講義	担当者
授業計画	<p>第1回 宗教を学ぶにあたって 宗教を学ための必要な基礎的事項について説明する。講義の前半は宗教の種類、宗教の研究分野、そして、3大宗教について、その概要と現状に言及する。後半は芸術作品や世界遺産の中から宗教に関する画像を中心に紹介する。</p>	竹村 一男
	<p>第2回 宗教本質論 宗教とは何か 過去から現在に至る哲学、神学、心理学などの代表的な思想、及び昨今の脳科学は、宗教をどのように解釈してきたかを解説する。更に、最も難解なテーマである「宗教とは何か」について考えてみたい。</p>	竹村 一男
	<p>第3回 キリスト教概説 世界最多の宗教人口をもつキリスト教の教義と歴史、現状について講述する。また、その文化・歴史など画像を交え説明する。特に新約聖書、福音書の解説については、ジョットの絵画による概要説明を行う。</p>	竹村 一男
	<p>第4回 イスラム教概説 イスラム教の教義と歴史、現状について講述する。その文化・歴史など画像を交え説明する。コーランの記述内容、スンニ派とシーア派の相違点、更に昨今の国際情勢におけるイスラームなどその現状にも言及する。</p>	竹村 一男
	<p>第5回 仏教概説 仏教の教義と歴史、現状について講述し、その文化・歴史や伝播の経緯など画像を交え説明する。インドにおける仏教の成立と展開を中心に、中国仏教、南伝仏教、チベット仏教にも言及する。</p>	竹村 一男
	<p>第6回 日本の仏教 日本の仏教の教義と歴史、現状について講述する。日本への仏教の伝来とその展開、各宗派による仏教思想の比較などを中心に解説し、更に寺院建築や仏像、曼荼羅など仏教文化遺産についても画像を交え解説する。</p>	竹村 一男
	<p>第7回 日本の民俗宗教 日本の宗教の基層をなす民俗宗教について、祖霊信仰や民俗神道、神社神道などを中心にその文化と歴史について講述する。日本の民俗宗教には様々な儀礼や祭祀が含まれるが、仏教との神仏習合も多々みられる。それらの特徴的な事例についても、画像を交え紹介する。</p>	竹村 一男
	<p>第8回 世界の民族宗教 特定民族に受け継がれる民族宗教ユダヤ教とヒンドゥー教について、その文化・歴史などを講述する。ユダヤ教はキリスト教・イスラム教の、ヒンドゥー教は仏教の起源となった宗教であるが、現在においても多数の信徒をもつ。その経緯と、なぜ民族の枠内に留まったかについて解説し、旧約聖書の記述については、地球環境史との関係もふまえて、画像を交え解説する。</p>	竹村 一男
	<p>第9回 中国の民族宗教 中国の民族宗教である儒教と道教について、その文化・歴史など画像を交え講述する。特に儒教については礼教（道徳）面が強調されることが多いが、その宗教面についても解説する。さらに、両宗教が日本に与えた影響などにも言及する。</p>	竹村 一男
	<p>第10回 新宗教 1830年代以降に成立した新宗教について、天理教、創価学会、モルモン教会を例に、その概要と歴史、教義について講述する。現在はこれらの新宗教も多くの信徒を持つに至り、家庭の宗教として信仰される例も多い。上記以外の幾つかの宗教団体、海外の新宗教などについても画像を交え解説する。</p>	竹村 一男
	<p>第11回 宗教と科学 宗教研究の事例 宗教を対象とする研究には、神学などの信仰者の視点によるものと、比較宗教学のように中立的な視点からのものがある。本講座は後者に属するが、ここでは比較宗教学、宗教社会学、宗教心理学などの中立的な社会科学の視点からなされてきた研究学説について解説する。さらに、反社会的教団の特徴や、講師の研究事例なども交えて講述する。</p>	竹村 一男

	<p>第12回 宗教と文化・芸術 宗教文化と芸術について講述する。古来より、宗教は芸術にも様々な影響を及ぼしてきた。その中で、特に美術と音楽、舞踊について、画像や映像を参考に解説する。また、宗教史跡、宗教建造物などの文化遺産にも言及する。</p> <p>第13回 グローバル化と宗教 グローバル化が進む現在における宗教の諸問題について解説する。現状の宗教動向に加え、反社会的教団による事件、IS問題、民族紛争などの事例について講述する。</p> <p>第14回 宗教と医療 宗教と医療に関する歴史や現状の諸問題について講述する。宗教団体と医療組織、特定教団の教義と輸血問題、終末医療などの医療現場における宗教の事例についても紹介する。</p> <p>第15回 神話・文学における宗教、及びまとめ 前半は、内村鑑三の宗教について講師の事例研究も交え講述する。後半は、聖典などに見られる印象的な言説や、文学作品における記述の紹介と、全講義のまとめを行う。</p>	<p>竹村 一男</p> <p>竹村 一男</p> <p>竹村 一男</p> <p>竹村 一男</p>
科目の目的	<p>宗教は私達の身近に存在する。多くの家庭には仏壇や神棚が置かれ、年中行事や冠婚葬祭も宗教により執り行われる。旅行などで各地に足を運ぶと、おおよそ神社仏閣、宗教施設が存在しない地域はない。その一方で、宗教戦争の様相を呈した民族紛争がニュースに登場することも多い。本講義においては、このように多くの諸相において人間に関わりをもつ「宗教」とは何かについて考え、さらに様々な宗教を取上げ、その教義、歴史、さらに文化社会的側面について講述する。宗教理解は私達人間の理解、さらに文化・社会理解にも繋がる。</p> <p>なお、本講義は特定の宗教の視点によるものではなく、中立的な観点から広範に宗教を扱う。受講生各自の宗教観は人それぞれであろうが、医療現場における患者（被治療者）の宗教観も様々であるため、医療者には中立的かつ広範な視点での宗教理解が必要となってくる。医療に携わろうとする者はそのことを理解したうえで、私達人間に与えられた生命をまもること、与えられた生命をよりよく生きることが大切かと考える。【倫理観と幅広い教養】【基本的知識と技術】【地域リハビリテーションの理解・問題解決力】【自己研鑽・探求力】</p>	
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ● それぞれの宗教を比較し、その歴史や教義、死生観などを分析、説明することが出来る。 ● 宗教にかかわる文化や時事問題などを理解し、適切に説明することが出来る。 ● 将来の医療現場において、患者や関係者の宗教観を理解し、適切かつ発展的な行動がとれる。 	
関連科目	哲学 心理学 社会学 芸術	
成績評価方法・基準	定期試験（100％）	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	1時間程度（計15回15時間）、講義内容の再確認と復習を行う。より深く学びたい受講生には、興味のある教典・聖典や、宗教に関連した文学作品などの読書に並行して、比較宗教学による文献の読解をお勧めする。最初は簡単な概説書でもよいが、以下に推薦文献をあげる。文献例：『イスラーム文化』井筒俊彦（岩波文庫）、『ヒンドゥー教』森本達雄（中公新書）、『儒教とは何か』加地伸行（中公新書）、『神道とは何か』伊藤 聡（中公新書）、『日本の民俗宗教』宮家 準（講談社学術文庫）、『世界の宗教』岸本英夫編（大明堂 絶版）、『森林の思考・砂漠の思考』鈴木秀夫（NHKブックス）、『現代医学と宗教』日野原重明（岩波書店）など。また、信仰者以外の人にとっては「聖書」や「コーラン」は難渋な書物であろうが、聴講によって基礎知識を得た後に読むと、理解が変わってくる。	
教科書・参考書	教科書 使用しない。必要に応じてその都度、プリントを配付する。 参考書1 『ブッダの言葉』中村 元訳（岩波文庫） 参考書2 『共同訳聖書』（日本聖書協会） 参考書3 『コーラン』井筒俊彦訳（岩波文庫）	
オフィス・アワー	講義終了後の教室。または講師出校時の非常勤講師室。	
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意	各回のプリントを事前にActive Academyにアップロードしておきます。受講者はプリントアウトして授業に出席してください。	

講義科目名称： 芸術

授業コード： 4P010

英文科目名称： Art

対象カリキュラム： 2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1学年	2単位	選択
担当教員	担当者		
東 晴美			

授業形態	講義	担当者
授業計画	<p>第1回</p> <p>ガイドダンス：オペラ、歌舞伎から現代演劇まで。舞台芸術の幅広さと、他の芸術ジャンルとの交流 舞台芸術は、言語、音楽、身体、美術などの要素を備えた総合芸術であることを紹介します。また、舞台芸術が様々なジャンルの芸術と深い関係があることを理解し、その上で舞台芸術を学ぶ意義について考えます。</p>	東 晴美
	<p>第2回</p> <p>ドラマ（物語）：創作された物語から、証言まで ギリシャ悲劇やシェイクスピアの作品において、ドラマはどのような構造を持っているかを考えます。またそのようなドラマを突き崩そうとしたベケットの作品や、ストーリーテリングや証言などポストドラマとしての現代演劇の取り組みを紹介します。</p>	東 晴美
	<p>第3回</p> <p>劇場：社会と劇場、劇場と舞台芸術の関係 ギリシャ劇場から額縁舞台を経て、現代に至る劇場の変遷が、西洋の舞台芸術の歴史と呼応していることを学びます。また、舞台芸術における劇場の役割を考察します。</p>	東 晴美
	<p>第4回</p> <p>観客：もう一人の作り手として 舞台芸術の観客は、他の芸術と異なり物語をともに作りあげる存在でもあります。舞台芸術と観客の関係性について、ギリシャ時代から現代までの変遷を考えます。</p>	東 晴美
	<p>第5回</p> <p>身体：身体文化とことばの関係 俳優によって登場人物が表現されるリアリティについて、近代に絶大な影響を与えた俳優訓練法・スタニスラフスキーシステムを例に考察します。また、物語をつむぎだす言葉と身体の関係性を再考する実践も紹介します。</p>	東 晴美
	<p>第6回</p> <p>ジェンダー：演じる性と演じられる性（小レポート） 演じる性として女優について考察します。また、舞台芸術では女性をどのように表現してきたか、演じられる性についても紹介します。翌週にレポートについてコメントをします。</p>	東 晴美
	<p>第7回</p> <p>能：物語のビジュアルイメージ化 能楽の基礎について学びます。また物語がビジュアルにイメージ化され定着していくことを平家物語を題材にした作品を例に考えます。また、600年前に生まれた芸能が、今もなお息づいている理由に迫ります。</p>	東 晴美
	<p>第8回</p> <p>狂言：笑いの表現 笑いは文化を象徴するキーワードです。笑いの芸能である狂言の基礎について学びます。またシェイクスピアの作品をもとにした新作狂言など、狂言師の新しい挑戦を紹介します。</p>	東 晴美
	<p>第9回</p> <p>歌舞伎：現代に生きる古典芸能 歌舞伎の基礎について学びます。歌舞伎は冷凍保存された古典ではなく、常に同時代のエンターテインメントであろうとしています。能の物語を継承しながら、江戸時代としての現代劇として再生した「京鹿子娘道成寺」を例に考えます。</p>	東 晴美
	<p>第10回</p> <p>文楽：人形の表現と語る表現（小レポート） 文楽の基礎について学びます。北野武の映画「ドールズ」を紹介しながら、今日における文楽の可能性を考えます。翌週にレポートについてコメントをします。</p>	東 晴美
	<p>第11回</p> <p>ゲームと物語：日本の物語の再生 日本の歴史上の人物の伝記がゲームのコンテンツとなり、さらにその物語が、アニメ、漫画、舞台へと展開しています。このような流れを例に取りながら、日本の物語の新たな再生について考察します。</p>	東 晴美
	<p>第12回</p> <p>アニメ・マンガ：絵画と文学、舞台メディアの交流史 欧米と異なり、大人も愛する日本のマンガ文化について、江戸時代における絵画、文学、演劇のメディアミックス文化を源流として考察します。また、能や、歌舞伎など日本の伝統的なコンテンツがどのようにアニメやマンガに取り入れられているかを探求します。</p>	東 晴美

	<p>第13回 「ライオンキング」と文楽 文楽の人形の技術は、世界的にも大きなインパクトを与え続けています。「ライオンキング」や「キングコング」など、文楽にインスパイアされた表現を紹介します。</p> <p>第14回 2.5次元ミュージカル 現代日本では、舞台芸術、アニメ、ゲームなどが、メディアの垣根を越え縦横に入り交じりつつあります。代表例として漫画「テニスの王子様」のアニメ、ゲーム、ミュージカル化を紹介します。また、二次創作と日本の著作権意識の源流について考察します。</p> <p>第15回 まとめ:ひろがる芸術の世界 ボーカロイド初音ミクによる近松門左衛門作「曾根崎心中」の道行きのパフォーマンスを例にとりながら、新しいメディアと既存の文化との関係について考察します。これまでの授業について振り返り、ポイントを整理します。その上で、講義全体を振り返ったレポートを書いてもらいます。</p>	東 晴美 東 晴美 東 晴美
科目の目的	<p>この授業では、オペラ、歌舞伎から現代演劇までを含む舞台芸術を例にとり、芸術について学びます。</p> <p>まず、他の芸術と異なる舞台芸術ならではの特色について、西洋舞台芸術の歴史を通して考えます。</p> <p>次に、西洋とは異なる独自の発展をとげた日本の舞台芸術を概観します。また、難解だと思われるがちな古典芸能の鑑賞のポイントも紹介します。</p> <p>最後に、漫画、アニメ、ゲーム、ミュージカルなどの現代の表象文化を、芸術の視点から考察します。</p> <p>これまでに舞台芸術が扱ってきたテーマを通して、人と社会に深い関心を持って、社会人としての教養を身につけます。【倫理観と幅広い教養】【基本的知識と技術】【地域リハビリテーションの理解・問題解決力】【自己研鑽・探求力】</p>	
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・舞台芸術を例に、芸術学の基本を学ぶ。 ・日本の芸能の特色を学ぶ。また、伝統芸能は、江戸時代以前の文化でありながら、近代以降も同時代の文化の影響も受けていることを理解する。 ・現代のメディアに、伝統的なコンテンツがどのように取り入れられているかを学ぶ。 ・舞台芸術が扱っているテーマを通して、人と社会に深い関心を持つ力を身につける。 	
関連科目	社会学	
成績評価方法・基準	授業中の小レポート（2回）各30%、期末教場レポート30%、授業中アンケートなど10%	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	新聞、雑誌、テレビなどで紹介される舞台芸術や芸能に関する情報に関心を持つことがのぞましい。授業中のアンケートや授業後のレポートを提出に備えて1時間程度の学習をすることが望ましい。	
教科書・参考書	webポータルシステムにて講義資料をデータで配布(授業日前にデータを掲載、授業終了後1週間はダウンロード可)	
オフィス・アワー	木曜日 12:30～13:00	
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意	各テーマと、自分が現在関心をもっていることと関連づけながら学ぶことを求めます。	

講義科目名称： 法学(日本国憲法含む)

授業コード： 4P011

英文科目名称： Law(the Constitution of Japan)

対象カリキュラム： 2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2学年	2単位	選択
担当教員	担当者		
道下 洋夫			

授業形態	講義形式にて行なう		担当者
授業計画	第1回	法とは何か なぜ法を学ぶのか、法とは何かについて様々な角度から考える	道下 洋夫
	第2回	法と社会・法の種類 法と社会との関わりあい方、法と医療の関わり合い方について理解する	道下 洋夫
	第3回	法の特徴・法の目的 法にはどのようなものがあるか、どのような性質を持つかについて理解する	道下 洋夫
	第4回	日本の司法制度 法的責任、訴訟事件にはどのようなものがあるかについて理解する	道下 洋夫
	第5回	憲法1 憲法の基本理念について理解する	道下 洋夫
	第6回	憲法2 基本的人権（平等権、受益権、平和的生存権）について理解する	道下 洋夫
	第7回	憲法3 基本的人権（自由権、社会権、包括的基本権）について理解する	道下 洋夫
	第8回	憲法4 統治機構（三権分立、地方自治）について理解する	道下 洋夫
	第9回	民法1 債権とは何か、契約とは何か、どんな契約があるかについて理解する	道下 洋夫
	第10回	民法2 不法行為など契約外の債権について、及び債権の一般的な規則について理解する	道下 洋夫
	第11回	民法3 物権とは何か、担保とは何かについて理解する	道下 洋夫
	第12回	民法4 行為能力、時効など民法の一般的な規則について理解する	道下 洋夫
	第13回	刑法1 刑法の基本原則について理解する	道下 洋夫
	第14回	刑法2 個々の犯罪、および特別法について理解する	道下 洋夫
	第15回	刑法3 構成要件、違法性、責任とは何かについて理解する	道下 洋夫
科目の目的	日本は、法治国家である。法治国家においては、法令が社会の仕組みを規定しており、その実施こそが社会を動かしているという過言ではない。したがって、諸君がこれから社会人として羽ばたいていくということは、いかに細かい法令であろうと「知りませんでした」では済まされない世界に飛び込んでいくということでもある。法学を学ぶ意義はここにこそある。【倫理観と幅広い教養】【基本的知識と技術】【地域リハビリテーションの理解・問題解決力】【自己研鑽・探求力】		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・憲法を中心とした日本の法システムの概要について理解する。 ・憲法、民法、刑法を通じて実際の法規定を概観する。 ・社会人として生きていくのに必要な法知識を習得するだけでなく、2年生以降の専門領域における各種医療関係法規・医療倫理の学習へつなげる。 		
関連科目	関係法規、社会福祉・地域サービス論、生命倫理		
成績評価方法・基準	定期試験(100%)		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	前回講義で扱った内容について目を通しておくこと(90分程度)。		
教科書・参考書	教科書：特にないが適宜、資料・法令を配布するので、各自事前に印刷して用意すること。		
オフィス・アワー	質問等があれば、講義中あるいは講義後に受け付ける。		
国家試験出題基準			
履修条件・履修上の注意	2年生以降の各種医療関係法規や社会保障制度の学習の前提となる。ただし、習得すべき知識量が極めて多いことに留意すること。		

講義科目名称： 家族社会学

授業コード： 4P012

英文科目名称： Family Sociology

対象カリキュラム： 2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2学年	2単位	選択
担当教員	担当者		
坂本 祐子			

授業形態	講義	担当者
授業計画	<p>第1回 家族をとらえる（1） 近代家族の基本概念 近代家族の特徴 近代家族の誕生 家族とはなにか あなたが考える家族とは①（小レポート）</p> <p>第2回 家族をとらえる（2） 家族の変動 家族と世帯 世帯の動向 家族周期 （小レポートのフィードバック含む）</p> <p>第3回 家族の機能（1） 近代家族が担ってきた基本機能=生活保障</p> <p>第4回 家族の機能（2） 生産機能 消費機能 社会的・個人的機能</p> <p>第5回 家族のつながり（1） 家族のつながりの変化と現状 家族行動の個別化</p> <p>第6回 家族のつながり（2） 家族のつながりの変化による影響 子育て負担の偏り</p> <p>第7回 家族をめぐる制度 “夫婦別姓”とはどういう問題か あなたが考える家族とは②（小レポート）</p> <p>第8回 家庭経済（1） 家庭経済内部の4つの活動とその循環 （小レポートのフィードバック含む）</p> <p>第9回 家庭経済（2） 生活とお金 ワーキングプア</p> <p>第10回 性別役割分業（1） 性別役割分業の始まり</p> <p>第11回 性別役割分業（2） 社会保障とジェンダー</p> <p>第12回 ワーク・ライフ・バランス（1） ワーク・ライフ・バランス 働く人の生活への配慮</p> <p>第13回 ワーク・ライフ・バランス（2） 家庭責任をもつ人の仕事への支援</p> <p>第14回 ワーク・ライフ・バランス（3） 看護職としての成長と私生活の運営・充実 求められる家族への支援とは何か</p> <p>第15回 ふりかえり 家族とは 「家族」の存在や意味・社会のあり方</p>	坂本 祐子 坂本 祐子
科目の目的	<p>学生は皆、家族関係の中にあり、今後その多くは自ら新しい家族を形成していく。また、保健医療サービスの対象者の多くは家族関係の中にあり、サービス提供にあたっては、その人だけでなく、家族や家族関係をも対象とすることが必須である。この科目は、職業人、生活者、市民としての家族に関する見識と“家族する力”の養成と、家族を踏まえた適切な保健医療サービスの提供を可能にする知識の形成を目的とする。【倫理観と幅広い教養】【基本的知識と技術】【地域リハビリテーションの理解・問題解決力】【自己研鑽・探求力】</p>	
到達目標	<p>1. 近代家族の特徴、家族機能など、家族を理解し、考察し、ひいては将来サービス対象とするための基本的な概念を習得する</p> <p>2. 自分と定位家族、自らが将来つくるかもしれない家族、そこにおける家庭生活、家庭生活と職業生活のバランス等についてより具体的に考えられるようになる</p> <p>3. サービス対象者が家族関係の中にあることや、当事者だけでなく家族関係もサービス対象となることが認識できる</p>	
関連科目	<p>法学（日本国憲法含む） 生命倫理、人間と宗教、生活文化と医療、経済学、人工知能・ロボットと社会、人間関係・コミュニケーション論、地域ボランティア活動論、大学の学び入門、大学の学びー専門への誘いー、多職種理解と連携</p>	
成績評価方法・基準	<p>講義時間内に、何度か小レポートを実施（次回講義以降に返却）。定期試験70%・小レポート30%</p>	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	<p>Active Academyにより資料を配布するので、資料内の不明な用語等を調べてくること。また、前回講義の重要事項を見直しておくこと。日頃から新聞に目を通すことを習慣にし、1週間で4時間半以上を自己学習に必要な時間の目安とする。</p>	
教科書・参考書	<p>使用しない</p>	
オフィス・アワー	<p>授業の前後（場所：非常勤講師室）</p>	

国家試験出題基準	
履修条件・履修上の注意	Active Academyにより資料を配布するので（前回講義翌日から当該日まで）、各自講義中に使用できるように準備しておくこと。

講義科目名称： 生活文化と医療

授業コード： 4P013

英文科目名称： Culture and Medicine in Life

対象カリキュラム： 2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2学年	2単位	選択
担当教員	担当者		
鈴木 英恵			

授業形態	講義	担当者
授業計画	<p>第1回</p> <p>オリエンテーション 本講義の目的と到達目標、授業の進め方（第1回から第15回までの講義内容の簡単な説明）のお話をします。講義の後半では、群馬県を中心に地域医療の対象となる人びとの暮らし（衣食住、歴史と文化）を紹介します。</p>	鈴木 英恵
	<p>第2回</p> <p>患者にとってのお守り 生活文化とは、過去から現在にわたって脈々と受け継がれてきた伝統的な風習のことです。ここでは、お守りの機能と役割を考えます。医療従事者からの目から見た、患者にとってのお守りの特徴について考えてみます。</p>	鈴木 英恵
	<p>第3回</p> <p>死生観について 死生観とは何かを考える時間を設けます。授業の後半部で、GWのレポート課題「死生観」の説明をします。あわせてレポートの書き方、文章の組み立て等のお話をします。</p>	鈴木 英恵
	<p>第4回</p> <p>道祖神と民間信仰 路傍に佇む地蔵、道祖神などの石仏は、人びとの信仰対象（主に病氣治癒や旅の神等）として古くから造立されてきました。ここでは近世後期に盛んに造られた道祖神を取り上げ、その信仰内容を説明します。あわせて、現代社会における道祖神の役割も考えてみます。</p>	鈴木 英恵
	<p>第5回</p> <p>映像鑑賞 盲目の旅芸人瞽女 かつて、越後や北陸地方の村々をめぐる盲目の女性、瞽女さんがいました。幼いころに目を患うと自立した生活を送るために、幼少時から師匠に付いて三味線と唄の技術を身につけました。ここでは、瞽女さんの生活様式をみていきましょう。</p>	鈴木 英恵
	<p>第6回</p> <p>医療民俗学とは？！ 医療民俗学が対象とするのは、世間の人びとが日々の生活の中で経験し、知識として実践してきた医療習俗です。ここでは、医療民俗学の創設と医療習俗の対象となるもののお話をします。</p>	鈴木 英恵
	<p>第7回</p> <p>医療と年中行事 日本には四季があります。それぞれ季節の節目には、病魔や災厄を払う行事が存在します。ここでは年中行事の意味を考えながら、群馬県地域を中心とした病い除けの年中行事をみていきます。</p>	鈴木 英恵
	<p>第8回</p> <p>名づけとキラキラネーム 読み方が困難な子どもの名前をキラキラネームと呼びます。医療現場や社会において、キラキラネームは問題になっているようです。伝統的な名づけの方法と、現代におけるキラキラネームの命名方法の特徴を考えます。あわせて、産育の儀礼と習俗についても取り上げます。</p>	鈴木 英恵
	<p>第9回</p> <p>いのちの描写と絵の民俗 授業の前半部では、テキストを中心にいのちの捉え方を『徒然草』、熊野観心十界曼荼羅図から人の一生のあり方を考えます。授業の後半部では、正月飾りの縁起のよい初絵（福神、七福神の絵）を取り上げ、絵を読み解く面白さを実感します。新年を迎えるにあたり、縁起のよい絵は、人びとに何をもたらすのかを考えてみましょう。</p>	鈴木 英恵
	<p>第10回</p> <p>いのち観と人生儀礼 ここでは「いのち」についてじっくり考える時間をもちます。テキストの内容をもとに、人生の節目にあたる人生儀礼の意味を理解します。</p>	鈴木 英恵
	<p>第11回</p> <p>獅子舞の魅力とその伝承方法 ここでは、世代を超えて継承される群馬県地域の獅子舞をいくつか紹介します。獅子舞の主な伝承者は、高齢者と子どもです。地域社会で活躍する高齢者の日々の生活と、健康維持の方法についてもみていきます。</p>	鈴木 英恵

	第12回	課題レポートの説明 本講義では、「生活文化と医療」をテーマにしたレポート課題があります。ここでは、ていねいにレポートの書き方の説明をします。近い将来、皆さんは医療従事者として患者やその家族と接する機会があると考えます。レポートでは、皆さん自身の生活に目を向けてもらい、日常生活の中での出来事などを例にまとめてもらいます	鈴木 英恵
	第13回	福祉と民俗 老いと福祉をキーワードに、脳を活性化させ、認知症を防ぐ回想法についてお話します。テキストを中心に、長寿の祝いの習俗もみていきます。	鈴木 英恵
	第14回	道の駅の農産物直売所にみる高齢者の活躍 群馬県利根郡川場村のお年寄り、元気な方が多いです。村内の多数のお年寄りが野菜や果物を道の駅川場田園プラザの農産物直売所に納品しています。高齢者の元気の秘訣を道の駅と関連付けて考えてみます。	鈴木 英恵
	第15回	まとめ（看取りと先祖供養） 現代社会では、個人やその家の考えによって供養の方法がさまざまです。ここでは、供養とは何かを考え、故人を偲ぶ習俗を見ていきます。	鈴木 英恵
科目の目的	本講義では、伝統的な医療習俗を取り上げます。具体的にいうと、伝統的な医療習俗とは民間に伝承する病気の捉え方、治癒の方法など、いわゆる民間療法が対象となります。民間療法は、医師や医療従事者より古くから存在し、私たちの生活に根付いてきました。ここでは、群馬県内を中心に地域医療の対象となる人びとの暮らしに焦点をあて、現代社会を生きる人びとが病いをどのように考え、健康を願って日々過ごしているのかを考えていきます現代における。医療技術は日々進歩し、近代的な医療が病院で施されます。しかしその一方で、人は重い病気や完治の困難な病気を抱えると、よりよい健康状態を求めて、まじない、お守り、お札など神仏の力を心の拠り所としています。こうした人びとの心意も、伝統的な医療習俗のひとつです。本講義をとおり、現代を生きる人びとの生活文化から医療との接点を実感し、患者やその家族の精神的な面を考慮できる保健医療従事者になることを目的とします。 【倫理観と幅広い教養】【基本的知識と技術】【地域リハビリテーションの理解・問題解決力】 【自己研鑽・探求力】		
到達目標	伝統的な医療習俗を学ぶことは、いまの生活の質を向上させる可能性を持っています。現代の私たちの暮らしに繋がる新たな視点や考えを示してくれるのが、伝統的な医療習俗と言えます。今後、皆さんは赤子からお年寄りまで、あらゆる世代の患者やその家族と接するときに来ると考えます。こうした伝統的な医療習俗の話題を持つことで、コミュニケーション能力を高めることが期待できると考えます。同時に、患者らの心の動きを理解し、精神的な面のサポートも可能だと思えます。実生活の中から医療、看護などに関連する教養を深め、物事を考える能力を身につけることを目標とします。		
関連科目	生命倫理、家族社会学		
成績評価方法・基準	死生観に関するレポート課題（30%）、生活文化と医療に関するレポート課題（30%）、講義内容に関するミニテスト（40%）。2つのレポート課題の提出は必須です。課題未提出者の単位取得は認めません。		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	医療に関連すること（病いの存在と治癒祈願、健康維持の方法など）に興味を持ってください。そして日々の生活の中から、医療・健康・病いなどに関連する事柄を自分で探し出してみてください。講義では、そのようなヒントになることをお話しします。人は生きている限り、病いと向き合って生きていきます。自分の身体の体調が悪いとき、あるいは病気や怪我をしたとき、どのような行動をして健康な身体を取り戻すでしょうか。自身を含み、身近な人たち（父母、祖父母、友人、知人など）は如何にして病いと向き合い、正常な身体を取り戻しているのかを考えてみましょう。私たちの暮らしを注意深く観察することで、医療との接点を知り、それと結びつく課題を発見できるようになります。それらの意味をひとつずつていねいに考えることで、「なぜ」という疑問を解決することができます。授業前に、90分ほど時間をかけてテキストをじっくり読み、授業内容と合わせて自分なりの考えをまとめてみてください。		
教科書・参考書	教科書：板橋春夫 2019 『叢書・いのちの民俗学3 生死 看取りと臨終の民俗 ゆらぐ伝統的生命観』 社会評論社 参考書1：福田アジオほか編 2019 『図解案内 日本の民俗』 吉川弘文館 参考書2：根岸謙之助 1991 『医療民俗学論』 雄山閣 必要に応じて、講義に関する資料を配布します。		
オフィス・アワー	授業の前後（場所：非常勤講師室）		
国家試験出題基準			
履修条件・履修上の注意			

講義科目名称： 経済学

授業コード： 4P014

英文科目名称： Economics

対象カリキュラム： 2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2学年	2単位	選択
担当教員	担当者		
飯島 正義			

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回 経済学で何を学ぶのか 経済学を学ぶことの意義、授業内容と進め方、成績評価等について説明します。	飯島 正義
	第2回 経済学の歩み アダム・スミスからケインズまでの流れを取り上げます。	飯島 正義
	第3回 国民経済の仕組み 経済の3主体（家計・企業・政府）とその関係について説明します。	飯島 正義
	第4回 市場メカニズム 市場メカニズムとは何か、市場メカニズムのメリット・デメリットについて説明します。	飯島 正義
	第5回 景気循環 景気循環とは何か、日本の「景気指標」を読んでいきます。	飯島 正義
	第6回 物価 物価とは何か、物価指数、インフレ・デフレと私たちの生活について説明します。	飯島 正義
	第7回 政府の役割 市場の失敗の是正、経済の安定化について説明します。	飯島 正義
	第8回 金融政策と経済の安定化 金利政策、公開市場操作、預金準備率操作、金融の量的緩和等について説明します。	飯島 正義
	第9回 財政政策と経済の安定化 税制、財政支出、日本の財政状況について説明します。	飯島 正義
	第10回 国内総生産（GDP）（1） 国内総生産とは何か、三面等価の原則について説明します。	飯島 正義
	第11回 国内総生産（GDP）（2） 三面等価の原則の視点から「国民経済計算」（内閣府）のデータを読んでいきます。	飯島 正義
	第12回 経済成長 経済成長とは何か、成長の要因、日本の経済成長の推移を確認します。	飯島 正義
	第13回 貿易・国際収支 貿易に関する理論、国際収支とは何か、日本の貿易・国際収支の現状を「国際収支表」で確認します。	飯島 正義
	第14回 為替レート 為替レートとは何か、為替レートの変動と日本経済への影響について説明します。	飯島 正義
	第15回 少子高齢化と日本経済 少子高齢化とは何か、少子高齢化が今後の日本経済にどのような影響を及ぼすのかについて説明します。	飯島 正義
科目の目的	経済学は、私たちの経済生活の中に存在する本質を明らかにすることを目的とした学問です。したがって、経済学を学ぶということは、私たちの経済生活そのものを知ることにつながります。【倫理観と幅広い教養】【基本的知識と技術】【地域リハビリテーションの理解・問題解決力】【自己研鑽・探求力】	
到達目標	1. 経済学の基礎知識を身につけることができます。 2. 経済学の基礎知識を使って、現実の経済ニュース等を理解できるようになります。	
関連科目	特にありません。	
成績評価方法・基準	授業内における小テスト40%（3～4回、プリント参照可）、定期試験60%で総合的に評価します。 なお、小テストのプリントは授業時に回収し、次週返却します。	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	プリント資料で前回の授業内容を復習するとともに、次回の授業内容をシラバス、Web上の資料で大筋をつかんでおいて下さい。その際、授業で紹介する参考文献等を利用して2時間復習・予習にあてて下さい。	
教科書・参考書	教科書は使用しません。授業ではプリント資料を使います。また、参考書については必要に応じて紹介します。	
オフィス・アワー	授業の前後の時間に講師室で対応します。	

国家試験出題基準	該当しません。
履修条件・履修上の注意	授業資料をWeb上に添付しますので、各自印刷して持参して下さい。なお、資料の添付期間は前回授業翌日から2週間とします。

講義科目名称： 人工知能・ロボットと社会

授業コード： 4P015

英文科目名称： Artificial Intelligence, Robots, and Society

対象カリキュラム： 2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1学年	2単位	必修
担当教員	担当者		
佐藤 満	佐藤 満		

授業形態	講義15回	担当者
授業計画	第1回 人工知能の定義，ロボットの定義 未来社会に多大な変革をもたらす技術とされる人工知能技術、およびロボット技術の位置づけを類似従来技術との差から考察することで、人工知能、ロボットの技術的特徴を理解する。	佐藤 満
	第2回 人工知能の歴史 これまでの人工知能技術開発の歴史と経過を考察し、その折々での技術水準と技術の限界を確認することで、現在の人工知能技術の到達水準と弱点を理解する。	佐藤 満
	第3回 人工知能の仕組みとその学習方法 人工知能技術の仕組みとしての人工ニューロンのネットワークの概念を理解する。また人工知能に学習させる方法の種類とその特徴について理解する。	佐藤 満
	第4回 身のまわりにある人工知能技術① 我々の日々の暮らしのまわりには、すでに多くの人工知能技術が導入されている。これらの事例に関してグループ単位で割り当てられたキーワードを頼りに自己探索による能動的学習の学習項目を決定する。	佐藤 満
	第5回 身のまわりにある人工知能技術② 人工知能技術の社会応用事例に関してグループ単位で割り当てられたキーワードを頼りに決定した学習項目の資料探索を各自で行い、その成果をサマリーに集約して提出する。	佐藤 満
	第6回 身のまわりにある人工知能技術③ 人工知能技術の社会応用事例に関して個人で学習した成果をグループ内で共有し、必要に応じて不足している学習内容を追加で探索して、グループとしての成果報告居を作成する。	佐藤 満
	第7回 身のまわりにある人工知能技術④ 前回までにグループでまとめた自己探索学習の成果を発表し、討論を経ることで、人工知能の社会応用に関する学習成果へのフィードバックを得る。	佐藤 満
	第8回 人工知能技術と医療① 人工知能技術の応用は、医療とリハビリテーションの分野にも技術的進歩をもたらすと予想されている。これらの事例に関してグループ単位で割り当てられたキーワードを頼りに自己探索による能動的学習の学習項目を決定する。さらに学習項目の資料探索を行い、成果をサマリーに集約する。	佐藤 満
	第9回 人工知能技術と医療② 人工知能技術の医療応用事例に関して学習した成果をグループで共有し、グループとしての成果報告居を作成する。	佐藤 満
	第10回 人工知能技術と医療③ 前回までにグループでまとめた自己探索学習の成果を発表し、討論を経ることで、人工知能の医療応用に関する学習成果へのフィードバックを得る。	佐藤 満
	第11回 ロボットと社会 ロボット技術の応用により、社会のあり方も大きく変化すると予想されている。既に社会に実装されている事例と、研究段階あるいは応用が試みられている事例を概観することで、ロボット技術が近未来社会に与える影響について理解する。	佐藤 満
	第12回 ロボットと医療① ロボット技術の応用は、医療とリハビリテーションの分野にも技術的進歩をもたらすと予想されている。これらの事例に関してグループ単位で割り当てられたキーワードを頼りに自己探索による能動的学習の学習項目を決定する。さらに学習項目の資料探索を行い、成果をサマリーに集約する。	佐藤 満
	第13回 ロボットと医療② ロボット技術の医療応用事例に関して学習した成果をグループで共有し、グループとしての成果報告居を作成する。	佐藤 満

	<p>第14回 ロボットと医療③ 前回までにグループ単位でまとめた自己探索学習の成果を発表し、討論を経ることで、ロボットの医療応用に関する学習成果へのフィードバックを得る。</p> <p>第15回 人工知能とロボットの未来 人工知能やロボット技術が際限なく進歩すると、人間や社会との共存という視点からさまざまな問題が生じると予想されている。それら課題を踏まえて、今後の社会生活と職業領域に与える変化とその対応について検討し理解する。</p>	<p>佐藤 満</p> <p>佐藤 満</p>
科目の目的	<p>本科目はこれからの医療と社会に大きな変革をもたらす人工知能とロボット技術に関して医療人として必要な基礎的知識と教養を身に付けることが目的です。また、主体的に疑問や課題を発見して、主体的に調査や検討を実施する課題解決のプロセスを通して、将来的に人工知能とロボット技術に適切に向き合うことができる能力を身に付けます。以上より、リハビリテーション学部のデュプロマ・ポリシーの「人間や社会に関する幅広い教養に根差し、リハビリテーションを取り巻く諸問題を認識できる能力」および「自己研鑽に励み、人格的成長を目指す姿勢」の獲得を目的とします。【倫理観と幅広い教養】【基本的知識と技術】【地域リハビリテーションの理解・問題解決力】【自己研鑽・探求力】</p>	
到達目標	<p>人工知能技術やロボット技術がもつ特色、期待される役割、技術の到達レベルを説明することができる。</p> <p>人工知能技術が医療の進歩や社会の発展に与える効果や影響を説明することができる。</p> <p>ロボット技術が医療の進歩や社会の発展に与える効果や影響を説明することができる。</p> <p>人工知能技術やロボット技術が多大な進歩を遂げた際に生じる課題や問題を説明することができる。</p>	
関連科目	<p>教養科目群・共通基盤科目群：基礎統計学 専門基礎科目群：リハビリテーション概論、リハビリテーション医学</p>	
成績評価方法・基準	<p>成績は講義内で作成する課題（60%）と定期試験（40%）にて評価します。定期試験の出題範囲は全ての講義で扱った内容とし、講義資料だけでなく講義で言及した内容を含めます。講義内で作成する課題は講義中に発表します。その際に課題へのフィードバックを行います。</p>	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	<p>事前にシラバスの講義内容に目を通し、関連する単語や概念について調べてください。講義中に十分理解できなかった内容については、講義後に調べて、それでも解決しなかった際にはメールで質問してください。予習と復習を合わせて1講義につき1時間の時間を掛けることが望ましいです。</p>	
教科書・参考書	<p>【教科書】 指定しません。 【参考書】 講義の中で紹介します。</p>	
オフィス・アワー	<p>必要に応じ講義後</p>	
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意	<p>講義開始前までに講義資料を配布する。</p>	

講義科目名称： 地域ボランティア活動論

授業コード： 4P016

英文科目名称： Volunteer Activities in a Community

対象カリキュラム： 2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
竹澤 泰子			

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回 ボランティア活動の歴史と変化 ボランティア活動が時代により変化していることについて述べる。	竹澤
	第2回 経験談の発表 学生各自が経験したボランティア活動について発表を行う。その経験を分析して学んだ点や問題点を考察する。	竹澤
	第3回 エゴグラムの記入 記入したエゴグラムから自己分析を行い、ボランティア活動時や将来の就労時に必要な、自己の性格を客観的に把握する。	竹澤
	第4回 経験談1 母親勉強会等の託児ボランティア、子供食堂、高齢者の生活支援、アルパ演奏会等長年活動しているゲストスピーカーを招聘する。	竹澤
	第5回 経験談2 3.11東日本大震災後、数十回の炊き出し、生活用品支援、わかめ販売促進活動支援等に従事し、カンボジアに小学校を十数校建設した実績をもつゲストスピーカーを招聘する。	竹澤
	第6回 ボランティア活動の分析 ゲストスピーカー2名の経験談を分析し、ボランティア活動を行う上での注意点や問題点を考察する。	竹澤
	第7回 専門職のボランティア活動 国内における専門職ボランティアの活動量の少なさに着目し、原因探求と将来への対応の仕方について討論する。	竹澤
	第8回 ボランティア活動の紹介・日米の活動比較 講師が行うテディベアギフティング（悲しい経験をした方々へベアの温もりと優しさを与える活動）について紹介する。また、日米でのボランティア活動の違いについて考察する。	竹澤
科目の目的	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア活動の多様性を理解する。 ・心の温もりがボランティアの基礎である事を認識する。 【倫理観と幅広い教養】 【基本的知識と技術】 【地域リハビリテーションの理解・問題解決力】 【自己研鑽・探求力】	
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・現代社会、地域社会のニーズと連携に目を向け貢献しつつ、学生自らの将来像、医療人としての職業観の確立の基礎作りができる。 ・ボランティア活動の学習から、自分の性格を再考し、他人への思いやりの気持ちを生むことができる。 	
関連科目	なし	
成績評価方法・基準	レポート（100%）	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	授業内容を分析し把握できるように、自分の価値基準を確立しておくこと。なお、自分の意見提示ができることが望ましい。準備学習に必要な時間の目安：1コマあたり4時間	
教科書・参考書	使用しない	
オフィス・アワー	授業の前後（場所：非常勤講師室）	
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
榎本 光邦			

授業形態	授業のはじめの30分程度講義を行い、残りの時間は講義で取り上げた内容について演習（個別・グループ）を行う。		担当者
授業計画	第1回	<p>自分を知る 対人援助職において、相手の価値観を知り、その人について理解を深めることは、被援助者との間に望ましい人間関係を築いていく上で実りの多いことである。しかし、相手の価値観を知る前に、まずは自分の価値観を意識化しておく必要がある。本講義で、SCT（文章完成法を行い、「自分とは何か」という問いに対する答えを考える。 key words：自己理解，SCT</p>	榎本光邦
	第2回	<p>心理療法（1） 「心の天気」 私たちは、いろいろなことを感じて、それを誰かに聞いてもらいたかったり、表現したかったりする。しかし、なかなか上手く言えなかったり、聞いてもらえなかったりする。表現することをあきらめてしまうことがよくある。そうすると、しまいには、自分が何を感じているのか自分でもわからなくなってしまい、落ち着きがなくなったり、わけもなく不安になったりする。 本講義では、「こころの天気」というワークを通じ、こころを天気に例えてみることで、今の自分の感じをわかりやすく表現し、今の自分のこころはどのような状態なのかきちんと把握する体験をする。 key words：こころの天気，からだの感じ調べ</p>	榎本光邦
	第3回	<p>心理療法（2） 「自立訓練法」 私たちのこころと体は密接な関係があり、不安やストレスが原因で体に症状が出ることもある。逆に、体の緊張を解きほぐすことでこころが穏やかになり、リラックスできることも考えられる。本講義では「不安階層表」を作成することにより自分が不安になる場面を想起し、一時的に不安状態になったところで自己催眠法である「自律訓練法」を実施し、不安を緩和する体験をする。 key words：不安階層表，自立訓練法，基本公式，第一公式，第二公式</p>	榎本光邦
	第4回	<p>心理療法（3） 「LAC法」（1） 大学入学後、本業である学業に対して無気力となり、サークル活動やアルバイト、余暇活動などに没頭するということは、誰でも経験し得ることである。そのような時は、自分の人生・生活全体を詳しく丁寧に分析して振り返り、自発的に自分の人生（生活）の目的（やりたいこと・やるべきこと）を設定して、意欲的に目的の達成に取り組んでいくことが必要である。本講義では、そのような取り組みを支援する方法である生活分析的カウンセリング(life analytic counseling)について、事例を通して実施方法や臨床への活用方法について学ぶ。 key words：生活分析的カウンセリング，スチューデント・アパシー</p>	榎本光邦
	第5回	<p>心理療法（4） 「LAC法」（2） 前回の講義で学んだLAC法を体験する。 key words：生活分析的カウンセリング，必要性，可能性，平均</p>	榎本光邦
	第6回	<p>心理療法（5） 「ストレスマネジメント」 対人援助職が他者に対して支援を行う際、まずは自らの心身の健康を保つことが求められる。同じ体験をしても、ストレスを強く感じる人と、それほど感じない人がいるが、その一因としてストレスへの対処法の得手・不得手が挙げられる。本講義では、質問紙への回答を通して、ストレスを引き起こす原因である「ストレスサー」が自分の身の回りにどれくらいあるかを把握し、ストレスマネジメントのワークを通してストレスサーによって「ストレス反応」が生じさせられることを防ぐための対処法を体験する。 key words：ストレスサー，ストレス反応，ストレスコーピング</p>	榎本光邦
	第7回	<p>心理療法（6） 「解決志向ブリーフセラピー」 カウンセリングや心理療法において、クライアントの問題が解消するまでにかかる時間はクライアントによってまちまちであり、中には何年も時間を要するケースもある。ブリーフセラピーとは、クライアントとカウンセラーができるだけ協力して、効率的な問題解決を目指す心理療法である。本講義ではそのエッセンスを活用した「解決志向ブリーフセラピー」を体験し、日常生活で抱えている問題の解決の糸口を見つけ出すことを目指す。 key words：ブリーフセラピー，スケーリングクエスチョン，コーピングクエスチョン，エクセプチョンクエスチョン，ミラクルクエスチョン</p>	榎本光邦

	<p>第8回 心理療法（7） 「タッピングタッチ」 タッピングタッチとは、指先の腹のところを使って、左右交互に、軽く弾ませるようにタッチすることを基本としたホリスティック（統合的）でシンプルなケアの手法である。本講義ではペアワークを通してタッピングタッチを体験し、その手法を習得する。 key words：タッピングタッチ，トラウマケア</p> <p>第9回 心理療法（8） 「フォーカシング」（1） フォーカシングとは、やさしい、許容的な態度で自分のからだに注意を向け、「フェルト・センス」と呼ばれる微妙な水準の認識に気づくようになるプロセスのことである。本講義では、フェルト・センスを感じるための練習を行う。 key words：フォーカシング，フェルト・センス，からだの感じ調べ</p> <p>第10回 心理療法（9） 「フォーカシング」（2） 私たちは、何か心配なことや気がかりなことがあると、それが頭から離れず、本来やるべきことに手が付けられないということがある。本講義では、自分の内面にある気がかりや問題を挙げていき、思い浮かんだものから適当な心理的距離をとる方法である「クリアリング・ア・スペース（clearing a space：CAS）の練習を行う。 key words：フォーカシング，クリアリング・ア・スペース</p> <p>第11回 心理療法（10） 「行動療法」 行動療法では、クライアント（または保護者等）とカウンセラーが共同して行動面での治療目標を立て、さまざまな技法を用いて不適切な反応を修正する。たとえば、楽しい雰囲気の中で、スモールステップで、徐々に恐怖対象に近づき、慣れるようにさせたり、賞賛やごほうび等を用いて、新しく適切な反応（感情や行動）を習得させる。本講義では、スモールステップの目標設定の練習を行う。 key words：行動療法，スモールステップ，強化，強化子</p> <p>第12回 心理療法（11） 「認知行動療法」 「無くて七癖」ということわざがあるように、誰にでも“クセ”というものがあるが、実は、ものの考え方にも“クセ”がある。認知行動療法とは、自分の考え方のクセ（自動思考）に気が付き、その誤りや偏りを適切な方向に修正していくという心理療法である。本講義では、自らの自動思考に気が付き、適切な考え方を探る練習を行う。 key words：認知行動療法，自動思考</p> <p>第13回 コミュニケーションスキルの基礎 コミュニケーションは、双方のやり取りで成立するものであり、一方通行では成り立たないものである。コミュニケーションは、言葉による伝達だけではなく、言葉以外の文字や身振り、表情なども含まれ、内容の正しさはもちろん、どのように伝えるかが大切である。本講義では円滑なコミュニケーションが成立するための基本的なスキルについて演習を交えて学習する。 なお、本講義は初級障がい者スポーツ指導員の基準カリキュラム「コミュニケーションスキルの基礎」に該当する（講義時間は1.5時間）。 key words：コミュニケーション，バーバルコミュニケーション，ノンバーバルコミュニケーション</p> <p>第14回 臨床心理アセスメント（1） 質問紙法 質問紙法は、印刷された質問文、またはウェブサイト上の質問文に対して、いくつかの選択肢からあてはまるものを回答する臨床心理アセスメントのための道具である。本講義では、POMS2日本語版を体験し、自分のおかれた条件の下で変化する一時的な気分・感情を測定する。 key words：質問紙法，POMS2</p> <p>第15回 臨床心理アセスメント（2） 描画法 様々な対象を指定して画用紙に絵を描かせる心理検査を「描画法」と総称している。画用紙という環境にいかにか自己表現するかによって、被検査者のパーソナリティの構造や動き具合を測定しようとする検査である。本講義では風景構成法を体験し、その理論や臨床への適応について学ぶ。 key words：描画法，空間象徴，風景構成法</p>	榎本光邦 榎本光邦 榎本光邦 榎本光邦 榎本光邦 榎本光邦 榎本光邦 榎本光邦
科目の目的	<p>私たちは、様々な悩みや問題を抱えながら生きている。カウンセリングでは、人がこうした悩みや問題に自分らしく向き合っていくプロセスに寄り添い、その方のこころを聴かせていただく。</p> <p>本講義では、「カウンセリングとは何か」を深く理解できるよう、カウンセリングの実践における理論と技法を学ぶ。また、さまざまな疾病・障害を持っている患者やその家族の心理について理解し、保健医療領域におけるサービスに必要な知識と基礎的な技術を習得する。</p> <p>なお、第13回目の講義は初級障がい者スポーツ指導員の基準カリキュラム「コミュニケーションスキルの基礎」に該当する（講義実施時間は1.5時間）。</p> <p>ディプロマポリシー：【倫理観と幅広い教養】【基本的知識と技術】【地域リハビリテーションの理解・問題解決力】【自己研鑽・探求力】</p>	
到達目標	1. 傾聴について理解を深め、受容的・共感的な傾聴ができるようになる。 2. 自分自身のこころに向き合っていけるようになる。 3. 精神科系統の疾患・障害をもつ患者やその家族の心理について理解し、保健医療領域におけるサービスに必要な知識と基礎的な技術を習得し、対人援助に活用できるようになる。 4. 病気になる、障害を負うということ考えることで、理学療法士として必要な援助的態度をとれるようになる。	

関連科目	<p>【教養・共通基盤科目群】心理学, 教育学, 教育心理学, 生命倫理, 哲学, 人間と宗教, 社会学, 生活文化と医療, 大学の学び入門, 大学の学び—専門への誘い—, 多職種理解と連携</p> <p>【専門基礎科目群】生理学Ⅰ, 生理学Ⅱ, 人間発達学, 公衆衛生学, 臨床神経学Ⅰ(神経内科学), 臨床神経学Ⅱ(小児神経学・脳神経外科学), 精神医学, 小児科学, リハビリテーション医学, 老年医学, 臨床心理学, リハビリテーション関連領域論, 安全管理, 医療統計学, 障害者スポーツ・レクリエーション論</p> <p>【専門科目群】小児理学療法学, 理学療法特殊講義</p>
成績評価方法・基準	定期試験(レポート形式・50%)に毎回の受講後に作成する小レポートの評価(50%)を加味して評価する。小レポートの内容に対するフィードバックは次回の講義の冒頭に行う。
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	<p>準備学習の内容については前回の講義時に指示をする。各単元について, 1時間程度の予習・復習を行うことを目安とする。</p> <p>講義資料は, 概ね講義の1週間前までにActive Academyにて配布するので, 各自ダウンロードし, 講義の際はプリントアウトして手元に用意しておくこと。</p>
教科書・参考書	<p>【教科書】 なし(必要に応じて資料を配布)</p> <p>【参考書】 山祐嗣・山口素子・小林知博編著(2009)「基礎から学ぶ心理学・臨床心理学」 北大路書房 ※ 必修科目「心理学」の教科書</p> <p>下山晴彦編著(2009)「よくわかる臨床心理学」 ミネルヴァ書房 ※ 必修科目「臨床心理学」の教科書</p>
オフィス・アワー	月・水・木・金の昼休み(1号館3階305研究室)
国家試験出題基準	<専門基礎> II-4-D
履修条件・履修上の注意	講義中の私語, スマートフォン・携帯電話の使用, 講義と関係のない作業(他の科目の学習等)は禁止します。注意しても止めない場合や, それらの行為が頻回に見られる場合は退室を命じ, その回の講義の出席を認めない場合もあります。

講義科目名称： 環境学

授業コード： 4P018

英文科目名称： Environmental Studies

対象カリキュラム： 2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	2単位	選択
担当教員	担当者		
西菌 大実			

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回 環境とは 環境問題の範囲と背景、SDGs	西菌 大実
	第2回 地球の環境の構造 地球の自然の成り立ち	西菌 大実
	第3回 生活を支える資源と持続可能社会 再生可能資源と再生不能資源、持続可能性とは	西菌 大実
	第4回 環境問題の変遷 公害問題から地球環境問題へ	西菌 大実
	第5回 典型七公害 大気・水・土壌の汚染、足尾鉍毒、四大公害病	西菌 大実
	第6回 有害物質による環境汚染 イタイイタイ病を事例として	西菌 大実
	第7回 水質汚濁（Ⅰ） 水質汚濁の原因、生活排水、BOD	西菌 大実
	第8回 水質汚濁（Ⅱ） 水質汚濁の対策、下水道と浄化槽、多自然川づくり	西菌 大実
	第9回 気候変動（Ⅰ） 気候変動の具体的な影響、豪雨・熱中症・感染症等の増加	西菌 大実
	第10回 気候変動（Ⅱ） 温室効果ガス、気候変動の状況と将来予測	西菌 大実
	第11回 気候変動（Ⅲ） 予防原則、先進国・途上国の責任、パリ協定	西菌 大実
	第12回 エネルギー問題と低炭素社会への流れ 1次エネルギー、再生可能エネルギー	西菌 大実
	第13回 廃棄物問題と循環型社会への流れ 一般廃棄物・産業廃棄物・感染性廃棄物と3R	西菌 大実
	第14回 低炭素社会と循環型社会の融合 再生可能エネルギー・再生可能資源を中心とした社会づくり	西菌 大実
	第15回 持続可能社会の構築をめざして 低炭素社会と循環型社会を具体化した未来社会の在り方を考える	西菌 大実
科目の目的	環境問題への認識は、現代社会を生きていくために不可欠の要素である。また、疾病の発症するバックグラウンドとして、その時代の環境が色濃く反映している。環境理解を深めることによって、社会人としてよりよく生き、適切な保健医療サービスを提供できるようになることを目指す。 【倫理観と幅広い教養】【基本的知識と技術】【地域リハビリテーションの理解・問題解決力】 【自己研鑽・探求力】	
到達目標	1. 環境問題の背景と発生原因を理解する 2. 公害問題、地球環境問題とその対策の考え方を理解する 3. 資源・エネルギーの適切な利用と低炭素社会・循環型社会・持続可能社会構築への認識を持つ	
関連科目	特になし	
成績評価方法・基準	定期試験（100%）	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	講義資料をもとに授業該当箇所の予習・復習（自筆ノートの整備）を行う。 準備学習に必要な学習時間の目安は1コマ当たり4時間。	
教科書・参考書	使用しない（プリント配布）	
オフィス・アワー	授業の前後・非常勤講師室	
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意	特になし	

講義科目名称： 基礎生物学

授業コード： 4P019

英文科目名称： Basic Biology

対象カリキュラム： 2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
佐藤久美子			

授業形態	講義	担当者
授業計画	<p>第1回</p> <p>ヒトへの進化 生命を支える物質 (1)</p> <p>①生命の誕生と進化、ヒトへの進化について概説 ②生命現象の普遍的な特質、一様性、多様性、連続性について ③生命活動に主要な役割を持つ構成成分(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水の重要性 ・タンパク質 	佐藤久美子
	<p>第2回</p> <p>生命を支える物質 (2)</p> <p>生命活動に主要な役割を持つ構成成分(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・炭水化物 (糖質) ・脂質 ・核酸 ・無機質 (無機塩類) 	佐藤久美子
	<p>第2回・3回</p> <p>生命の単位</p> <p>①ウイルス、原核細胞 (細菌類を含む)、真核細胞 ②真核細胞の構造と機能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・細胞膜の構造と機能 ・細胞質基質の役割 ・核の構造と機能 ・粗面小胞体の構造と機能 ・滑面小胞体の構造と機能 ・ゴルジ体の構造と機能 ・リソソーム ・ペルオキシソーム ・ミトコンドリア ・色素体 ・細胞骨格の種類とその役割 	佐藤久美子
	<p>第4回・5回</p> <p>細胞の増殖・生殖細胞の形成</p> <p>①細胞周期 ②間期 (S期、G2期、G1期) ③細胞周期の調節 ④分裂期 (M期)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体細胞分裂～染色体の構造、娘細胞への染色体 (遺伝子) の分配～ ・減数分裂～生殖細胞の形成、配偶子の形成～ 	佐藤久美子
	<p>第6・7回</p> <p>受精、発生、分化</p> <p>①無性生殖と有性生殖 ②受精 ③発生と分化のしくみ 卵割と胞胚形成、遺伝子の働き ④胚葉形成 (中期胞胚変 (遷) 移と母性胚性変 (遷) 移) ⑤器官形成 ⑥形態形成とアポトーシス</p>	佐藤久美子
	<p>第8回</p> <p>ヒトの染色体と遺伝子、メンデルの法則と形質の遺伝</p> <p>①ヒトの染色体と遺伝子 ②メンデルの法則と形質の遺伝 ③A B O血液型の遺伝 ④家系図の書き方 ⑤遺伝病の原因———遺伝子変異</p>	佐藤久美子
科目の目的	<p>高等学校「生物基礎」履修済みを前提に、医療系専門職の専門課程の学習を理解するために必要な生命現象の基礎知識を深めることを目的とする。具体的には、生体を構成する基本単位である細胞について、その構造と機能、細胞の増殖と生殖細胞の形成などを学び、さらに生命の連続性を担保する受精、発生、形質の遺伝について知識を深めることを目的とする。【倫理観と幅広い教養】【基本的知識と技術】【地域リハビリテーションの理解・問題解決力】【自己研鑽・探求力】</p>	
到達目標	<p>ヒトの生命活動の全体像を理解するために次の事項を理解し、説明できる力を身につける。</p> <p>①生命の起源からヒトへの進化、生命現象の特質について理解する。 ②細胞構成成分である水の重要性を理解し、タンパク質、糖、脂質、核酸、無機質について説明できる。 ③細胞の構造、細胞構成成分、細胞内小器官の働きや仕組みを理解する。 ④細胞の周期とその調節、体細胞分裂と減数分裂を図示して詳細に説明できる。 ⑤生殖、発生、分化のしくみ、形態形成とアポトーシスについて理解する。 ⑥ヒトの染色体と遺伝子、メンデルの法則とヒト正常形質の遺伝について説明できる。</p>	
関連科目	化学、解剖学 I、生理学 I、生化学	
成績評価方法・基準	定期試験の成績 (75%) 及び講義終了時に提出するリアクションペーパー (25%) により評価する。	

準備学習の内容・ 準備学習に必要な 学習時間の目安	各回ともシラバスの講義内容に一致する高等学校生物の教科書または補助教材を1時間程度復習しておくこと。特に、授業範囲の専門用語についてはわからないときには生物学事典（岩波書店、東京化学同人社など）で調べ、理解しておくこと。
教科書・参考書	教科書：「人の生命科学」 佐々木史江、堀口 毅、岸 邦和、西川純雄（医歯薬出版株式会社） 参考書：1. 「Essential細胞生物学原書第4版」中村桂子、松原謙一 監訳（南工堂） 2. アメリカ版「大学生物学の教科書1巻～3巻」 D. サダヴァ他著 ブルーバックス（講談社） 3. 「基礎から学ぶ生物学・細胞生物学」 和田 勝（羊土社）
オフィス・アワー	授業終了後に教室で、または随時e-mailで質問を受ける。
国家試験出題基準	
履修条件・履修上の注意	生物学全般、特に生命活動を支えるエネルギーの産生や生物学分野の基礎研究が医療に生かされている現状、ヒトの遺伝などを理解するために、後期に開講される生物学を併せて履修することが望ましい。

講義科目名称： 生物学

授業コード： 4P020

英文科目名称： Biology

対象カリキュラム： 2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
佐藤久美子			

授業形態	講義	担当者
授業計画	<p>第1回・2回 生命活動とエネルギー ①酵素の性質と酵素反応 ②生命活動とエネルギー ・光合成：光エネルギーを利用して二酸化炭素から炭水化物を作り出す過程について ・人工光合成研究開発の現状と未来計画 ・呼吸：生体のエネルギー産生とミトコンドリアの役割（解糖系からTCA回路、電子伝達系によるエネルギーの産生）について ・外呼吸と内呼吸の関係 ・動物と植物のエネルギー連関～光合成と呼吸～</p> <p>第3回・4回 遺伝ーヒトを中心にーその1 ①DNA複製のしくみ ②DNAの変異と修復 ③遺伝情報発現のしくみ ④原核生物と真核生物における遺伝情報発現コントロール ⑤性染色体の不活性化 ⑥エピジェネティクス</p> <p>第5回・6回 遺伝ーヒトを中心にーその2 ①単一形質（メンデル形質）で発現する遺伝病 ・常染色体性優性遺伝病、劣性遺伝病と伴性遺伝病 ・保因者、患者の出現頻度ーハーディーワインベルグの法則の有用性ー ②多因子遺伝病 ③染色体異常 ④ミトコンドリア病 ⑤体細胞遺伝病</p> <p>第6回・7回 ヒトの受精と初期発生 ①ヒトの配偶子形成：減数分裂と遺伝子の組み換え、精子と卵子の形成 ②受精：精子の先体反応、受精と多精拒否の機構 ③胚盤胞の形成と着床 ・始原生殖細胞の形成 ・内細胞塊の分化と胚葉の形成 ⑤胚葉の分化 ⑥前胚子期と胚子期 ⑦発生をつかさどる遺伝子 ⑧先天異常発生の要因</p> <p>第8回 細胞科学の先端研究と医療への応用 ①オミックス解析の現状と課題 ②細胞内タンパク質の再利用 ・ユビキチンプロテアソーム系 ・オートファジー ③iPS細胞 基礎研究と応用研究の進捗状況 ④細胞周期調節のしくみとがん化 ⑤細胞分裂の限界と老化</p>	<p>佐藤久美子</p> <p>佐藤久美子</p> <p>佐藤久美子</p> <p>佐藤久美子</p> <p>佐藤久美子</p>

科目の目的	<p>高等学校「生物基礎」履修済みを前提に、保健医療の専門職として、先進・高度化しつつある専門領域の学習を理解するために必要な生命科学の基礎知識を深めることを目的とする。本講義では、基礎生物学で学んだ知識をベースに、生命活動を支えるエネルギー獲得、真核細胞のDNA複製や遺伝子の情報発現、情報発現の調節などを詳しく学ぶ。また、ヒトの遺伝病、先天異常及びヒトの初期発生について学ぶ。さらに医療分野に直接関連する基礎生物学分野の研究進捗状況について理解する。【倫理観と幅広い教養】【基本的知識と技術】【地域リハビリテーションの理解・問題解決力】【自己研鑽・探求力】</p>
-------	--

到達目標	<p>基礎生物学で学んだ学習内容を基礎として次の事項を理解し、説明できる力を身につける。</p> <p>①光合成によるエネルギー獲得の詳細と呼吸による生命活動のエネルギー産生について詳細に説明できる。</p> <p>②真核細胞におけるDNAの複製、遺伝情報発現、情報発現コントロール、DNAの変異などについて知識を深める。</p> <p>③ヒトのメンデル様式による遺伝病およびそれ以外の要因による遺伝病について学び、説明できる。</p> <p>④ヒトの受精、発生初期における細胞分裂の詳細と形態形成及び先天異常発生の要因について学び、説明できる。</p> <p>⑤細胞科学の先端基礎研究と医療分野との関連について理解し、説明できる力を身につける。</p>
------	---

関連科目	基礎生物学、化学、解剖学 I、生理学 I、生化学
成績評価方法・基準	定期試験の成績（75%）及び講義終了時に提出するリアクションペーパー（25%）により評価する。
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	各回ともシラバスの講義内容に一致する高等学校生物の教科書または補助教材を1時間程度復習しておくこと。特に、授業範囲の専門用語についてわからないときには生物学事典（岩波書店、東京化学同人社など）で調べ、理解しておくこと。
教科書・参考書	教科書：「人の生命科学」 佐々木史江、堀口 毅、岸 邦和、西川純雄（医歯薬出版株式会社） 参考書：1. 「Essential細胞生物学原書第4版」中村桂子、松原謙一 監訳（南工堂） 2. アメリカ版 大学生物学の教科書1巻～3巻」 D. サダヴァ他著 ブルーバックス（講談社） 3. 「基礎から学ぶ生物学・細胞生物学」 和田 勝（羊土社）
オフィス・アワー	授業終了後に教室で、または随時e-mailで質問を受ける
国家試験出題基準	
履修条件・履修上の注意	基礎生物学を履修していることが望ましい。

講義科目名称： 基礎数学

授業コード： 4P021

英文科目名称： Basic Mathematics

対象カリキュラム： 2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
井上 浩一			

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回 数と式 多項式の四則演算を復習する。日常で数や式を操作するセンスを伸ばすことを促す。	井上 浩一
	第2回 方程式と不等式 1次不等式、2次方程式の復習をする。日常や医療の場でもそのセンスを役立てることを促す。	井上 浩一
	第3回 2次関数 関数とグラフの概念を復習する。 関数の最大・最小の求め方を整理する。 2次関数のグラフと2次方程式・2次不等式の関係。 生活の中で数量的なセンスを発揮することを促す。	井上 浩一
	第4回 図形と計量 三角比、正弦定理と余弦定理、図形の計量に関して復習する。 生活の中でそのセンスを磨くことを考える。	井上 浩一
	第5回 個数の処理 集合とその要素の個数、場合の数、順列、組み合わせ・二項定理の復習。生活の中でそのセンスを役立てることを促す。	井上 浩一
	第6回 確率 事象と確率、確率の性質、反復試行の確率、期待値の復習。生活の中でそのセンスを役立てることを考える。	井上 浩一
	第7回 論理と命題 命題と条件、必要条件、十分条件、逆、裏、対偶の復習。生活や医療の場で論理的なものごとをとらえるセンスを磨くことを促す。	井上 浩一
	第8回 基礎統計学 資料の整理を復習し、データの特徴的な値を求める。	井上 浩一
科目の目的	高校数学の基礎を復習し、数学の各分野の概念を再確認し、それを医療を含む生活での現象に結びつけて応用するセンスと技能を伸ばし、将来、医療従事者として数理現象を見出し、定量的に表現し、その上で分析、評価するための基礎的な能力を磨く。具体的には、数と式、方程式と不等式、二次関数、図形と計量、場合の数と確率、論理と命題、基礎統計学について学ぶ。【倫理観と幅広い教養】【基本的知識と技術】【地域リハビリテーションの理解・問題解決力】【自己研鑽・探求力】	
到達目標	1. 基礎的な数学の概念の復習をする。 2. 数学の概念や道具を自力で扱えるようにする。 3. 定量的なものごとを評価するセンスを磨く。	
関連科目	基礎統計学, 基礎物理学, 物理学, 基礎化学, 化学	
成績評価方法・基準	筆記試験(100%) なお、社会情勢に応じて、筆記試験の代わりにレポート試験をすることもありうる。	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	・高校数学の教科書の相当部分を読んでおく。(30分程度) ・プリントや問題集の問題を解く。(90分程度)	
教科書・参考書	教科書・参考書：特になし。 毎回、講義内容のプリントをActive Academyで配布する。 配布期間：前回授業翌日から当該日まで 持参方法：各自印刷して授業に持参すること	
オフィス・アワー	授業前後の休憩時間	
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		

講義科目名称： 基礎統計学

授業コード： 4P022

英文科目名称： Basic Statistics

対象カリキュラム： 2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
井上 浩一			

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回 オリエンテーションおよび高校数学 授業の内容・進め方、成績評価の仕方を説明した後、講義に必要な高校数学(微分・積分など)を復習する。	井上浩一
	第2回 確率分布 確率変数および確率分布の概念を学び、離散型確率変数の基本事項(期待値、分散など)を学ぶ。	井上浩一
	第3回 代表的な確率分布(1) 代表的な離散型確率分布である二項分布を学ぶ。	井上浩一
	第4回 代表的な確率分布(2) 連続型確率変数の基本事項(期待値、分散など)を学び、とりわけ正規分布を学ぶ。	井上浩一
	第5回 相関 2変数データを散布図にまとめて、その分布を視覚的に把握する方法を学ぶ。	井上浩一
	第6回 標本調査 母集団の特徴を表す母平均・母分散、また基本的な統計量である標本平均とその分布を学ぶ。	井上浩一
	第7回 推定 母集団のある値を、標本のデータから推定する方法を学ぶ。	井上浩一
	第8回 検定 母集団についてのある仮説が、標本のデータに基づいて、その仮説を否定できるかどうかを判定する方法を学ぶ。	井上浩一
科目の目的	データを処理する上で必要となる統計的な見方・考え方および手法を学び、将来、仕事などで統計を用いる際の土台をつくる。【倫理観と幅広い教養】【基本的知識と技術】【地域リハビリテーションの理解・問題解決力】【自己研鑽・探求力】	
到達目標	1. 確率分布の概念を理解し、その特徴を表す値(期待値、分散など)を求めることができる。 2. データの相関を把握し、それらを的確に表現することができる。 3. 推定・検定の意味を理解して、母集団の考察に活用できる。	
関連科目	基礎数学、データサイエンス入門	
成績評価方法・基準	筆記試験100% なお、社会情勢に応じて、筆記試験の代わりにレポート試験をすることもありうる。	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	予習：授業前に配布したプリントに目を通しておく。(30分程度) 復習：教科書または参考書の演習問題を解いてみる。(90分程度)	
教科書・参考書	教科書：「Excelによるメディカル/コ・メディカル統計入門」勝野恵子・井川俊彦(共立出版) 参考書1：「はじめての統計学」道家暎幸・伊藤真吾・宮崎直・酒井祐貴子(コロナ社) 参考書2：高校数学Bの教科書	
オフィス・アワー	授業前後の休憩時間	
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意	○履修上の注意 教科書の第3章から始めて、目次通りに授業を進めるが、時間の制約上、すべてを網羅できないことをご了承していただきたい。なお、第1, 2章の内容は講義「基礎数学」に含まれています。 また、講義内容をまとめたプリントをActive Academyに登録しておくので、講義日までに各自でダウンロードしておいてください。	

講義科目名称： 基礎化学

授業コード： 4P023

英文科目名称： Basic Chemistry

対象カリキュラム： 2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
日置 英彰			

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回 化学の立場から医療を考える 歴史的に重要な化学物質を取り上げて、化学物質がどのように医療に貢献してきたか考える。	日置 英彰
	第2回 物質の成り立ち 物質を構成している分子と原子の構造、原子軌道、分子軌道について解説する。	日置 英彰
	第3回 元素と周期表 自然にはどのような元素があるのか、元素の分類と周期表の読み方について解説する。	日置 英彰
	第4回 イオン イオンとイオン結合の原理、生体内でのイオンの役割について解説する。	日置 英彰
	第5回 共有結合化合物と有機分子 生体を構成している物質のほとんどは有機分子である。有機分子の結合様式、特異的な形、一般的な性質について解説する。	日置 英彰
	第6回 水の性質と物質の状態変化 ヒトの体の半分以上を占める水の性質と物質の三態（気体、液体、固体）について解説する。	日置 英彰
	第7回 化学反応の速度 化学反応の速度の測定方法、速度に影響を与える要因について解説する。	日置 英彰
	第8回 放射線と放射能 放射性崩壊と半減期、医療における放射性同位体の利用について解説する。	日置 英彰
科目の目的	地球上に生きるすべての生命を持つものを物質から見れば、巨視的に見えるものから究極を突き詰めれば見えないものは原子や分子の世界まで行きつくことになる。本科目では、物質の科学であると言われる化学について、物質についての基本的な事項を高校化学の基礎にさかのぼり学び、専門課程の理解のための基礎的知識を身につけることを目的とする。【倫理観と幅広い教養】【基本的知識と技術】【地域リハビリテーションの理解・問題解決力】【自己研鑽・探求力】	
到達目標	専門課程で学習する内容を理解するために、化学分野の基礎的知識を習得する。	
関連科目	生化学	
成績評価方法・基準	試験（80%）、毎講義ごとのリアクションペーパー（Active Academyのアンケート機能を利用）の提出（20%）	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	予習は必要ないが、毎回の講義の理解度を確認するために、各講義ごとに出席されるチェックテストを活用して復習してください。準備学習時間の目安：1時間	
教科書・参考書	教科書：看護系で役立つ化学の基本 有本淳一・西沢いづみ著 化学同人 参考書：特に指定なし	
オフィス・アワー	講義前後の時間	
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意	特にありません。	

講義科目名称： 化学

授業コード： 4P024

英文科目名称： Chemistry

対象カリキュラム： 2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
日置 英彰			

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回 病気と闘う化学物質 くすりは体の中でどのように作用するのか概説しながら、医療と化学がどのように関わっているのか考える。	日置 英彰
	第2回 生体内ではたらく有機化合物 ホルモンや神経伝達物質をはじめ多くの有機化合物が生命活動を維持する上で重要な役割を果たしている。これら有機化合物の性質を官能基別に解説する。	日置 英彰
	第3回 酸と塩基 酸、塩基、緩衝液について解説する。	日置 英彰
	第4回 酸化と還元 物質の酸化と還元、生体内での酸化還元反応について解説する。	日置 英彰
	第5回 生体高分子 糖、タンパク質、核酸の化学構造とその性質について解説する。	日置 英彰
	第6回 触媒と酵素 生体内の化学反応は酵素が触媒している。化学反応における触媒の役割、酵素の構造と触媒作用について解説する。	日置 英彰
	第7回 合成高分子 医療材料には多くの高分子素材が使われている。各種高分子の性質と医療材料への応用について解説する。	日置 英彰
	第8回 拡散と浸透現象 細胞への物質の出入りや人工透析などを考える上で重要な拡散と浸透現象原理について解説する。	日置 英彰
科目の目的	医療と化学の関係は深い。生命活動自身が秩序だった化学反応であり、医薬品、医用材料、臨床検査薬等を扱うには化学的な見方・考え方は重要である。本講義ではその基本的知識を習得する。 【倫理観と幅広い教養】【基本的知識と技術】【地域リハビリテーションの理解・問題解決力】 【自己研鑽・探求力】	
到達目標	生体関連物質、医薬品、医用材料など医療に密接に関係している化学物質の性質や反応を理解する。	
関連科目	生化学	
成績評価方法・基準	試験（80%）、毎講義ごとのリアクションペーパー（Active Academyのアンケート機能を利用）の提出（20%）	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	予習は必要ないが、毎回の講義の理解度を確認するために、各講義ごとに出题されるチェックテストを活用して復習してください。準備学習時間の目安：1時間	
教科書・参考書	教科書：看護系で役立つ化学の基本 有本淳一・西沢いづみ著 化学同人 参考書：特になし	
オフィス・アワー	講義前後の時間	
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意	特にありません。	

講義科目名称： 基礎物理学

授業コード： 4P025

英文科目名称： Basic Physics

対象カリキュラム： 2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
山崎 真			

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回 物理量の次元と単位 補助単位、組立単位、同次元の単位の変換。	山崎真
	第2回 静止系 力の釣り合い、モーメントの釣り合い、バネの力	山崎真
	第3回 運動 瞬間の速度、加速度。等速直線運動、等加速度運動。	山崎真
	第4回 運動方程式 1 力学の問題の標準的な手続き。	山崎真
	第5回 運動方程式 2 坂道、バネなどの典型問題。	山崎真
	第6回 仕事とエネルギー 位置エネルギー、運動エネルギー、弾性エネルギー。エネルギー保存則。	山崎真
	第7回 円運動 等速円運動。	山崎真
	第8回 バネと単振動 単振動	山崎真
科目の目的	高等学校で物理を履修していない学生を想定し、物理の基礎を身につける。 高校物理を履修済みの学生にとっても新たな発見があるよう、別の視点の紹介も行う。 【倫理観と幅広い教養】【基本的知識と技術】【地域リハビリテーションの理解・問題解決力】 【自己研鑽・探求力】	
到達目標	物理学の基礎的な概念を知り、標準的なアプローチを身につけ、物理現象を定量的・定性的に取り扱えるようになる。 分野は概ね初等力学。	
関連科目	物理学	
成績評価方法・基準	定期試験(90%)，講義内レポート(10%)	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	高校物理教科書や参考書を読んでから講義に臨めばより効果的だが、受講生には予習よりも講義の復習を期待する。前回の演習問題を解いておくこと。 30分～1時間程度(定期試験前の復習は別)	
教科書・参考書	教科書：自作テキスト	
オフィス・アワー	随時。	
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意	特になし	

講義科目名称： 物理学

授業コード： 4P026

英文科目名称： Physics

対象カリキュラム： 2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
山崎 真			

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回 熱現象 1 熱と温度、比熱	山崎真
	第2回 熱現象 2 気体の状態方程式、仕事と熱	山崎真
	第3回 熱現象 3 気体分子運動論	山崎真
	第4回 波動 1 回折、屈折、波の式	山崎真
	第5回 波動 2 干渉、ドップラー効果	山崎真
	第6回 電気基礎 1 抵抗回路の基礎、電位の概念	山崎真
	第7回 電気基礎 2 キルヒホッフの法則、電力	山崎真
	第8回 電磁波・放射線 電磁波と各種核崩壊	山崎真
科目の目的	高等学校で物理を履修していない学生を想定し、物理の基礎を身につける。 基礎物理学に続き熱と波動、電気の基礎を学ぶ。【倫理観と幅広い教養】【基本的知識と技術】 【地域リハビリテーションの理解・問題解決力】【自己研鑽・探求力】	
到達目標	物理学の基礎的な概念を知り、標準的なアプローチを身につけ、物理現象を定量的・定性的に取り扱えるようになる。	
関連科目	基礎物理学	
成績評価方法・基準	定期試験(90%)，講義内レポート(10%)	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	高校物理教科書や参考書を読んでから講義に臨めばより効果的だが、受講生には予習よりも講義の復習を期待する。前回分の演習問題を解いておくこと。 30分～1時間程度(定期試験前の復習は別)	
教科書・参考書	教科書：自作テキスト	
オフィス・アワー	随時。	
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		

講義科目名称： 英語リーディング

授業コード： 4P027

英文科目名称： General English Reading

対象カリキュラム： 2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
井上 まゆみ			

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回 Introduction、Self Introduction 授業の説明、自己紹介 第2回 Lesson 1 Communication Communicationの持つ力についての会話練習、英文読解。 第3回 Lesson 2 Friendship 様々なfriendshipの形についての会話練習、英文読解。 第4回 Lesson 3 Health Healthに留意することの意義についての会話練習、英文読解。 第5回 Lesson 4 Environment 絶滅危惧種を守るためにすべきことについての会話練習、英文読解。 第6回 Lesson 5 Fashion 着物の変遷に関する会話練習、英文読解。 第7回 Lesson 6 Food 人気のある食べ物についての会話練習、英文読解。 第8回 Lesson 8 Study Abroad 海外留学の意義についての会話練習、英文読解。 第9回 Lesson 9 College Life in the U. S. 日本とアメリカの大学生活の違いについての会話練習、英文読解。 第10回 Lesson 10 Steve Jobs Steve Jobsの生涯に関する会話練習、英文読解。 第11回 Lesson 11 Volunteer Work ボランティア活動の意義に関する会話練習、英文読解。 第12回 Lesson 12 Internship インターンシップの意義に関する会話練習、英文読解。 第13回 Lesson 13 Travel 交通手段の発展の歴史に関する会話練習、英文読解。 第14回 Lesson 14 Culture カルチャーショックに関する会話練習、英文読解。 第15回 Lesson 15 An International World 留学を通して得られたものについての会話練習、英文読解。	井上 まゆみ 井上 まゆみ
科目の目的	専門分野の英語に取り組むための基礎力、特にリーディング力、リスニング力を養成する。英語を学ぶことを通じて、将来の医療人として人間や社会に対する興味・関心の幅を広げ、関心・興味を持った事柄に関して調べ、自分の考え・意見を持ち、それらを表現する。【倫理観と幅広い教養】 【基本的知識と技術】 【地域リハビリテーションの理解・問題解決力】 【自己研鑽・探求力】	
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・テキストや各自の力と興味に合わせた本を読むことを通じて、多くの英文に接し、構文を正しく理解し、英文の内容を理解することができる。 ・テキストのトピックについて調べ、自分の考え・意見を持ち、グループやペアでの話し合いを通じて、他者の考え・意見も聞き、最終的に自分の考え・意見をまとめ、表現することができる。 ・テキスト教材の音声を聞いて、単語や文章を聴き取り、発音することができる。 ・extensive readingの目標は10,000words。易しい英文を楽しみながら読むことができ、口語表現、日常生活での英語表現が理解できる。 	
関連科目	医療英語会話、医療英語リーディング、英語会話、英語アカデミックリーディング・ライティング	
成績評価方法・基準	定期試験 (60%) 課題(30%) extensive reading(10%)	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	予習：次回に学習する範囲の英文を読んで、わからない単語は辞書で調べ、英文の大まかな内容をつかむ。どこがわからないのかを明確にする。exercise等もあらかじめやっておく。 復習：その日に学習したことを整理し、英文を理解する。課題を行う。予習復習合わせて約1時間。 extensive readingについては、目標達成に向けて、各自のペースで計画的に進める。	
教科書・参考書	教科書：Journeys: Communication for the Future 阿野幸一ほか4名 (朝日出版社)	
オフィス・アワー	授業の前後 (場所：非常勤講師室)	
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意	高校までの基本的英文法は理解しておいてください。	

講義科目名称： 医療英語会話

授業コード： 4P028

英文科目名称： Medical English Conversation

対象カリキュラム： 2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
David Andrews			

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回 Introduction/Icebreaking イントロダクション、本授業について（シラバスや成績評価方法等）。 初対面で使う表現および授業中よく使われる表現の紹介、練習。	David Andrews
	第2回 Unit 1: Meeting patients	David Andrews
	第3回 Unit 1の小テスト + Unit 2: Taking a medical history	David Andrews
	第4回 Unit 2の小テスト + Unit 3: Assessing symptoms	David Andrews
	第5回 Unit 3の小テスト + Unit 4: Taking vital signs および第1回目のプレゼンテーション準備	David Andrews
	第6回 第1回目のプレゼンテーション + Unit 4: Taking vital signs	David Andrews
	第7回 Unit 4の小テスト + Unit 5: Taking a specimen	David Andrews
	第8回 Unit 5の小テスト + Unit 6: Conducting a medical examination	David Andrews
	第9回 Unit 6の小テスト + Unit 7: Assessing pain	David Andrews
	第10回 Unit 7の小テスト + Unit 8: Advising about medication および第2回目のプレゼンテーション準備	David Andrews
	第11回 第2回目のプレゼンテーション + Unit 8: Advising about medication	David Andrews
	第12回 Unit 8の小テスト + Unit 9: Improving Patients' mobility	David Andrews
	第13回 Unit 9の小テスト + Unit 10: Maintaining a good diet	David Andrews
	第14回 Unit 10の小テスト + Unit 11: Caring for inpatients	David Andrews
	第15回 Unit 12: Coping with emergencies および定期試験（プレゼンテーション）の準備	David Andrews
科目の目的	現在、医療は、間違いなくグローバルな分野であり、「国際語」である英語を通じて様々なアイデアが世界中に共有されている。本授業では、医療分野において必要な医療用語や表現を知識として身に付け、実際の場で使えるように実用的なコミュニケーションスキルを学ぶ。【キーワード：【倫理観と幅広い教養】【基本的知識と技術】【地域リハビリテーションの理解・問題解決力】【自己研鑽・探求力】】	
到達目標	医療業界において様々なシチュエーションに対応できるようになる。また、医療業界でよく使われている専門用語や表現等を聞き取り、言えるようになる。	
関連科目	英語会話、医療英語リーディング、英語リーディング、英語アカデミックリーディング・ライティング	
成績評価方法・基準	小テスト（30%）、授業中の積極的参加・発言（10%）、中間プレゼンテーション（2回；1回目＝15%、2回目＝20%）、定期試験（プレゼンテーション）（25%） 授業中に小テストの結果を毎回確認させ、プレゼンテーションへのフィードバックを口頭で行う。	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	復習：前回の授業で学んだことを定着させる。予習：テキストに目を通して、オーディオを聞き、練習問題をやる。学習時間は合わせて1.5時間程度。また、中間プレゼンテーションの準備時間は合わせて4～6時間程度。	
教科書・参考書	教科書：Caring For People	
オフィス・アワー	授業日の昼休み（1号館 ANNEX 6階619研究室）	
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意	予習は必ずすること。授業に辞書を持ってくる。	

講義科目名称： 医療英語リーディング

授業コード： 4P029

英文科目名称： Medical English Reading

対象カリキュラム： 2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
井上 まゆみ			

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回 Introduction Test Your Reading Skill 授業の説明、各自のreading skillのチェック、単語力のチェック。 第2回 Unit 1 How Food Passes Through Our Body topicの英文読解、内容の把握。 第3回 Unit 2 Coping with Cancer topicの英文読解、内容の把握。 第4回 Unit 3 Where Medicine Meets Religion topicの英文読解、内容の把握。 第5回 Unit 4 Before Calling It Malpractice topicの英文読解、内容の把握。 第6回 Unit 5 How Are Drugs Developed? topicの英文読解、内容の把握。 第7回 Unit 6 What Comes First when Helping Others topicの英文読解、内容の把握。 第8回 Unit 7 How to Identify Reliable Health Information topicの英文読解、内容の把握。 第9回 Unit 8 What Is "Upstream" Thinking? topicの英文読解、内容の把握。 第10回 Unit 9 Actions Speaks Louder than Words topicの英文読解、内容の把握。 第11回 Unit 10 Genetic Counseling as an Emerging Field topicの英文読解、内容の把握。 第12回 Unit 11 Can Medical Tourism Be a White Knight? topicの英文読解、内容の把握。 第13回 Unit 12 Hopes in Regenerative Medicine topicの英文読解、内容の把握。 第14回 Unit 13 Traditional Medicine in the Modern World topicの英文読解、内容の把握。 第15回 Unit 14 Japan's Healthcare System Is the Envy of the World Reading Skill のチェック topicの英文読解、内容の把握。各自のreading skillの再チェック。単語力の再 チェック。	井上 まゆみ 井上 まゆみ
科目の目的	専門分野の英語に取り組むためのリーディング力、リスニング力、表現力の養成と強化。 医療系の基本的英語語彙力と英語表現力の強化。【倫理観と幅広い教養】【基本的知識と技術】 【地域リハビリテーションの理解・問題解決力】【自己研鑽・探求力】	
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・医療全般に関するトピックを読み、構文を正しくとらえ、内容を理解することができる。 ・トピックの内容をまとめ、関連する事柄について、自分の意見・考えを表現できる。 ・テキストの音声聞いて単語や文章を正しく聴き取ることができる。 ・医療の基本的英単語、英語表現を覚え、声に出して読んで書くことができる。 	
関連科目	英語リーディング 医療英語会話 英語会話 英語アカデミックリーディング・ライティング	
成績評価方法・基準	定期試験 (90%) 医療英単語テスト(10%)	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	予習：次回に学習する範囲の英文、英単語の音声を聴く。英文を読んで、わからない単語は辞書で調べ、英文の大まかな内容をつかむ。どこがわからないのかを明確にする。 復習：その日に学習したことを整理し、英語構文を理解する。英単語、英語表現は覚え、正しく発音できるように音声教材をよく聴き、また、正しく書けるまで練習する。課題を行う。 予習復習合わせて約1時間。	
教科書・参考書	教科書：Medical World Walkabout 大野直子&ダシルヴァ石田牧子 (成美堂)	
オフィス・アワー	授業の前後 (場所：非常勤講師室)	
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意	高校までの基本的英文法は理解しておいてください。	

講義科目名称： 英語会話

授業コード： 4P030

英文科目名称： General English Conversation

対象カリキュラム： 2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
David Andrews			

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回 Course introduction/Icebreaking Explanation of the syllabus and grading. Introduction of phrases that will commonly be used in the class.	David Andrews
	第2回 Unit 1: Which do you prefer, dogs or cats? Talking about yourself, your hobbies, and your interests.	David Andrews
	第3回 小テストU1 および Unit 2: Where would you like to visit? Talking about countries and places that interest you.	David Andrews
	第4回 小テストU2 および Unit 3: Let's talk about money Expressing money amounts, dealing with currency exchange, and using an ATM.	David Andrews
	第5回 小テストU3 および Unit 4: Let's go to Hawaii! (part 1) および第1回目のプレゼンテーション準備 Making reservations and checking in to a hotel および各Unitより会話の作成。	David Andrews
	第6回 第1回目のプレゼンテーションおよび Unit 4: Let's go to Hawaii! (part 2) 第1回目のプレゼンテーションおよび Making reservations and checking in to a hotel (continued)	David Andrews
	第7回 小テストU4 および Unit 5: Let's do this! Talking about resort activities and making plans.	David Andrews
	第8回 小テストU5 および Unit 6: How do I get to the Koi Pond? Asking and giving directions.	David Andrews
	第9回 小テストU6 および Unit 7: Where are you headed? Asking for a taxi and making small talk.	David Andrews
	第10回 小テストU7 および Unit 8: Let's take a tour! (part 1) および第2回目のプレゼンテーション準備 Talking about various island tours and activities および各Unitより会話の作成。	David Andrews
	第11回 第2回目のプレゼンテーションおよび Unit 8: Let's take a tour! (part 2) 第2回目のプレゼンテーションおよび Talking about various island tours and activities (continued)	David Andrews
	第12回 小テストU8 および Unit 9: How much is this T-shirt? Going shopping and buying things.	David Andrews
	第13回 小テストU9 および Unit 10: Let's go out to eat! Ordering food at a restaurant.	David Andrews
	第14回 小テストU10 および Unit 11: Lost and Found Describing an item you have lost.	David Andrews
	第15回 Unit 12: How was your vacation? および定期試験 (プレゼンテーション) の準備 Talking about your experiences および各Unitより会話の作成。	David Andrews
科目の目的	本授業では、英語でコミュニケーションをとる際に役立つ用語や表現、異文化に対する寛容さを身に付け、様々な状況や場面で使えるように実用的なコミュニケーションスキルを学ぶ。【キーワード：【倫理観と幅広い教養】【基本的知識と技術】【地域リハビリテーションの理解・問題解決力】【自己研鑽・探求力】】	
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・自分のことや身の回りのことについて英語で伝えることができる。 ・様々な場面において実用的なコミュニケーションスキル(要求、指示など)を習得する。 ・英語圏の文化や風習を理解する。 	
関連科目	医療英語会話、英語リーディング、医療英語リーディング、英語アカデミックリーディング・ライティング	
成績評価方法・基準	小テスト (30%)、授業中の積極的参加・発言 (10%)、中間プレゼンテーション (2回; 1回目=15%、2回目=20%)、定期試験 (プレゼンテーション) (25%) 授業中に小テストの結果を毎回確認させ、プレゼンテーションへのフィードバックを口頭で行う。	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	復習：前回の授業で学んだことを定着させる。学習時間は1.5時間程度。また、中間プレゼンテーションの準備時間は合わせて4~6時間程度。	
教科書・参考書	教科書：使用せず 適宜、教材用資料を配布	

オフィス・アワー	授業日の昼休み（1号館 ANNEX 6階619研究室）
国家試験出題基準	
履修条件・履修上の注意	予習は必ずすること。授業に辞書を持ってくる。

講義科目名称： 中国語

授業コード： 4P031

英文科目名称： Chinese

対象カリキュラム： 2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
深町 悦子			

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回 ガイダンス、中国語とは？ 発音、漢字、声調	深町 悦子
	第2回 中国語の発音のきまり 単母音、複合母音、声調	深町 悦子
	第3回 子音の発音と音節 母音、子音、音節表の読み方	深町 悦子
	第4回 発音のまとめ 自分の名前を中国語で読む練習	深町 悦子
	第5回 第1課の学習 第1課 [私は日本人です] 文法 単語 本文 置換練習	深町 悦子
	第6回 第1課の復習と第2課の学習 第2課 [これは中国語の教科書です] 文法 単語 本文 置換練習	深町 悦子
	第7回 第2課の復習と第3課の学習 第3課 [マクドナルドに行きましょう] 文法 単語 本文 置換練習	深町 悦子
	第8回 発音の総合復習と第1課から第3課までの復習 中間レポート提出	深町 悦子
	第9回 第3課の復習と第4課の学習 第4課 [明日の天気はあまりよくない] 文法 単語 本文 置換練習	深町 悦子
	第10回 第4課の復習と第5課の学習 第5課 [私は今年18歳です] 文法 単語 本文 置換練習	深町 悦子
	第11回 第5課の復習と第6課の学習 第6課 [食堂は図書館のむかいにあります] 文法 単語 本文 置換練習	深町 悦子
	第12回 第6課の復習と第7課の学習 第7課 [私は11時に寝ます] 文法 単語 本文 置換練習	深町 悦子
	第13回 第7課の復習と第8課の学習 第8課 [私は中日辞典を1冊買いに行きたい] 文法 単語 本文 置換練習	深町 悦子
	第14回 第8課の復習と第9課の学習 第9課 [私は本屋でアルバイトをしています] 文法 単語 本文 置換練習 文法 単語 本文 置換練習	深町 悦子
	第15回 第1課から第9課までの復習 総合復習	深町 悦子
科目の目的	現代のグローバル化の社会の中で、一国際人として、多言語ができる人材を育成する。【倫理観と幅広い教養】 【基本的知識と技術】 【地域リハビリテーションの理解・問題解決力】 【自己研鑽・探求力】	
到達目標	日常生活及び仕事の中で、簡単な会話ができること。	
関連科目	特になし	
成績評価方法・基準	期末に筆記試験を行う。基準は筆記試験が80%、授業内にレポート及び感想文の提出が20%。提出されたレポートについては次回授業内でフィードバックを行う。	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	授業前の予習と授業後の復習をすること。1時限ごとに30分ぐらい必要である。発音の練習は必ずしっかりする事、特に四声については、音声ファイルを聞きながら発声して覚えるように。	

教科書・参考書	教科書：グッと入門中国語（金星堂） 参考書：なし
オフィス・アワー	講義の前後
国家試験出題基準	
履修条件・履修上の注意	教科書の購入が必要である

講義科目名称： コリア語

授業コード： 4P032

英文科目名称： Korean

対象カリキュラム： 2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
青木 順			

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回 ハングルの読み方 基本母音 朝鮮半島、ソウル市などを簡単に紹介し、ハングルの由来、構造を簡単に説明。 基本母音10個の読み方、基本母音を含んだ単語、挨拶言葉等を学習する。	青木 順
	第2回 ハングルの読み方 基本子音 基本子音4個の読み方、その基本子音を含んだ単語、挨拶言葉を学習する。 文化として伝統料理を紹介する。	青木 順
	第3回 ハングルの読み方 基本子音 基本子音4個の読み方、その基本子音を含んだ単語、挨拶言葉を学習する。	青木 順
	第4回 ハングルの読み方 激音（濃音と比較しながら） 濃音と比較しながら激音5個の読み方、激音を含んだ単語、挨拶言葉を学習する。 文化として伝統茶を紹介する。	青木 順
	第5回 ハングルの読み方 濃音（激音と比較しながら） 激音と比較しながら濃音5個の読み方、濃音を含んだ単語、挨拶言葉を学習する。	青木 順
	第6回 合成母音 合成母音11個の読み方、合成母音を含んだ単語、挨拶言葉を学習する。	青木 順
	第7回 ハングルの読み方 パッチム パッチムの読み方、パッチムを含んだ単語、挨拶言葉を学習する。 文化として食事のマナー、1歳の誕生日を紹介する。	青木 順
	第8回 「私は青木順です」① サンパッチム、連音の説明、練習を行う。	青木 順
	第9回 「私は青木順です」② 「は」「です」「～と申します」という文法の学習、関連会話文の読み、訳を行う。 文化として伝統家屋、伝統舞踊を紹介する。	青木 順
	第10回 「私は青木順です」のまとめと「何人家族ですか？」① 韓国語での自己紹介を一人一人行う。 関連単語、「ます」「ますか」等の文法の学習と練習を行う。 文化として伝統的結婚式、楽器等を紹介する。	青木 順
	第11回 「何人家族ですか」② 「お～になります」「が」「と」などの文法の学習と練習を行う。	青木 順
	第12回 「何人家族ですか」③ 固有数字、関連会話文の読み、訳、会話練習等を行う。 文化として伝統遊びを紹介する。	青木 順
	第13回 「すみません」① 関連単語、「～してください」、意志を含んだ「ます」等の文法の学習と練習を行う。	青木 順
	第14回 「すみません」② 「いる（いない）」「ある（ない）」の説明と練習。 固有数字を使う助数詞、関連会話文の読み、訳を行う。 文化として伝統刺繍を紹介する。	青木 順
	第15回 「すみません」③とまとめ 会話練習、文法のまとめ、試験問題の説明を行う。	青木 順
科目の目的	基礎的なコリア語を学ぶと同時に、韓国社会や文化への理解も深める。【倫理観と幅広い教養】 【基本的知識と技術】【地域リハビリテーションの理解・問題解決力】【自己研鑽・探求力】	
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ハングル文字を正確に読み書きできるようになる。 ・正確な発音をマスターする。 ・挨拶をはじめ、簡単な日常会話を身につける。 	
関連科目	特になし。	
成績評価方法・基準	課題への取り組み（40％）・期末テスト（60％）	

準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	授業で学習した内容はその都度復習しておくこと。 外国語の学習は反復・継続することが何より大切なので、毎日10分でもよいので、積極的に取り組むこと。
教科書・参考書	講師作成教材使用予定(コピー)
オフィス・アワー	韓国語の授業のある日12:30~12:50非常勤教員室
国家試験出題基準	特になし。
履修条件・履修上の注意	講師作成の教材を使用する。 配布期間：前回の授業翌日から当該日まで。 持参方法：各自印刷して授業に持参すること（課題も含まれているため、印刷必須）。

講義科目名称： ドイツ語

授業コード： 4P033

英文科目名称： German

対象カリキュラム： 2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
菅谷 優			

授業形態	講義	担当者
授業計画	Lektion1 動詞の現在人称変化1	菅谷 優
	Lektion2 名詞と冠詞の格変化	菅谷 優
	Lektion3 名詞の複数形・人称代名詞	菅谷 優
	Lektion4 動詞の現在人称変化2・命令法	菅谷 優
	Lektion5 定冠詞類・不定冠詞類	菅谷 優
	Lektion6 前置詞	菅谷 優
	Lektion7 話法の助動詞・未来形・非人称動詞	菅谷 優
	Lektion8 分離動詞と非分離動詞・接続詞	菅谷 優
	Lektion9 動詞の三基本形・過去人称変化	菅谷 優
	Lektion10 現在完了・再帰表現	菅谷 優
	Lektion11 形容詞の格変化	菅谷 優
	Lektion12 形容詞と副詞の比較変化・zu不定詞	菅谷 優
	Lektion13 関係代名詞・指示代名詞	菅谷 優
	Lektion14 受動態	菅谷 優
	Lektion15 接続法	菅谷 優
科目の目的	ドイツ語の基礎文法を一巡する。【倫理観と幅広い教養】【基本的知識と技術】【地域リハビリテーションの理解・問題解決力】【自己研鑽・探求力】	
到達目標	講師のいない独習においても辞書と教科書を用いてドイツ語の文章が理解できるようにする。	
関連科目	健康スポーツ実技 現代文学 英語リーディング 医療英語会話 中国語 コリア語 ポルトガル語 情報処理	
成績評価方法・基準	期末試験100%	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	各文法事項一課につき予習復習込みで二時間	
教科書・参考書	教科書は郁文堂からでているDeutsche Grammatik System und Praxis Leicht ISBN978-4-261-01272-9を使用。辞書は郁文堂：新キャンパス独和辞典978-4-261-07306-5をお買い求めください。参考書として朝日出版社から出ている単語帳：ドイツ語基礎単語帳をお勧めいたします	
オフィス・アワー	授業終了後、教室前、あるいは講師室にて	
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		

講義科目名称： ポルトガル語

授業コード： 4P034

英文科目名称： Portuguese

対象カリキュラム： 2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
Hilda Harumi Handa			

授業形態	講義	担当者
授業計画	<p>第1回 Introduction / Apresentacao Explaining how the class will be given, and grades / Explicar como serao as aulas e as notas. Introduction / Apresentacao Explaining how the class will be given, and grades / Explicar como serao as aulas e as notas.</p> <p>第2回 Brazil and the other nine countries that speak Portuguese / Brasil e os outros nove paises que falam português. A brief lecture about Brazil and nine other countries whose official language is Portuguese</p> <p>第3回 Greetings and Pronouns Greetings / Cumprimentos/Apresentacao Possessive adjectives/pronouns / Pronomes possessivos Saying hello and goodbye / Encontrar-se/despedir-se</p> <p>第4回 Alphabet and pronunciation / Alfabeto e pronuncia Syllables / Formacao das silabas Introduction to Portuguese Alphabet</p> <p>第5回 Stress / Acentuacao Stress rules Oxitonas/paroxitonas/proparoxitonas Rules for stressing.</p> <p>第6回 Nouns / Substantivos Adjectives / Adjetivos We'll talk about kinds of nouns and adjectives.</p> <p>第7回 Articles / Artigos definidos/indefinidos Prepositions / Preposicoes Verbs / Verbos Adverbs / Adverbios Nouns / Substantivos Adjectives / Adjetivos Learning about articles, prepositions, verbs, and adverbs.</p> <p>第8回 Conjunctions / Conjuncoes Time / Horas Seasons/Weather / Estacoes/climas Class about conjunctions, and how to talk about time and the weather.</p> <p>第9回 Cardinal/ordinal numbers / Numeros Cardinais/ordinais Phone / Telefone Email All about numbers.</p> <p>第10回 Subject pronoun / Pronomes Pessoais Verb Be I / Verbos ser e estar I More pronouns and the verb Be, that means more than one verb in Portuguese.</p> <p>第11回 Verb Be II / Verbos Ser e estar II Continuing with the verb Be.</p> <p>第12回 Family / Familia Week/month/year / Semana/meses/ano Colors / Cores Light class about family, dates, and colors.</p> <p>第13回 Human Body / Corpo Humano Clothing / Roupas Special class about the human body.</p> <p>第14回 Food & Culture / Gastronomia e cultura Let's learn about Brazilian food, and maybe taste some of it.</p> <p>第15回 Exam Let's see how much you learned from the previous classes.</p>	
科目の目的	<p>ポルトガル語は主にブラジルで話される言語で、1万人以上のブラジル系住民が生活する群馬県内でも接する機会が多い言語です。群馬県内(特に東毛地区)において地域に関わる仕事(例えば、公務員や教員、医療関係など)を希望している学生にはポルトガル語の習得をお薦めします。</p> <p>また、ポルトガル語はブラジル以外の国々でも公用語とされているところがあり、国際的に活動したいという際にも役立てることができます。</p> <p>ポルトガル語は英語に近い構造のヨーロッパ言語で、英文法や語彙の知識が応用できる項目もあり、一方で英語の理解にも役立ちます。</p> <p>本授業の目標はポルトガル語の入門にとどまりますが、初級、中級へと学習を進めるためのきっかけとなると同時に、「英語以外のヨーロッパ言語」に関心を持っていただくこと、加えて可能な限り、ブラジルを中心としたポルトガル語圏の文化についても授業内で紹介し、ポルトガル語に関わる事柄の知見を広めることも目指します。【倫理観と幅広い教養】【基本的知識と技術】【地域リハビリテーションの理解・問題解決力】【自己研鑽・探求力】</p>	

到達目標	<p>本授業では欧州言語共通参照枠(CEFR)のA1レベルを習熟目標とし、ポルトガル語の基本中の基本となる以下の基礎文法と基礎的なコミュニケーション表現を習得することを目指します。</p> <p>(1)ポルトガル語を読める (2)名詞や形容詞の性数の考え方が理解できる (3)挨拶など基礎的な表現ができる (4)基礎的な語彙を使うことができる (5)動詞の活用ができる</p> <p>これらに加え、とりわけブラジル人との日常的なコミュニケーションに関わる文化の知識(食文化、交通など)を身につけることも目標とします。</p>
関連科目	特になし
成績評価方法・基準	50% from final exam, and 40% participation (not attendance) in class, 10% assignments.
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	No special knowledge is required for it's a class for beginners. However, students should prepare by reviewing the handouts from the previous class and reading the newspapers or magazines mentioned in class. Students are advised to study about 2-3 hours per week in preparation for each 90-minute lesson.
教科書・参考書	Teacher will provide handouts. Students will be encouraged to read some books, newspapers or magazines, that will be mentioned during class.
オフィス・アワー	Students can communicate through email that will be provided on the first class.
国家試験出題基準	特になし
履修条件・履修上の注意	<p>5回以上の欠席がある場合は期末試験を受けられません。 また、特別な事情がない場合の30分以上の遅刻は欠席と見なします。 就職活動や特別な事情による欠席は考慮いたします。</p> <p>大学生として相応な英語力と意欲、情熱があることが望ましいです。</p>

講義科目名称： 情報処理

授業コード： 4P035

英文科目名称： Information Processing

対象カリキュラム： 2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
西谷 泉			

授業形態	演習	担当者
授業計画	第1回 本講義の概要、1章&2章 本講義の概要とOfficeの基本について学ぶ テキスト（目次） 本書と連携サイトの活用法	西谷 泉
	第2回 3章 Word 文書作成 Wordを使った具体的な文書作成について学ぶ テキスト（第1章） コンピューターの仕組み	西谷 泉
	第3回 3章 Word 画像や図形を活用した文書作成 Wordを使って画像や図形を活用した文書作成について学ぶ	西谷 泉
	第4回 4章 Excel 表計算のデータ入力 Excelを使って表計算のデータ入力の基本について学ぶ	西谷 泉
	第5回 4章 Excel 関数を使った表計算 Excelを使って重要な関数を活用した表計算を具体例を通して学ぶ	西谷 泉
	第6回 4章 Excel グラフ作成 Excelを使って表の内容をグラフに表現することを学ぶ	西谷 泉
	第7回 4章 Excel 検索関数の利用 Excelを使って条件を満たすデータを検索することを学ぶI	西谷 泉
	第8回 4章 Excelの便利な機能 Excelの便利な機能を使った分かりやすい表作成を学ぶ	西谷 泉
	第9回 4章 Excel 実習問題 これまで学んだ内容についての実習問題に取り組む テキスト（第7章） レポート作成（Word） ▼レポート作成サンプルファイル	西谷 泉
	第10回 万年カレンダーの作成 Excelに関して学んだことを使って、万年カレンダーを作成する	西谷 泉
	第11回 5章 PowerPoint プレゼンテーションの基本について学ぶ PowerPointの使い方とスライド作成の基本について学ぶ テキスト（第9章） グラフ作成（Excel）	西谷 泉
	第12回 5章 PowerPoint アニメーションなどの活用 PowerPointのアニメーションを使った分かりやすいスライド作成について学ぶ テキスト（第9章） グラフ作成（Excel） ▼集計表、グラフ作成サンプルファイル	西谷 泉
	第13回 5章 PowerPoint スライドショーと資料作成 PowerPointのスライドショーとプレゼン資料について学ぶ テキスト（第10章） プレゼンテーション作成（PowerPoint）	西谷 泉
	第14回 6章 Office フォトレタッチ機能 Officeソフトを使った画像編集について学ぶ テキスト（第10章） プレゼンテーション作成（PowerPoint） ▼プレゼンテーション作成サンプルファイル	西谷 泉
	第15回 まとめ これまでの学習内容を総括する	西谷 泉
科目の目的	膨大な情報が溢れる現代社会に生きている私たちは、適切に情報を収集・処理し、それらを有効に活用する能力を身に付けることが求められている。情報を適切に処理するためにはコンピュータとソフトウェアを活用することが重要である。本授業では、情報処理において世界的に活用されているソフトウェアのMicrosoft Officeを使った情報処理、情報伝達などについて、豊富な具体例を通して実習的に学習する。それによって情報処理の能力に向上を目指す。 【倫理観と幅広い教養】 【基本的知識と技術】 【地域リハビリテーションの理解・問題解決力】 【自己研鑽・探求力】	
到達目標	パソコンのソフトウェアであるOffice内の、Word,Excel,PowerPointを有効に活用できるようになることと、それによって適切な情報の処理、分析、さらにそれらを他者に伝達する能力を身に付けることを目標とする。	
関連科目	情報リテラシー	
成績評価方法・基準	課題(40%)、小テスト(40%)、リアクションペーパー(20%) 合わせて100%	

準備学習の内容・ 準備学習に必要な 学習時間の目安	この授業では、テキストを利用して、授業（60分）、自己学習（20分）、ミニテスト（10分）を演習を通して実施します。関連する項目を事後学習（40分）で理解を深め、課題にも取り組むことを想定している。
教科書・参考書	教科書：「30時間でマスター Office2019」実教出版
オフィス・アワー	未定
国家試験出題基準	
履修条件・履修上の注意	MS-Office2019（MS-Word, MS-Excel, MS-PowerPoint）ウェブブラウザをインストールしたPC（Windows10対応）を持参してください。

講義科目名称： 情報リテラシー

授業コード： 4P036

英文科目名称： Information Literacy

対象カリキュラム： 2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
西谷 泉			

授業形態	講義と実習	担当者
授業計画	第1回 社会的問題や医療分野の諸課題等に関して、情報収集・整理・表現・伝達について学習する。テーマは毎回指示する。 課題等は返却はしない	西谷 泉
	第2回 社会的問題や医療分野の諸課題等に関して、情報収集・整理・表現・伝達について学習する。テーマは毎回指示する。 課題等は返却はしない	西谷 泉
	第3回 社会的問題や医療分野の諸課題等に関して、情報収集・整理・表現・伝達について学習する。テーマは毎回指示する。 課題等は返却はしない	西谷 泉
	第4回 社会的問題や医療分野の諸課題等に関して、情報収集・整理・表現・伝達について学習する。テーマは毎回指示する。 課題等は返却はしない	西谷 泉
	第5回 社会的問題や医療分野の諸課題等に関して、情報収集・整理・表現・伝達について学習する。テーマは毎回指示する。 課題等は返却はしない	西谷 泉
	第6回 社会的問題や医療分野の諸課題等に関して、情報収集・整理・表現・伝達について学習する。テーマは毎回指示する。 課題等は返却はしない	西谷 泉
	第7回 社会的問題や医療分野の諸課題等に関して、情報収集・整理・表現・伝達について学習する。テーマは毎回指示する。 課題等は返却はしない	西谷 泉
	第8回 社会的問題や医療分野の諸課題等に関して、情報収集・整理・表現・伝達について学習する。テーマは毎回指示する。 課題等は返却はしない	西谷 泉
	第9回 社会的問題や医療分野の諸課題等に関して、情報収集・整理・表現・伝達について学習する。テーマは毎回指示する。 課題等は返却はしない	西谷 泉
	第10回 社会的問題や医療分野の諸課題等に関して、情報収集・整理・表現・伝達について学習する。テーマは毎回指示する。 課題等は返却はしない	西谷 泉
	第11回 社会的問題や医療分野の諸課題等に関して、情報収集・整理・表現・伝達について学習する。テーマは毎回指示する。 課題等は返却はしない	西谷 泉
	第12回 社会的問題や医療分野の諸課題等に関して、情報収集・整理・表現・伝達について学習する。テーマは毎回指示する。 課題等は返却はしない	西谷 泉
	第13回 社会的問題や医療分野の諸課題等に関して、情報収集・整理・表現・伝達について学習する。テーマは毎回指示する。 課題等は返却はしない	西谷 泉
	第14回 社会的問題や医療分野の諸課題等に関して、情報収集・整理・表現・伝達について学習する。テーマは毎回指示する。 課題等は返却はしない	西谷 泉
	第15回 社会的問題や医療分野の諸課題等に関して、情報収集・整理・表現・伝達について学習する。テーマは毎回指示する。 課題等は返却はしない	西谷 泉
科目の目的	高度情報化社会である現在社会において、様々な情報が溢れている。そのような情報を収集・整理・分析し、それを適切に表現・伝達する能力の重要性が増している。本授業では、受講生の主体的な取り組みを重視し、Active Learningを生かした活動を通して、そのような能力の育成を目指す	

	す。合わせて、情報社会における守るべき情報倫理やルール、セキュリティなどについても学習する。これらの学習活動は、様々な課題に取り組む将来医療従事者として活動する上で、役立つものであると考える。【倫理観と幅広い教養】【基本的知識と技術】【地域リハビリテーションの理解・問題解決力】【自己研鑽・探求力】
到達目標	適切な情報収集と表現・伝達を通して、情報活用能力の重要性を理解する。 個別目標： 1. さまざまな情報メディアを通して情報を活用・伝達する能力を身につける。 2. マルチメディアによる情報表現・伝達の手法を理解し、基本的ルールやモラルを身に付ける。 3. 情報表現における倫理やルールを理解し、情報セキュリティを実践できる。
関連科目	情報処理
成績評価方法・基準	演習課題（授業毎のプレゼンテーションと課題提出70%、リアクションペーパー30%）100%
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	この授業では、インターネットを使って、様々な社会的課題について情報収集し、それを整理・分析し、さらに表現・伝達する過程を演習の形で学習する。授業の学習効果を高めるためには、常々現代社会や医療分野における様々な状況や課題等について、関心をもつことが大切である。関連する項目を1時間程度の事前学習で理解し、併せて関連サイトを自己学習することが望まれます。
教科書・参考書	テキストは使用しません。
オフィス・アワー	未定
国家試験出題基準	
履修条件・履修上の注意	MS-Office (MS-Word, MS-Excel, MS-PowerPoint) ウェブブラウザをインストールしたPC (WindowsPC、Mac等) を持参してください。

講義科目名称： データサイエンス入門

授業コード： 4P037

英文科目名称： Introduction to Date Science

対象カリキュラム： 2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
星野 修平			

授業形態	講義と演習	担当者
授業計画	<p>第1回 本講義の概要と授業準備 本講義の概要と授業準備として、パソコンの利用方法、具体的な活用について学ぶ</p> <p>第2回 データサイエンスのすすめ さまざまなデータ/統計的方法と変数/コンピュータと計算ソフトウェア</p> <p>第3回 データを集める データの作り方/データの集め方/データの変換のしかた</p> <p>第4回 データを整理する 標本とパラメータ/データと尺度/データの分布</p> <p>第5回 集計を行うためには データを入力する/単純集計</p> <p>第6回 クロス集計表の作り方 クロス集計表の作成方法/ピボットテーブルの使い方</p> <p>第7回 統計グラフの作り方 統計グラフの種類と特徴/統計グラフの作成</p> <p>第8回 データをまとめる 大きさの代表値/散布図の代表値</p> <p>第9回 推計と判断 測定値と誤差/代表値の推定/検定の手順</p> <p>第10回 平均値を調べる 2群の平均値の検定/対応のある平均値の検定/3群以上の平均値の検定</p> <p>第11回 質的データの分析 関連の強さを測る/関連があるか内科を判断する</p> <p>第12回 量的データの分析 創刊の強さを測る/データから予測する</p> <p>第13回 公的統計の見方・使い方 出生に関する公的統計/死亡に関する公的統計</p> <p>第14回 実際のデータサイエンスで起こる問題 標本の大きさを決める/外れ値を見つける/欠損したデータを補正する</p> <p>第15回 データサイエンスのまとめ この科目を通して、学んだこと習得した知識、技術を確認する。</p>	<p>星野修平</p>
科目の目的	現代社会においては、ICTの進歩に伴い、大容量データの収集、蓄積と解析によって、様々な情報・知識を得ることが可能となった。ビッグデータやAI、機械学習などを経て、様々な問題解決を行うデータサイエンスの基礎を学び、そのために必要なコンピュータの利用、統計学の知識、データ処理の手法を理解する。【倫理観と幅広い教養】【基本的知識と技術】【地域リハビリテーションの理解・問題解決力】【自己研鑽・探求力】	
到達目標	データサイエンスに関する基礎的概念について理解し、コンピュータによってデータ解析が実践できる。 個別目標： ・データサイエンスについて基礎的概念を説明できる。 ・データサイエンスに必要なコンピュータの基本的操作が行える。	
関連科目	情報処理・情報リテラシー・統計学・医療統計学	
成績評価方法・基準	授業中に実施するミニテスト（50%）と演習課題（50%）	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	事前学習（90分）で理解し、授業を通して学んだことの事後学習（45分）	
教科書・参考書	教科書：データサイエンス入門 上藤一郎・西川浩昭・他 共著、オーム社 参考書：教科書：データサイエンスの考え方 小澤 誠一・斎藤 政彦 共著、オーム社	
オフィス・アワー	授業の前後、昼休み、4号館7階研究室 事前にE-mail にて予約(s-hoshino@paz.ac.jp)	
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意	MS-ExcelをインストールしたPC（WindowsPC、Mac等）を持参してください。	

講義科目名称： 大学の学び入門

授業コード： 4P038

英文科目名称： Introduction to College Learning

対象カリキュラム： 2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
杉田 雅子	星野修平	榎本光邦	峯村優一

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回 科目の説明、大学生の学習・生活、アカデミック・スキルとスチューデント・スキル 科目の目的・目標・進め方の説明、 高校生までの学習・生活と大学生の学習・生活の違い、アカデミック・スキル、スチューデント・スキルとは	杉田雅子
	第2回 調べる 情報を探す、情報の宝庫図書館の使い方	杉田雅子
	第3回 インターネットリテラシー1 インターネット利用のルールとマナー (1)	星野修平
	第4回 インターネットリテラシー2 インターネット利用のルールとマナー (2)	星野修平
	第5回 聞く・ノートを取る・読む1 講義の聞き方、ノートの取り方、本や資料の読み方(1)	杉田雅子
	第6回 読む2・考える 本や資料の読み方(2)、考える力をつけるには	杉田雅子
	第7回 書く：レポートの書き方1 レポートとは何か、レポート作成の手順、よいレポートとは	峯村優一
	第8回 書く：レポートの書き方2 論文作法	峯村優一
	第9回 書く：レポートの書き方3 講義レポートの形式	峯村優一
	第10回 自分自身の課題を見つける 入学以来の自身の学習と生活を検証し、学習、生活両面の自己課題を見出す	杉田雅子
	第11回 相手の話を聴く ロールプレイを通して基本的なカウンセリングの技法を体験する	榎本光邦
	第12回 自分の気持ちや考えを伝える グループワークを通し、自分の感情や意思をわかり易く伝える練習をする	榎本光邦
	第13回 協力して作業する これまでのワークを通して身につけたスキルを活用し、周囲と協力して課題を達成する	榎本光邦
	第14回 アカデミック・スキルの実践 (1) 聞く・考えることの実践 ゲストスピーカー：樋口建介理事長	杉田雅子
	第15回 アカデミック・スキルの実践 (2) 聞く・考えることの実践 ゲストスピーカー：栗田昌裕学長、國元文生群馬パース病院長	杉田雅子
科目の目的	大学での学習形態や学問に対する姿勢、大人としての生活態度を認識、理解し、高校生までの学習・生活から大学生の学習・生活に移行することができるように、基本的なスキル、姿勢を学ぶ。 1. 与えられた知識や技術を身に付けていく高校までの学習から、自ら課題を見つけ、それを解決していく大学の学習のためのスキルの習得、姿勢の理解。 2. 高校までの大人に守られた生活から、責任ある大人としての生活のためのスキルと姿勢の理解。 【倫理観と幅広い教養】 【基本的知識と技術】 【地域リハビリテーションの理解・問題解決力】 【自己研鑽・探求力】	
到達目標	1. 大学での学習に必要な学習習慣・学習技術（アカデミック・スキル、情報処理に関するスキル、ルール、マナー）を理解し、授業やレポートで実践できる。 2. 責任ある大人としての生活に必要な、基本的な生活習慣を身につけ、大学生活で実践できる。（スチューデント・スキル、コミュニケーションスキル）	
関連科目	全科目	
成績評価方法・基準	杉田担当課題（10%、課題に対するフィードバックは次回の授業で行う）、星野担当課題（20%、課題に対するフィードバックはAAにて掲示を行う）、榎本担当意見文・感想文（30%、意見文・感想文の内容に対するフィードバックは次回の講義の冒頭に行う）峯村担当分課題（40%、課題はコメントと共に後日返却する）	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	前回授業の重要事項を見直しておくこと。約45分間。	
教科書・参考書	なし。プリントを使用。	

オフィス・アワー	杉田：授業の前後、昼休み、4号館8階26研究室 星野：授業の前後、昼休み、4号館7階研究室 榎本：月、水、木、金の昼休み、1号館3階305研究室または5号館1階学生相談室 峯村：授業の前後、昼休み、4号館8階研究室
国家試験出題基準	
履修条件・履修上の注意	講義資料はActive Academy上で配布しますので、各自プリントアウトして授業に持ってきてください。配布期間は授業の前後1週間。

講義科目名称： 大学の学び－専門への誘い－

授業コード： 4P039

英文科目名称： Introduction to Healthcare Profession

対象カリキュラム： 2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
佐藤 満	木村朗	岡崎大資	理学療法士教員全員

授業形態	講義4コマ・演習11コマ		担当者
授業計画	第1回	保健科学総論【講義】 保健科学の概要と成り立ちを学ぶ 学ぶ 1. 病と人間 2. 保健科学の基礎としてのヘルスリテラシーのあらまし	木村 朗
	第2回	保健科学総論【講義】 保健科学を其他的な事例に即して理解する 1. ヘルスリテラシーの活用 2. 文化とヘルスリテラシー	木村 朗
	第3回	グループワークへの導入～専門を学ぶということ【講義】 専門を学ぶことの実践的な意義を知った上で、グループワークの方法論を理解	佐藤・岡崎
	第4回	グループワーク：理学療法を学ぶ学生が、今すべきことの検討1【演習】 理学療法士としての能力を習得するために今すべき（できる）ことの模索1	佐藤・岡崎
	第5回	グループワーク：理学療法を学ぶ学生が、今すべきことの検討2【演習】 理学療法士として具体化した能力を習得するために今すべき（できる）ことの模索2	佐藤・岡崎
	第6回	グループワーク：理学療法を学ぶ学生が、今すべきことの検討3【演習】 理学療法士として能力を習得するために今すべき（できる）ことの視覚的具体化1	佐藤・岡崎
	第7回	グループワーク：理学療法を学ぶ学生が、今すべきことの検討4【演習】 理学療法士として能力を習得するために今すべき（できる）ことの視覚的具体化2	佐藤・岡崎
	第8回	グループワーク：理学療法を学ぶ学生が、今すべきことの共有【演習】 グループワークの結果のプレゼンテーション	佐藤・岡崎
	第9回	理学療法士像の探求1：理学療法士の学科教員から話題提供と集団討論【演習】 理学療法士の経験談からのメッセージを受けて論議する	佐藤・岡崎・黒川・城下
	第10回	理学療法士像の探求2：理学療法士の学科教員から話題提供と集団討論【演習】 理学療法士の経験談からのメッセージを受けて論議する	佐藤・岡崎・目黒・橋口
	第11回	理学療法士像の探求3：理学療法士の学科教員から話題提供と集団討論【演習】 理学療法士の経験談からのメッセージを受けて論議する	佐藤・岡崎・浅田・田辺
	第12回	理学療法士像の探求4：理学療法士の学科教員から話題提供と集団討論【演習】 理学療法士の経験談からのメッセージを受けて論議する	佐藤・岡崎・鈴木・加茂
	第13回	理学療法士像の探求5：理学療法士の学科教員から話題提供と集団討論【演習】 理学療法士の経験談からのメッセージを受けて論議する	佐藤・岡崎・木村・林
	第14回	理学療法士像の探求6：理学療法士の学科教員から話題提供と集団討論【演習】 理学療法士の経験談からのメッセージを受けて論議する	佐藤・岡崎・高橋
	第15回	理学療法士像の探求のまとめ【講義】 集団討議で提案された内容を整理して理解する	佐藤・岡崎
科目の目的	グループワーク学習と集団ディスカッションを通じて、保健学の観点を持った上で、自らの理学療法士像を育み、明確専門基礎分野、専門分野の学習の学ぶ意義とを明確にすること。 【倫理観と幅広い教養】【基本的知識と技術】【地域リハビリテーションの理解・問題解決力】 【自己研鑽・探求力】		
到達目標	1. 保健学の概要の理解の上に理学療法の職務内容と職域が説明できる。 2. 理学療法士を目指す学生として必要な社会的な礼節およびコミュニケーションをもって行動できる。 3. 自らの理学療法士像を説明することができる。 4. 理学療法を学ぶことに興味を持ち、主体的・意欲的に学ぶ姿勢を示すことができる。		
関連科目	全ての専門基礎科目、理学療法概論		
成績評価方法・基準	提出課題（40%）、発言や司会および記録などグループ討議への参加状況（30%）、発表点（30%）		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	1-2講義は公衆衛生学を復習しておくこと（毎回45分程度） その他の回は講義と演習なので、毎回の復習や振り返り作業を行うこと（毎回30～45分程度） グループディスカッション時を中心にフィードバックを行う		

教科書・参考書	木村朗担当分 身体活動学入門 三共出版 必要に応じて資料を配布する。
オフィス・アワー	毎週月曜日12:00～13:00 (担当教員全員)
国家試験出題基準	国家試験出題基準には該当しない
履修条件・履修上の注意	他人の意見をよく聞き、自ら発信するトレーニングとしても位置づけている授業ですので、積極的に受講してください。

講義科目名称： 多職種理解と連携

授業コード： 4P040

英文科目名称： Multidisciplinary Understanding and Cooperation

対象カリキュラム： 2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
佐藤 満	佐藤 満・村田和香・白坂康俊	矢島正栄・廣田幸子・中島久美子	長田 誠・近土真由美・星野修平
	金谷 春代・宗宮 真	藤井裕哉・石井純子・平井 正利	

授業形態	講義	担当者	
授業計画	第1回	理学療法領域における最近のトピックス	佐藤 満
	第2回	看護師の役割および看護領域における最近のトピックス	矢島正栄
	第3回	臨床工学技士の役割および臨床工学領域における最近のトピックス	近土真由美
	第4回	診療放射線技士の役割および診療放射線領域における最近のトピックス	星野修平
	第5回	臨床検査技士の役割および臨床検査領域における最近のトピックス	長田 誠
	第6回	言語聴覚領域における最近のトピックス	白坂康俊
	第7回	作業療法領域における最近のトピックス	村田和香
	第8回	保健師の役割および地域保健における最近のトピックス	廣田幸子
	第9回	助産師の役割および妊娠出産に関わる最近のトピックス	中島久美子
	第10回	リハ医の役割およびリハビリテーション医学領域の最近のトピックス	宗宮 真
	第11回	社会福祉士の役割および最近のトピックス	金谷春代
	第12回	精神保健福祉士の役割および最近のトピックス	藤井裕哉
	第13回	ケア・マネージャーの役割および最近のトピックス	石井純子
	第14回	義肢装具士の役割および最近のトピックス	平井正利
	第15回	期待されている活動	佐藤 満
科目の目的	<p>リハビリテーションは多数の職種が参加するチームで展開される。より良いチームアプローチのためには、コミュニケーションと目標の共有が大切である。専門職間のコミュニケーションを高め、互いの専門性に対する理解を深め、どのように連携し、チームを推進するのか、他の専門職の役割や最近のトピックスなどを学ぶ。</p> <p>【倫理観と幅広い教養】 【基本的知識と技術】 【地域リハビリテーションの理解・問題解決力】 【自己研鑽・探求力】</p>		
到達目標	<p>1. 各専門職種の業務内容の実際と期待される活動内容を述べることができる。</p> <p>2. 地域における多職種連携について、職種、連携の方法を述べるができる。</p>		
関連科目	大学の学びー専門への誘いー、リハビリテーション概論、チーム医療とリハビリテーション、社会福祉・地域サービス論、理学療法概論、理学療法管理学		
成績評価方法・基準	<p>授業終了時レポート（80%）：レポートはActiveAcademy及び口頭でフィードバックする予定である。</p> <p>グループディスカッションおよび授業中の発言（20%）：ループリック評価で行う。</p>		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	<p>授業前学習として、各専門職団体および本学HPを確認しておくこと。</p> <p>わかりにくい概念などをチェックし、復習時に確認すること。</p> <p>目安となる時間は約30分程度</p>		
教科書・参考書	特に指定しないが、授業資料が提供される可能性がある。		
オフィス・アワー	全ての先生：講義終了後		
国家試験出題基準			
履修条件・履修上の注意			

講義科目名称： 運動器解剖学

授業コード： 4P041

英文科目名称： Anatomy of Musculoskeletal System

対象カリキュラム： 2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	2単位	必修
担当教員	担当者		
後藤 遼佑			

授業形態	講義、演習	担当者
授業計画	<p>第1回 解剖学の総論 解剖学的位置付け；人体の階層；基準面；身体部位の名称；向きと位置を表す言葉</p> <p>第2回 運動器系の総論 骨と筋の一般的構造；骨の発生；身体運動の名称</p> <p>第3回 体幹骨と関節1 椎骨の基本構造；頸椎、胸椎、仙椎、尾椎の構造；椎骨の連結様式と靭帯；脊柱と胸郭の構造</p> <p>第4回 体幹骨と関節2 体幹骨のスケッチ</p> <p>第5回 体幹筋1 胸壁、腹壁、骨盤底を構成する筋の名称、起始、停止；固有背筋の名称、起始、停止</p> <p>第6回 体幹筋2 胸壁、腹壁、骨盤底を構成する筋の名称、起始、停止；固有背筋の名称、起始、停止</p> <p>第7回 上肢骨と関節1 上肢骨の名称と各部の構造；上肢骨の連結と靭帯</p> <p>第8回 上肢骨と関節2 上肢骨のスケッチ</p> <p>第9回 上肢筋1 上肢筋の名称、起始、停止</p> <p>第10回 上肢筋2 上肢筋の名称、起始、停止</p> <p>第11回 下肢骨と関節1 下肢骨の名称と各部の構造；下肢骨の連結と靭帯</p> <p>第12回 下肢骨と関節2 下肢骨のスケッチ</p> <p>第13回 下肢筋1 下肢筋の名称、起始、停止</p> <p>第14回 下肢筋2 下肢筋の名称、起始、停止</p> <p>第15回 運動器解剖学の総括 運動器解剖学で学習した内容を総括する。</p>	<p>後藤 遼佑</p>
科目の目的	<p>ヒトの筋骨格系における肉眼解剖学的構造を理解する。 【倫理観と幅広い教養】【基本的知識と技術】【地域リハビリテーションの理解・問題解決力】 【自己研鑽・探求力】</p>	
到達目標	<p>(1) ヒトの筋骨格系の基本的な構造を説明できる。 (2) 筋骨格系の構造にもとづき、各関節で生じる運動を推論できる。</p>	
関連科目	臓器解剖学；生理学Ⅰ；生理学Ⅱ	
成績評価方法・基準	定期試験60%；小テスト30%；提出課題10%	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	教科書に指定した「標準理学療法学・作業療法学 専門基礎分野 解剖学」の該当箇所を精読すること。授業後には、配布したプリントに取り組むこと。授業の予習として1時間、授業後の復習として1時間程度の学習を勧める。	
教科書・参考書	教科書：「標準理学療法学・作業療法学 専門基礎分野 解剖学」野村嗟ほか（医学書院） 教科書：「ネッター解剖学アトラス」相磯貞和訳（南江堂）	
オフィス・アワー	講義終了後に質問を受け付ける。個別の相談は事前の連絡によって随時対応する。	
国家試験出題基準	<p>《専門基礎》- I-1-A-a~b 《専門基礎》- I-1-B-a~d 《専門基礎》- I-1-C-a~b 《専門基礎》- I-1-D-a~b 《専門基礎》- I-1-H-a~e 《専門基礎》- I-1-I-a~b</p>	

履修条件・履修上の注意	
-------------	--

講義科目名称：臓器解剖学

授業コード：4P042

英文科目名称：Anatomy of Internal Organs

対象カリキュラム：2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1学年	2単位	必修
担当教員	担当者		
後藤 遼佑			

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回 神経系総論 神経系の全体像（中枢神経系と末梢神経系）；神経系の発生；求心性神経と遠心性神経、体性神経系と臓性神経系	後藤遼佑
	第2回 中枢神経系1 脳幹の構造；脳神経核と脳神経	後藤遼佑
	第3回 中枢神経系2 大脳と小脳の構造；皮質の構造；大脳と小脳の神経核	後藤遼佑
	第4回 末梢神経系1 求心性神経と遠心性神経の分節性；脊髄神経の基本的な走行；肋間神経の起始、走行、分布	後藤遼佑
	第5回 末梢神経系2 頸神経叢と腕神経叢；上肢の末梢神経の起始、走行、分布	後藤遼佑
	第6回 末梢神経系3 腰神経叢と仙骨神経叢；下肢の末梢神経の起始、走行、分布	後藤遼佑
	第7回 循環器系1 血管の構造；大循環と小循環；心臓と縦隔の構造；冠状血管系	後藤遼佑
	第8回 循環器系2 上下肢と体幹の動脈、静脈、リンパ	後藤遼佑
	第9回 循環器系3 頭部の動脈と静脈；脳室と脳脊髄液の循環	後藤遼佑
	第10回 消化器系1 消化管の基本構造；自律神経系；消化管の局所解剖	後藤遼佑
	第11回 消化器系2 肝臓、胆嚢、膵臓の構造；消化管と血管系；門脈	後藤遼佑
	第12回 呼吸器系 喉頭、気管、気管支、肺の構造；呼吸にかかわる反射とその中枢	後藤遼佑
	第13回 泌尿器系 腎臓、膀胱の構造；浸透圧調節機構	後藤遼佑
	第14回 生殖器系 生殖器の構造；性ホルモンの働き	後藤遼佑
	第15回 総復習 これまで学習した内容を総括する。	後藤遼佑

科目の目的	ヒトの内臓における肉眼解剖学的構造を理解する。 【倫理観と幅広い教養】 【基本的知識と技術】 【地域リハビリテーションの理解・問題解決力】 【自己研鑽・探求力】
-------	--

到達目標	(1) 内臓の基本的な構造について説明できる。 (2) 神経系の構造にもとづき、器質的障害にもなう機能障害を推察できる。
------	---

関連科目	運動器解剖学 生理学Ⅰ 生理学Ⅱ
------	------------------

成績評価方法・基準	定期試験60% 小テスト40%
-----------	-----------------

準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	教科書に指定した「標準理学療法学・作業療法学 専門基礎分野 解剖学」の該当箇所を精読すること。授業前の予習に一時間、授業後の復習に一時間程度をかけること。授業後の復習として配布したプリントに取り組むこと。
-------------------------	--

教科書・参考書	教科書1：「標準理学療法学・作業療法学 専門基礎分野 解剖学」野村嗟ほか（医学書院） 教科書2：「ネッター解剖学アトラス」相磯貞和訳（南江堂）
---------	--

オフィス・アワー	講義終了後に質問を受け付ける。個別の相談は事前の連絡によって随時対応する。
----------	---------------------------------------

国家試験出題基準	《専門基礎》- I - 1 -E-a, b, c, d F-a, b, c, d G-a I-c 2-K-f, g L-a, b, c M-a N-a, b, c O-a, b P-a, b Q
----------	---

履修条件・履修上の注意	
-------------	--

講義科目名称： 局所解剖学（言語・聴覚・発声・嚥下）

授業コード： 4P043

英文科目名称： Specific Anatomy

対象カリキュラム： 2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
浅見知市郎			

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回 感覚器 聴覚器（外耳・中耳・内耳）について	浅見知市郎
	第2回 神経系1 言語・聴覚を中心とする中枢神経系について	浅見知市郎
	第3回 神経系2 言語・聴覚に関する脳神経を中心とする末梢神経について	浅見知市郎
	第4回 骨格系 頭蓋を構成する骨について	浅見知市郎
	第5回 筋系 発語、咀嚼、嚥下に関係する筋について	浅見知市郎
	第6回 消化器系 口腔を中心とする諸器官について	浅見知市郎
	第7回 呼吸器系 鼻腔・咽頭・喉頭を中心とする諸器官について	浅見知市郎
	第8回 発生学 頭頸部の形成を中心とする発生学について	浅見知市郎
科目の目的	リハビリテーション専門職に重要と考えられる言語・聴覚・発声・嚥下に関わる解剖学を習得する。【倫理観と幅広い教養】【基本的知識と技術】【地域リハビリテーションの理解・問題解決能力】【自己研鑽・探求力】	
到達目標	言語・聴覚・発声・嚥下に関わる器官を解剖学的に説明できる。	
関連科目	運動器解剖学、臓器解剖学、解剖学実習、生理学Ⅰ、生理学Ⅱ、生理学実習	
成績評価方法・基準	試験100%	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	Active Academyで事前配布するレジュメを理解に努めながら通読すると、概ね1時間かかるはずである。	
教科書・参考書	教科書：「ネッター 頭頸部・口腔顎顔面の臨床解剖アトラス」前田健康監訳 医歯薬出版 参考書：特に無し	
オフィス・アワー	講義終了後の休み時間に教室で質問を受け付ける。個別の相談は事前の連絡によって随時対応する (asami@paz.ac.jp)。	
国家試験出題基準	《専門基礎》- I - 1 - G-a	
履修条件・履修上の注意	Active Academyによるレジュメの配付期間：講義の1週間前から学期末まで。 ダウンロードしたPCを持参してもよいが、授業中のPC操作は好ましくないため、できるだけプリントアウトしたものを持参してください。	

講義科目名称： 解剖学演習

授業コード： 4P044

英文科目名称： Practice in Anatomy

対象カリキュラム： 2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
後藤 遼佑			

授業形態	講義、実習	担当者
授業計画	<p>第1回 運動器・臓器解剖学の復習1 消化器系の構造を復習する。</p> <p>第2回 運動器・臓器解剖学の復習2 呼吸器系と泌尿器系の構造を復習する。</p> <p>第3回 骨実習1：体幹骨のスケッチ ヒトの骨模型を用いて、体幹骨（頸椎、胸椎、腰椎）をスケッチする。</p> <p>第4回 骨実習2：上肢骨のスケッチ ヒトの骨模型を用いて、上肢骨（鎖骨、肩甲骨、上腕骨、尺骨、橈骨、手根骨、中手骨、指節骨）をスケッチする。</p> <p>第5回 骨実習3：下肢骨のスケッチ ヒトの骨模型を用いて、下肢骨（寛骨、大腿骨、膝蓋骨、脛骨、腓骨、足根骨、中足骨、指節骨）をスケッチする。</p> <p>第6回 骨実習4：骨構造の総復習 骨格系の構造について復習する。</p> <p>第7回 ブタ胎児標本解剖1：剥皮と皮筋の観察 ブタ胎児標本を剥皮し、体幹皮筋と頸皮筋を観察する。鎖骨乳突筋、鎖骨後頭筋を剖出した後、頸神経叢の皮枝を同定する。</p> <p>第8回 ブタ胎児標本解剖2：前肢帯筋の観察 前肢帯に停止する筋（僧帽筋、菱形筋、前鋸筋、広背筋）の起始部と停止部を観察する。</p> <p>第9回 ブタ胎児標本解剖3：腕神経叢の背側からの観察 背側から腕神経叢を観察できるよう、肩甲骨を内側縁付近で切断し、腕神経叢の枝を背側から観察する。</p> <p>第10回 ブタ胎児標本解剖4：腕神経叢の腹側からの観察 胸部腹側から腕神経叢を観察できるよう、胸部腹側の筋を解剖する。胸部腹側の筋を体幹から離断した後に腕神経叢の枝を腹側から観察する。</p> <p>第11回 人体解剖実習見学1 解剖実習を見学する。</p> <p>第12回 人体解剖実習見学2 解剖実習を見学する。</p> <p>第13回 ブタ胎児標本解剖5：腕神経叢の記録 ブタ胎児の腕神経叢の枝と筋の関係を観察し、神経叢を腹側と背側からスケッチする。</p> <p>第14回 ブタ胎児標本解剖6：腕神経叢の記録 ブタ胎児の腕神経叢の枝と筋の関係を観察し、神経叢を腹側と背側からスケッチする。</p> <p>第15回 ブタ胎児標本解剖7：腕神経叢の記録 ブタ胎児の腕神経叢の枝と筋の関係を観察し、神経叢を腹側と背側からスケッチする。</p>	<p>後藤 遼佑</p>
科目の目的	ヒトの骨模型のスケッチ、ブタ胎児標本の肉眼解剖を通して、講義で習得した知識を統合し、人体構造を三次元的に正確に理解する。 【倫理観と幅広い教養】【基本的知識と技術】【地域リハビリテーションの理解・問題解決力】 【自己研鑽・探求力】	
到達目標	(1) 四肢体幹骨の構造と各部の名称を説明できる。 (2) 腕神経叢の構造を説明できる。	
関連科目	運動器解剖学、臓器解剖学	
成績評価方法・基準	提出課題60%、定期試験40%	
準備学習の内容・準備学習に必要な	「標準理学療法学・作業療法学 専門基礎分野 解剖学」の該当箇所を精読すること。一時間程度をかけて、授業前の予習と授業後の復習をすること。	

学習時間の目安	
教科書・参考書	教科書1:「標準理学療法学・作業療法学 専門基礎分野 解剖学」野村嗟ほか(医学書院) 教科書2:「ネッター解剖学アトラス」相磯貞和訳(南江堂)
オフィス・アワー	講義終了後に質問を受け付ける。個別の相談は事前の連絡によって随時対応する。
国家試験出題基準	《専門基礎》-I-1-E-a, b, c, d F-a, b, c, d G-a I-c 2-K-f, g L-a, b, c M-a N-a, b, c O-a, b P-a, b Q
履修条件・履修上の注意	

講義科目名称： 表面解剖学と触診法

授業コード： 4P045

英文科目名称： Surface Anatomy and Palpation

対象カリキュラム： 2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
浅田 春美	黒川 望		

授業形態	小人数グループによる実技演習<演習15回>		担当者
授業計画	<p>第1回 演習：触診の準備<解剖学の知識を復習> 骨標本（全身）を用いての演習<骨、骨部位の名称と特徴の確認.> 「骨・骨部位（主に筋の付着部・骨指標となる部位）の名称を指し示して言うことができる」 「頭蓋骨から足部まで左右を区別して骨を並べることができる」</p> <p>第2回 演習：触診講義の学習の仕方/触診手技の練習 体表面から触診する場合の骨、関節、筋、靭帯の触れ方（ポイント）の練習</p> <p>第3回 演習：頭頸部・上肢<肩甲帯・肩・上腕> 主に骨・関節の触診</p> <p>第4回 演習：上肢<肩甲帯・肩・上腕>・体幹 主に軟部組織（筋・靭帯・動脈の拍動）の触診</p> <p>第5回 演習：上肢<前腕・肘・上腕> 主に骨・関節・軟部組織の触診</p> <p>第6回 演習：上肢<前腕・手関節・手> 主に骨・関節・軟部組織の触診</p> <p>第7回 演習：上肢<前腕・手関節・手> 主に骨・関節・軟部組織の触診</p> <p>第8回 演習：上肢実技の確認 前半のまとめ 前半（上肢部分）の骨・関節・筋について触診の実技確認<グループ> → 次回講義にてF B 中間筆記テスト（前半範囲）→2週間以内にF B（全体）</p> <p>第9回 演習：下肢<骨盤・股関節> 主に骨・関節・軟部組織の触診</p> <p>第10回 演習：下肢<骨盤・股関節> 主に骨・関節・軟部組織の触診</p> <p>第11回 演習：下肢<膝関節・下腿> 主に骨・関節・軟部組織の触診</p> <p>第12回 演習：下肢<膝関節・下腿> 主に骨・関節・軟部組織の触診</p> <p>第13回 演習：下肢<下腿・足関節・足部> 主に骨・関節・軟部組織の触診</p> <p>第14回 演習：下肢<下腿・足関節・足部> 主に骨・関節・軟部組織の触診</p> <p>第15回 実技試験（全範囲） 全範囲（上肢・下肢）の骨・関節・靭帯・動脈の拍動について触診の実技確認 実技確認終了後、個別でフィードバックを実施。60%未満の場合、補習を行った後、再度、実技確認を行う。</p>	<p>浅田春美, 黒川望</p> <p>黒川望, 浅田春美</p> <p>黒川望, 浅田春美</p> <p>黒川望, 浅田春美</p> <p>黒川望, 浅田春美</p> <p>黒川望, 浅田春美</p> <p>黒川望, 浅田春美</p> <p>黒川望, 浅田春美, 黒川望</p> <p>浅田春美, 黒川望</p>	
科目の目的	<p>1. 解剖学の知識を基に手指を用いて、皮下にある組織の形・大きさ・硬さ・位置・固有の運動性などを識別する技術を習得する。</p> <p>2. 運動学，理学療法診断学と並行して授業が進むため，運動器の構造と機能の関連をより深く理解し，検査・測定技術の基礎固めを目的とする。 【倫理観と幅広い教養】【基本的知識と技術】【地域リハビリテーションの理解・問題解決力】 【自己研鑽・探求力】</p>		
到達目標	<p>1. 骨の輪郭や部位，関節裂隙，靭帯，筋，腱，動脈を触知により区別できる（対学生）。</p> <p>2. 体表から触れることができるそれらの部位を解剖学アトラスで参照できる。</p> <p>3. これらの名称（筋については，起始・停止・作用）を述べることができる。</p> <p>4. 実技では，最も触知しやすい肢位や運動を相手に分かりやすい言葉で指示できる。</p>		
関連科目	運動器解剖学，運動学，臨床運動学，運動学実習，整形外科学，理学療法診断学，理学療法診断学演習など専門科目全般		
成績評価方法・基準	筆記定期試験（50%）・実技授業内試験（50%） それぞれ60%以上の正解率		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	<ul style="list-style-type: none"> 解剖学で学んだ骨や筋の名称を復習しておくこと 筋の「起始・停止・作用」は、教科書「運動療法のための機能解剖学的触診技術」において予習・復習しておく 配布資料の実施予定日の内容を確認し、該当する教科書のページを予習・復習とも読んでおく 講義終了後、学生同士で実技練習を行い、不明な点を積極的に教員に質問する（直後または次回講義開始時） 		

	<予習・復習：各1時間程度要する>
教科書・参考書	<p>【教科書】1. 林 典雄著：「運動療法のための機能解剖学的触診技術 上肢」，メディカルビュー，2017</p> <p>2. 林 典雄著：「運動療法のための機能解剖学的触診技術 下肢」，メディカルビュー，2017</p> <p>3. 相磯貞和 訳：「ネッター解剖学アトラス」第6版，南江堂，2016</p> <p>【参考書】1. Stanley Hoppenfeld著・野島元雄監訳：図解 四肢と脊椎の診かた，医歯薬出版，1984</p> <p>2. 藤原理著：筋と骨格の触診術の基本，マイナビ，2013</p> <p>3. 竹井仁著：触診機能解剖カラーアトラス上下，文光堂，2008.</p>
オフィス・アワー	浅田，黒川 水曜日： 12：10～13：00，17：50～18：30
国家試験出題基準	《専門基礎》－I－1－B－d、C－b、D－a、H－a、b
履修条件・履修上の注意	<p>実技演習を行うため、準備をしていない場合、履修できないことがある</p> <p><指輪、時計など不必要なものを外し、手や手指のケアを心がける（爪・傷など）></p> <p><直接、皮膚に触れるため可能な限り脱衣しやすく、動きやすい服装を準備する。Tシャツ，ハーフパンツ></p>

講義科目名称： 生理学 I

授業コード： 4P046

英文科目名称： Physiology I

対象カリキュラム： 2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	2単位	必修
担当教員	担当者		
洞口 貴弘			

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回 ガイダンス 生理学の基礎の基礎 生理学講義を受講するにあたって 細胞・組織・器官 第2・3回 神経の基本的機能 神経細胞の形態、興奮伝導、興奮伝達 第4・5回 筋肉の基本的機能 筋細胞の形態と興奮、骨格筋の収縮 第6-8回 神経系の機能 末梢神経系(体性神経系、自律神経系)、中枢神経系、運動機能の調節 第9-12回 感覚の生理学 様々な感覚の受容と知覚のメカニズム 第13-15回 睡眠・記憶・情動 脳の高次機能	洞口 貴弘 洞口 貴弘 洞口 貴弘 洞口 貴弘 洞口 貴弘 洞口 貴弘
科目の目的	人体の各部分の構造と機能を学び、医療職に必要な基礎知識を身につける【倫理観と幅広い教養】 【基本的知識と技術】【地域リハビリテーションの理解・問題解決力】【自己研鑽・探求力】	
到達目標	選択肢の中から、正しい人体の機能や、それを生み出すしくみを選ぶことができる	
関連科目	局所解剖学、臓器解剖学、生化学	
成績評価方法・基準	講義題目毎に小テストを行う(解答・解説はAAにて行う) 小テストの平均点×0.7+期末テストの点数×0.3 で最終的な成績を決定する	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	授業内容および小テストや期末テストの内容は、指定した教科書に準ずる そのため、指定した教科書を中心とした予習・復習が単位認定のカギとなる(約2時間)	
教科書・参考書	教科書：「シンプル生理学 第7版」貴邑富久子、根木英雄(南江堂) 参考書：「標準生理学」(医学書院) 「人体の正常構造と機能」(日本医事新報社) 「トートラ 人体の構造と機能」(丸善) 他	
オフィス・アワー	講義実施日の18:00~19:00	
国家試験出題基準	≪専門基礎≫-I-2-A-a, b ≪専門基礎≫-I-2-B-a, b ≪専門基礎≫-I-2-C-a, i ≪専門基礎≫-I-2-D-a, e ≪専門基礎≫-I-2-E-a, b ≪専門基礎≫-I-2-F-a, d	
履修条件・履修上の注意	15コマ講義なので、5回の欠席で履修放棄となるので注意	

講義科目名称： 生理学Ⅱ

授業コード： 4P047

英文科目名称： Physiology II

対象カリキュラム： 2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1学年	2単位	必修
担当教員	担当者		
洞口 貴弘			

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1・2回 内分泌系の機能 ホルモンの一般的特徴、内分泌器官の機能 第3-5回 循環の生理学 心臓血管系の基本構造と機能、調節 第6・7回 呼吸の生理学 呼吸器系基本構造と機能、調節 第8・9回 尿の生成と排泄および体液とその調節 腎臓の構造と機能、調整、尿生成、蓄尿と排尿、体液の恒常性を維持する仕組み 第10・11回 消化と吸収 消化管の基本構造と機能、調節 第12・13回 血液の生理学 血液の組成とその機能 第14・15回 体温とその調節 体温の意義とその調節メカニズム	洞口 貴弘 洞口 貴弘 洞口 貴弘 洞口 貴弘 洞口 貴弘 洞口 貴弘 洞口 貴弘
科目の目的	人体の各部分の構造と機能を学び、医療職に必要な基礎知識を身につける【倫理観と幅広い教養】 【基本的知識と技術】【地域リハビリテーションの理解・問題解決力】【自己研鑽・探求力】	
到達目標	選択肢の中から、正しい人体の機能や、それを生み出すしくみを選ぶことができる	
関連科目	局所解剖学、臓器解剖学、生化学	
成績評価方法・基準	講義題目毎に小テストを行う(解答・解説はAAにて行う) 小テストの平均点×0.7+期末テストの点数×0.3 で最終的な成績を決定する	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	授業内容および小テストや期末テストの内容は、指定した教科書に準ずる そのため、指定した教科書を中心とした予習・復習が単位認定のカギとなる(約2時間)	
教科書・参考書	教科書：「シンプル生理学 第7版」貴邑富久子、根木英雄(南江堂) 参考書：「標準生理学」(医学書院) 「人体の正常構造と機能」(日本医事新報社) 「トートラ 人体の構造と機能」(丸善) 他	
オフィス・アワー	講義実施日の18:00~19:00	
国家試験出題基準	≪専門基礎≫-I-2-G-a,b ≪専門基礎≫-I-2-H-a,d ≪専門基礎≫-I-2-I-a,d ≪専門基礎≫-I-2-J-a,d ≪専門基礎≫-I-2-K-a,e	
履修条件・履修上の注意	15コマ講義なので、5回の欠席で履修放棄となるので注意	

講義科目名称： 生理学実習

授業コード： 4P048

英文科目名称： Practice in Physiology

対象カリキュラム： 2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
洞口 貴弘	黒川 望		

授業形態	実習		担当者
授業計画	第1-2回	ガイダンス 生理学実習履修にあたっての諸注意 レポートの書き方 統計処理法を学ぶ	洞口 貴弘、黒川望
	第3-4回	浸透圧 卵半透膜を使用し、浸透圧を理解する	洞口 貴弘、黒川望
	第5-6回	血圧 血圧を測定し、そのメカニズムを理解する	洞口 貴弘、黒川望
	第7-8回	血糖値とその変化 糖質を摂食し、血糖値制御のメカニズムについて理解する	洞口 貴弘、黒川望
	第9-10回	心電図 標準肢誘導により心電図を記録し、心臓の活動電位について理解するとともに、電気生理学機器について習熟する	洞口 貴弘、黒川望
	第11-12回	表面筋電図 荷重負荷時の筋電図を記録し、筋の収縮メカニズムについて理解するとともに、電気生理学機器について習熟する	洞口 貴弘、黒川望
	第13-14回	ストレス反応 ストレス負荷をかけた際の生体反応を計測し、その発生メカニズムを理解する	洞口 貴弘、黒川望
	第15-16回	記録電極と刺激電極の極性の違いによる活動電位の向きと神経の興奮性 尺骨神経を刺激して誘発される筋電図を用い、刺激電極と記録電極の極性を変えることで、刺激により得られる波形にどのような違いが生じるかを理解するとともに、刺激装置について習熟する	洞口 貴弘、黒川望
	第17-18回	尺骨神経の運動神経伝導速度 尺骨神経を2箇所刺激して誘発される2種類の筋電図を用い、神経の伝導速度およびその測定のメカニズムを理解する	洞口 貴弘、黒川望
	第19-20回	神経の興奮と伝導 カエル神経標本を作製・刺激し、神経の興奮とその伝導メカニズムを理解する	洞口 貴弘、黒川望
	第21-22回	骨格筋の収縮 カエル神経筋標本を作成・刺激し、骨格筋の収縮メカニズムを理解する	洞口 貴弘、黒川望
	第23-24回	誘発筋電図 ヒト脛骨神経を刺激して下腿三頭筋の筋電図を誘発し、中枢および末梢神経系と筋を理解する	洞口 貴弘、黒川望
科目の目的	生理学の講義で学習した人体の機能について実際に確認し、理解を深める(ディプロマポリシー【倫理観と幅広い教養】【基本的知識と技術】【地域リハビリテーションの理解・問題解決力】【自己研鑽・探求力】に相当)		
到達目標	種々の生理学機能測定器具を用い、人体の機能に関するデータの収集し、判読できるようになる 生理学の講義で得られた知識をもとに、判読した結果のメカニズムを類推することができるようになる 得られたデータを他者に分かりやすく報告することができるようになる		
関連科目	生理学 I・II、解剖学 I・II		
成績評価方法・基準	期末テスト65%、レポート35%(実習内でフィードバックする) で最終成績を算出する		
準備学習の内容・	既に履修済みである、生理学I、IIの復習(約1時間)		

準備学習に必要な学習時間の目安	
教科書・参考書	教科書：特に無し 参考書：「シンプル生理学」（南江堂） 「標準生理学」（医学書院） 「人体の正常構造と機能」（日本医事新報社） 他
オフィス・アワー	実施日の18：00～19：00
国家試験出題基準	≪専門基礎≫-I-2-B-b ≪専門基礎≫-I-2-C-b, c, d, f, g, h ≪専門基礎≫-I-2-D-c, d ≪専門基礎≫-I-2-F-a ≪専門基礎≫-I-2-G-a ≪専門基礎≫-I-2-H-b, c, d ≪専門基礎≫-I-2-N-a
履修条件・履修上の注意	行われる実習内容を理解するために、実習書には1年次に学んだ生理学の内容を問う課題が記載されている。 また実習書には、行われた実習において、なぜそのような結果になったのかを理解するための課題が記載されている。 それらの量は、決して少なくなく、さらに、期末試験ではそれらの正解が理解できていたら解ける問題が出題される。 そのため、あらかじめ実習書に目を通し、課題を遂行することが、単位取得のカギとなる。

講義科目名称： 生化学

授業コード： 4P049

英文科目名称： Biochemistry

対象カリキュラム： 2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
木村 鮎子			

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回 生化学を学ぶための基礎 生化学を学ぶための基礎知識と各種生体構成成分の概要	木村 鮎子
	第2回 糖質 1 糖質の構造と分類(単糖, 二糖, 多糖), 糖代謝の概要	木村 鮎子
	第3回 糖質 2 各種糖代謝経路 (解糖系, TCA回路, 糖新生, グリコーゲンの合成と分解など), 糖代謝異常	木村 鮎子
	第4回 脂質 脂質の構造(中性脂肪, 脂肪酸, コレステロール, リン脂質, リポタンパク質), 脂質代謝 (脂肪酸の生合成と β 酸化, コレステロールの合成・輸送・蓄積), 脂質代謝異常	木村 鮎子
	第5回 タンパク質とアミノ酸 各アミノ酸の性質とタンパク質の機能, アミノ酸代謝, 脂質代謝異常	木村 鮎子
	第6回 核酸 核酸の構造, 遺伝子の働きと変異, 核酸の代謝, 核酸代謝異常	木村 鮎子
	第7回 ホルモン 各種ホルモンの構造と分泌器官, ホルモンによる生体調節機構と疾患との関係	木村 鮎子
	第8回 ビタミン, ミネラル ビタミンの構造・性質と生理機能 (補酵素, 遺伝子発現調節など), およびビタミン欠乏症, ミネラルの分類 (多量・微量ミネラル)と生理機能	木村 鮎子
科目の目的	理学療法に必要な自然科学の学びだけでなく、人間が生み出した文化や歴史、社会の動きと仕組み、生命倫理、コミュニケーションの学びを積み重ねた豊かで幅広い教養 [キーワード：【倫理観と幅広い教養】]理学療法の実践に向かうための必要な基礎医学、臨床医学、理学療法学の基本的知識及び技術 [キーワード：【基本的知識と技術】]地域に根差したリハビリテーションの必要性和多職種連携による問題解決の重要性の理解 [キーワード：【地域リハビリテーションの理解・問題解決力】]自己研鑽に励み、自ら疑問や課題を設定し、問題解決のために調査・検討・分析できる能力 [キーワード：【自己研鑽・探求力】]	
到達目標	1. 糖質とその代謝, 脂質とその代謝, タンパク質とその分解, アミノ酸代謝, 核酸とその代謝, 生体エネルギーについて, 生合成や代謝の過程が理解できること. 2. 生体内でのビタミン, ホルモン, ミネラルの役割が理解できること.	
関連科目	化学基礎, 生物学基礎, 生理学, 薬理学	
成績評価方法・基準	定期試験 (100%) により評価する.	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	講義内容が理解できるよう, 事前に教科書を30分程読んでおく.	
教科書・参考書	教科書: 栄養科学シリーズ NEXT 生化学 (講談社) 参考書: 藪田 勝 編; 栄養科学イラストレイテッド生化学 改定第3版 (羊土社)	
オフィス・アワー	講義終了後に質問を受ける. 個別の相談は, 事前連絡(ay-kimura@paz.ac.jp)によって随時対応する.	
国家試験出題基準	<専門基礎> - I -2-N-a, <専門基礎> - I -2-N-b, <専門基礎> - I -2-N-c	
履修条件・履修上の注意	健康食品管理士および遺伝子分析科学認定士 (初級)の資格取得要件科目の一つである.	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1学年	2単位	必修
担当教員	担当者		
高橋 正明			

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回 身体運動成り立ちの原則1 コースガイド 運動学総論 運動学を学ぶ心構え 身体運動の機能-構造学 進化から見た人の運動の特異性 関節運動の基本原則 基本面上の回転運動と名称 運動軸と運動自由度 剛体と分節構造の違い 分節構造による運動連鎖	高橋正明
	第2回 身体運動成り立ちの原則2 運動器の機能解剖 骨・関節の機能解剖 骨の構成成分と基本構造 関節の分類と運動自由度 関節の構造 関節包内運動 筋の機能解剖 動筋と拮抗筋 収縮様式 筋張力vs筋長, 収縮速度 共同運動 最大張力と筋断面積	高橋正明
	第3回 身体運動成り立ちの原則3 生体力学の基礎 骨・関節の機能解剖 骨の構成成分と基本構造 関節の分類と運動自由度 関節の構造 関節包内運動 筋の機能解剖 動筋と拮抗筋 収縮様式 筋張力vs筋長, 収縮速度 共同運動 最大張力と筋断面積	高橋正明
	第4回 足部・足関節の機能-構造1 下肢の役割と構造的な特異性 足関節の役割と構造 進化から見た下肢 足関節の機能と構造	高橋正明
	第5回 足部・足関節の機能-構造2 足部の骨の配置と関節の働き 距骨下関節 内返しと外替えし 足底腱膜 バネ靭帯 長足底靭帯 足部の動きと運動軸 外来筋と内在筋 共同運動	高橋正明
	第6回 足部・足関節の機能-構造3 足部全体を総合した運動のメカニズム アーチ構造とその役割 まとめ	高橋正明
	第7回 膝関節の機能-構造1 膝の役割と関節構造 膝の運動と下腿の運動 骨の形状 screw home phenomenon	高橋正明
	第8回 膝関節の機能-構造2 膝関節に働く筋の機能解剖 大腿四頭筋とハムストリングス 内側の安定化に働く筋 膝蓋骨の働き	高橋正明
	第9回 膝関節の機能-構造3 膝関節の特殊機能 膝伸展保持のメカニズム 膝上の体重支持と広い可動域 膝屈曲位のみの下腿の回旋	高橋正明
	第10回 骨盤・股関節の機能-構造1 関節構造と役割 骨構造と靭帯 股関節の動きと骨盤の動き	高橋正明
	第11回 骨盤・股関節の機能-構造2 股関節に働く筋 筋群の形状の特徴と機能 外転筋と第1のテコ	高橋正明
	第12回 頸部と体幹の運動機能1 脊柱の機能解剖 脊索動物から脊椎動物への進化と椎骨および椎間円板の発生 脊柱の形態と機能、体幹の運動と筋活動	高橋正明
	第13回 頸部と体幹の運動機能2 脊柱に作用する筋 脊柱起立筋と短背筋群 他	高橋正明
	第14回 頸部と体幹の運動機能3 胸郭の運動と呼吸運動 胸郭の機能と構造 呼吸筋 吸気筋	高橋正明
	第15回 筋の機能と構造 骨格筋の構造 筋の形状による分類 筋収縮の様態 最大張力と断面積 筋の粘性 と弾性 共同筋 二関節筋の機能	高橋正明
科目の目的	人の身体運動を機能-構造の視点から分析するのに必要となる基本的な知識や概念を学び、自分自身および友人の関節運動を機能-構造的見方で説明することができる。これらの能力はディプロマポリシーに示されている【倫理観と幅広い教養】【基本的知識と技術】【地域リハビリテーションの理解・問題解決力】【自己研鑽・探求力】を高めることに役立つ。	

到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 足部・足関節、膝関節、股関節、脊柱・胸郭の関節の機能-構造について説明できる. 2. 荷重関節（足部・足関節、膝関節、股関節、頸部・体幹）による体重支持のメカニズムについて説明できる. 3. 関節の基本的機能である可動性と拘束性について関節の構造物および筋の活動により説明できる.
関連科目	運動器解剖学, 臓器解剖学, 解剖学演習, 生理学Ⅰ・Ⅱ, 生理学実習, 臨床運動学, 運動学実習, 表面解剖学と触診法, 理学療法診断学, 運動機能系理学療法診断学演習, 神経機能系理学療法診断学演習, 日常生活活動学, 評価学実習, 総合臨床実習Ⅰ・Ⅱ
成績評価方法・基準	各関節の機能解剖学的知識を確認するために小テスト(クイズ)を3回行う(60%), 運動の基本的原則について試験を行う(40%). 総合得点60点以上を合格とする.
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	運動学は応用科学であるため、四肢体幹の解剖学の基礎知識を前提に授業を進める. 該当する部分を解剖学の教科書で確認しておくこと. 30分~45分の準備学習が必要.
教科書・参考書	教科書 「標準理学療法学・作業療法学 運動学」高橋正明編 (医学書院) 「基礎運動学 第6版補訂」中村隆一, 他著(医歯薬出版)
オフィス・アワー	火曜日12:10~12:50、 金曜日12:10~12:50
国家試験出題基準	《専門基礎》-Ⅰ-3-A-abcdef, B-abcde
履修条件・履修上の注意	解剖学で学んだ専門用語の知識は知っているものとして授業を進めるため、それらを教科書で確認しておくこと。

教科書・参考書	<p>【教科書】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 高橋正明編：標準理学療法学 専門分野 臨床動作分析, 医学書院, 2019 2. 医療情報科学研究所編：病気が見えるVol. 7 脳・神経, MEDIC MEDIA, 2020 <p>【参考書】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 石井慎一郎編著：動作分析臨床活用講座-バイオメカニクスに基づく臨床推論の実践, MEDICAL VIEW, 2016 2. 臨床歩行分析研究会監修：姿勢・動作・歩行分析第1版, 羊土社, 2015 3. 小柳磨毅他編：P T・O Tのための運動学テキスト-基礎・実習・臨床-, 金原出版株式会社, 2015
オフィス・アワー	高橋, 浅田：水曜日（10：40～13：00）
国家試験出題基準	《専門基礎》-I-3-C 《専門》-I-3-I
履修条件・履修上の注意	

講義科目名称： 運動学実習

授業コード： 4P052

英文科目名称： Practice in Kinesiology

対象カリキュラム： 2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
岡崎 大資	高橋正明	目黒力	城下貴司
	橋口優		

授業形態	実習14回・講義10回		担当者
授業計画	1. 講義	上肢の運動機能（肩関節1）	高橋 岡崎
	2. 講義	上肢の運動機能（肩関節2）	高橋 岡崎
	3. 講義	上肢の運動機能（肩関節3）	高橋 岡崎
	4. 講義	上肢の運動機能（肘関節1）	高橋 岡崎
	5. 講義	上肢の運動機能（肘関節2）	高橋 岡崎
	6. 講義	上肢の運動機能（手関節・手指1）	高橋 岡崎
	7. 講義	上肢の運動機能（手関節・手指2）	高橋 岡崎
	8. 講義	上肢の運動機能（手関節・手指3）	高橋 岡崎
	9. 講義	歩行の運動学的基礎	岡崎
	10. 講義	運動学習過程の理解	岡崎
	11. 実習	重心位置の測定 オリエンテーション1	目黒 岡崎
	12. 実習	重心位置の測定 オリエンテーション2	目黒 岡崎
	13. 実習	ランドマークを基準とした立位姿勢アライメントの計測	目黒 岡崎
	14. 実習	重心動揺計を用いた重心線の測定	目黒 岡崎
	15. 実習	セグメント法に基づく身体重心計測	目黒 岡崎
	16. 実習	てこを用いた身体重心の位置の推定	目黒 岡崎
	17. 実習	筋電計・筋収縮様式測定のアライメント	岡崎 城下 橋口
	18. 実習	3次元動作解析のアライメント	岡崎 城下 橋口
	19. 実習	筋電計を用いた動作分析（1） 筋電計を用いた筋収縮様式の計測	岡崎 城下 橋口
	20. 実習	筋電計を用いた動作分析（2） 筋電図処理方法の実習	岡崎 城下 橋口
	21. 実習	3次元動作解析装置を用いた動作分析（1） 歩行路を設定し、歩行時の床反力、関節モーメントの計測1	岡崎 城下 橋口
	22. 実習	3次元動作解析装置を用いた動作分析（2） 歩行時の床反力、関節モーメントの分析1	岡崎 城下 橋口
	23. 実習	筋収縮様式の理解と関節モーメント（1） 等尺性・等速性筋収縮様式を理解し、関節モーメントを測定	岡崎 城下 橋口
	24. 実習	筋収縮様式の理解と関節モーメント（2） 環境操作に伴う、関節モーメントの相違の検討	岡崎 城下 橋口
科目の目的	<p>(1) レポートを作成するために必要な単位や数値のまとめ方、レポートの構成や体裁などを学び、身体動作を運動としてとらえる視点と定量的にとらえるということを学ぶ。</p> <p>(2) 身体重心の位置や重心動揺、姿勢保持時の各肢節間のアライメントの測定など自分自身を対象とした測定実習を行い、基本的姿勢と動作について力学的理解を深める。</p> <p>(3) 運動や動作を解析する各種手法についてグループで実習し、運動学における分析法を修得する。</p> <p>【倫理観と幅広い教養】 【基本的知識と技術】 【地域リハビリテーションの理解・問題解決力】 【自己研鑽・探求力】</p>		
到達目標	<p>(1) 人の運動・動作を分析し、運動学的用語を用いた記述ができる。</p> <p>(2) 運動学的分析方法を習得し得られた結果より臨床的意義について理解を深める。</p> <p>(3) 実習内容を客観的に記述したレポート作成ができる。</p>		

関連科目	運動学、臨床運動学、運動器解剖学、臓器解剖学、生理学Ⅰ、生理学Ⅱ
成績評価方法・基準	実習レポート（50％） 小テスト（10％） 定期テスト（40％）
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	準備学習：運動学で学んだ内容の復習と実習の手引き、実習書を熟読のうえ各実習単元にて行う内容を理解した状態で授業に臨むこと。（20分程度）
教科書・参考書	教科書：指定しない。 運動学実習の手引き、実習書を各自に配布する。 参考書：基礎運動学（第6版）中村隆一．医歯薬出版
オフィス・アワー	各担当教員の授業後とする
国家試験出題基準	《専門基礎》- I-3-B-b, c, d 《専門基礎》- I-3-C, D, E, F
履修条件・履修上の注意	運動学・解剖学・生理学等で学んだ知識をリンクさせ各計測・分析を実施するため、基礎知識の予習が必要である。 講義開始前に実習書を熟読し、スムーズな実習を行えるように準備をすること。また、実習を中心とした授業であるため、受け身ではなく自ら学ぼうとする態度で受講すること。積極的な授業への参加を望む。 実習レポートの成績が不良の者は再提出を課す場合がある。原則として遅刻・欠席は認めない。

講義科目名称： 人間発達学

授業コード： 4P053

英文科目名称： Human Development

対象カリキュラム： 2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
橋口 優			

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回 発達の学問の周辺と発達の定義・運動発達と秩序性の理解（講義） 発達に関する用語の概念を解説する 発達の概念を事例で考える	橋口 優
	第2回 マイルストーンと機能的な重要性・機能的メカニズム（講義） 発達学の方法論について解説する 発達の現象学と機能学について解説する	橋口 優
	第3回 正常運動発達について1（演習） 背臥位・腹臥位の正常運動発達を体験学習する	橋口 優
	第4回 正常運動発達について2（演習） ずり這いと四つ這い・座位と起き上がりの正常運動発達を体験学習する	橋口 優
	第5回 正常運動発達について3（演習） 立ち上がり・つたい歩きの正常運動発達を体験学習する	橋口 優
	第6回 正常運動発達について4（演習） 歩行の正常運動発達を体験学習する	橋口 優
	第7回 正常運動発達のまとめ1（演習） 正常運動発達についてグループでまとめる。	橋口 優
	第8回 正常運動発達のまとめ2（演習） 正常運動発達についてグループで説明する。	橋口 優
	第9回 姿勢反射と反応の基礎知識（講義） 運動制御における姿勢反射と反応の神経学的・運動学的な役割を理解する	橋口 優
	第10回 姿勢反射・反応の臨床と誘発実技1（演習） 原始反射の体験と誘発実技を行う	橋口 優
	第11回 姿勢反射・反応の臨床と誘発実技2（演習） 平衡反応の体験と誘発実技を行う	橋口 優
	第12回 姿勢反射・反応の臨床と誘発実技3（演習） 立ち直り反応の体験と誘発実技を行う	橋口 優
	第13回 姿勢反射・反応の臨床と誘発実技まとめ1（講義） 姿勢反射・反応の臨床と誘発実技についてグループでまとめる	橋口 優
	第14回 姿勢反射・反応の臨床と誘発実技まとめ2（講義） 実技と講義を交えて姿勢反射・反応についての知識を整理する	中 徹
	第15回 定型的な発達と非定型的な発達 発達の知識を理学療法に応用する（講義） 臨床における発達の障がいの現れ方について紹介する 理学療法に発達学の知識を応用するメリットを理解する 臨床における発達の障がいの現れ方の紹介・理学療法に発達学の知識を応用するメリットを理解する	橋口 優
科目の目的	理学療法に発達の知識を利用できることを知る 本授業はディプロマポリシー【倫理観と幅広い教養】【基本的知識と技術】【地域リハビリテーションの理解・問題解決力】【自己研鑽・探求力】に対応した科目である	
到達目標	定型発達の現象を説明でき、かつ模倣ができる 姿勢反射・反応の神経学的意義、臨床的意義を説明でき、姿勢反射検査ができる	
関連科目	基礎となる科目・・・運動学 将来繋がる科目・・・小児理学療法学・小児科学・臨床神経学Ⅰ（神経内科学）	
成績評価方法・基準	実技到達度20%＋定期試験80%	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	前に配布する講義資料の該当部分およびテキストの該当部分を予習する（各回45分程度） 各回の内容と演習を復習する（各回45分程度）	
教科書・参考書	教科書1 理学療法・作業療法のための神経生理学プログラム演習2 運動発達と反射 反射検査の 手技と評価 教科書2 シンプル理学療法学シリーズ 小児理学療法学テキスト	
オフィス・アワー	水曜日12:15～15:00	
国家試験出題基準	《専門基礎》Ⅰ-3-M・N	

履修条件・履修上の注意	演習をともなうため、動きやすい服装にて受講すること
-------------	---------------------------

講義科目名称： 生涯発達心理学

授業コード： 4P054

英文科目名称： Life-span Developmental Psychology

対象カリキュラム： 2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2学年	2単位	選択
担当教員	担当者		
齊藤 吉人	齊藤 吉人		

授業形態	講義15回 毎回の授業の最後に授業の「まとめ」を提出する。		担当者
授業計画	第1回	ヒトとは 直立二足歩行の意義・二足歩行からもたらされたヒト特有の疾患・ヒトの6大特徴	齊藤吉人
	第2回	生涯発達 発達の定義・人の生涯に影響を与える3つの要因・2025年問題・平均寿命と健康寿命の差・人間発達期の区分・成長・発達・成熟・発育の原則	齊藤吉人
	第3回	胎芽・胎児期 受精卵期・胎芽期・胎児期	齊藤吉人
	第4回	乳児期 ピアジェの認知構造・乳児実験における観察法・エリクソンのライフサイクル・コミュニケーションの発達段階・アタッチメント	齊藤吉人
	第5回	幼児期前期 粗大運動の発達・微細運動の発達・社会性・言語の発達・エリクソンの発達図式・児童虐待	齊藤吉人
	第6回	幼児期後期 粗大運動の発達・微細運動の発達・自己中心性・こころの理論・社会的遊びの発達の分類	齊藤吉人
	第7回	学童期 勤勉性と劣等感・脱中心化・向社会性	齊藤吉人
	第8回	青年期前期 思春期と青年期・自我同一性・モラトリアム・自己受容・エゴグラム性格診断テスト	齊藤吉人
	第9回	青年期後期 自我同一性・アイデンティティ・ステイタス・マージナル・マン・ピーター・パン・シンδροーム・シンデレラ・コンプレックス・合理的配慮・トランスジェンダー	齊藤吉人
	第10回	成人期前期 親密性と孤独・職業的アイデンティティ・仁術・理学療法士・作業療法士・言語聴覚士・ニート・人口置き換え水準	齊藤吉人
	第11回	成人期中期 世代性と停滞・コーピング・スタイル・M字カーブ・3歳児神話	齊藤吉人
	第12回	成人期後期 成熟期・同一性再確立・自己肯定感・熟年の自殺	齊藤吉人
	第13回	高齢期 統合と絶望・結晶性知能と流動性知能・人格の尖鋭化・サクセスフル・エイジング・プロダクティブ・エイジング・ロコモティブ症候群・サルコペニア・フレイル・地域包括ケア	齊藤吉人
	第14回	発達理論 単一要因説・生得説・経験説・双生児統制法・成熟優位説・レディネス・反射階層理論・行動主義心理学・輻輳説・相互作用説・横断研究・縦断研究・非線形打ち消し効果	齊藤吉人
	第15回	発達理論 複雑系科学・創発・ゲシュタルト心理学・最近接発達領域	齊藤吉人
科目の目的	人間を生涯にわたり発達する存在としてとらえ、生命の誕生から小児期、青年期、成人期(老年期)を経て死に至るまでの量的・質的变化について学ぶ。ディプロマポリシー：【倫理観と幅広い教養】【基本的知識と技術】【地域リハビリテーションの理解・問題解決力】【自己研鑽・探求力】		
到達目標	人間の発達には、受胎、胎生期、新生児期、乳幼児期、児童期、青年期、成人期、老人期、死というライフステージに分けられる。障害のある人への支援を行う専門職には、そうしたライフステージの特徴を踏まえつつ、支援を行うことが求められている。ライフステージの各時期に発現する行動を広く、深く理解し、各時期に生じやすい発達上あるいは健康上の課題を説明できることを目標とする。		
関連科目	臨床心理学, 学習・認知心理学, 心理測定法		

成績評価方法・基準	1回の「まとめ」の提出に対し1点が与えられる。ただし、正答が60%を超えない場合、「まとめ」とは認めない。毎回の授業終了後、「標準的まとめ」をActive Academyにて配信する。定期試験は「標準的まとめ」から出題される。評価点=毎回提出する「まとめ」(1点×15回=15%) + 定期試験成績(85%)。60%以上を合格とし単位を与える。
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	各回の内容と演習を復習する(各回45分程度)
教科書・参考書	参考書：鈴木光太郎著：ヒトの心はどう進化したのかー狩猟採集生活が生んだもの, 筑摩書房, 2013
オフィス・アワー	月～金の昼休み
国家試験出題基準	V-4-A-a [~] c V-4-B-a [~] c V-4-C-a [~] c V-4-D-a [~] c V-4-E-a [~] e
履修条件・履修上の注意	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2学年	2単位	選択
担当教員	担当者		
榎本 光邦			

授業形態	講義を中心とし、随時10分程度の小演習（個別・グループ）も取り入れる。		担当者
授業計画	第1回	<p>学習心理学の歴史 一般に学習というと、学校における教科学習を想像するが、心理学において学習とは「経験によって生ずる行動の変容」と定義される。本講義では学習心理学の歴史を学び、学習心理学の2つの理論体系について理解する。</p> <p>key words：心理学実験室，行動主義，新行動主義</p>	榎本光邦
	第2回	<p>学習の基礎 行動の変容について、遺伝的なものは成熟であり、経験によるものは学習である。経験による行動の変容である学習を生じさせるための手続きが「条件づけ」である。 本講義では様々な条件づけについて学び、日常生活で応用できる場面がないかを考察する。</p> <p>key words：古典的条件づけ，オペラント条件づけ，三項随伴性，強化と弱化</p>	榎本光邦
	第3回	<p>技能学習と熟達化 技能学習とは、知覚系（環境情報の認知）と運動系（中枢からの骨格筋のコントロール）を協応させる学習である。本講義では、様々な技能学習と、その熟達化の方法について学ぶ。</p> <p>key words：技能学習，運動プログラム，学習曲線，熟達化</p>	榎本光邦
	第4回	<p>社会的学習 社会的学習とは、社会のメンバーとして適切な行動がとれるよう、他者の影響を受けて、文化、慣習、規範、態度、価値観、言語、行動などを習得することである。ヒトは経験の中から様々なことを「学習」するが、このメカニズムに関する理論はこれまでに多数積み重ねられてきている。本講義では、社会的学習に関する理論を学び、日常生活において見られる社会的学習を探索する。</p> <p>key words：社会的学習，観察学習，モデリング，自己効力感，道徳的不活性化</p>	榎本光邦
	第5回	<p>問題解決と学習の転移 問題解決を考えるためには、「問題」とは何か、「解決」とは何かを明確にする必要がある。本講義では、認知心理学における問題解決について理解し、日常生活で遭遇する様々な問題の解決方法について検討する。</p> <p>key words：初期状態，目標状態，オペレータ，問題スキーマ，類似，転移</p>	榎本光邦
	第6回	<p>動機づけ 動機づけとは、行動や思考を喚起し、方向づけ、持続させ、完了へと導く心の働きである。動機づけは日々の生活の中で「意欲」や「やる気」などと呼ばれるものと対応した概念である。学習との関係の中での動機づけは、学習された行動の目標達成に向けた遂行や新しい行動の学習を促す心の働きと捉えられる。本講義では、動機づけの源と捉えられる欲求の類型について触れた後、動機づけの始発・維持および動機づけられた行動の推敲・制御に関わる処理過程について概観する。</p> <p>key words：動機づけ，欲求，内発的-外発的動機づけ，期待，価値，原因帰属，自己制御，認知コントロール</p>	榎本光邦
	第7回	<p>認知心理学の歴史 認知心理学で扱われている対象については、古くから言及されている。例えば、古代ギリシャの哲学者プラトンやアリストテレスなどによっても人間の記憶の性質について語られている。しかし、認知に関する科学的研究の取り組みが開始されたのは19世紀に入ってからである。本講義では認知心理学の歴史を概観する。</p> <p>key words：ライプチヒ大学，ゲシュタルト心理学，行動主義，新行動主義，認知地図</p>	榎本光邦
	第8回	<p>感覚 ヒトは思考し行動するために、まず感覚のプロセスによって外界からの情報を得る。本講義ではヒトの感覚プロセスや神経活動について理解し、それがどのように情動を引き起こしたり、行動のための運動システムに利用されるかを考察する。</p> <p>key words：視覚，聴覚，体性感覚，触覚，嗅覚，味覚，閾，多感覚統合</p>	榎本光邦

	<p>第9回 視知覚 我々は、視覚によって外界の様子を素早く知り、行動し、または文字などの情報をものに意味的な理解を行うこともできる。本講義では、眼を通じて得た視覚情報を元に外界を知覚・認識する基礎的な働きについて解説をする。</p> <p>key words：網膜、錐体、明るさ、色、恒常性、顔の認識、物体認識、空間の近く、奥行き、両眼立体視、運動、バイオリジカル・モーション</p> <p>第10回 聴知覚 我々の知覚は性質の異なる刺激を同時に受け入れることによって、様々な環境において、できるだけ多くの情報を素早く外界から得ようとしている。その中で、我々が生きていくうえで、聴覚が重要な役割を果たしている場面は多い。本講義ではまず、音の物理的な性質について理解をし、聴覚仕組みや音声の知覚について概観する。</p> <p>key words：波形、スペクトル、等間隔曲線、補充現象、ゾーン尺度、マスキング、周期性、両耳間時間差、両耳間音圧差、先行音効果、聴覚情景分析</p> <p>第11回 感性 心理学において、「感性」という心の機能はどのように位置づけられるのであろうか。心理学の研究対象としての感性を語る際、感性は感性以外の心の機能との関係性の中で定期されるべきである。本講義では、何をどのように明らかにする研究活動が感性研究なのか、感性は他の心の機能とどう違うのかを検討する。</p> <p>key words：感性、印象、曖昧さ、想像、見立て</p> <p>第12回 注意 我々の認知システムの処理能力（処理容量ともいう）には限界がある。身の周りにはあるたくさんの情報のうち、一度に処理できるのはその一部であり、情報を取捨選択しなければならない。この時、情報の取捨選択に関わる働きを「注意」という。本講義では、「注意」には単一の機能ではなく、いくつもの側面があり、それぞれが異なる特性を持つことを学ぶ。</p> <p>key words：注意、意識、無意識、ワーキングメモリ、トップダウン、ボトムアップ、処理資源</p> <p>第13回 記憶 我々は外界の情報を取り入れ（記銘）、一定期間覚えておき（保持）、それを必要に応じて思い出す（想起）。この一連の心的過程やその内容を記憶という。この心的過程は、記銘に際して外界の情報を心内表現に変換する符号化（encoding）、その結果を保持する貯蔵（storage）、保持している内容を想起する検索（retrieval）という3つの段階からなる。本講義では、記憶の構造やシステム、記憶の種類、ワーキングメモリ、処理水準などについて概観する。</p> <p>key words：感覚記憶、短期記憶、長期記憶、ワーキングメモリ、処理水準説、偽りの記憶、回復された記憶</p> <p>第14回 認知の個人差 知覚や認知の研究では、ヒトが普遍的に持っている機能を明らかにするものが殆どで、個人差そのものに焦点が当てられることは少ない。個人差に焦点を当てる研究分野は差異心理学（differential psychology）と呼ばれている。本講義では、報告例が少ない「認知」に関する個人差に関する研究例を紹介し、今後の展望を行う。</p> <p>key words：個人差、差異心理学、知能、感情知性、ストループ干渉、逆ストループ干渉</p> <p>第15回 知覚・認知の障害 高次脳機能障害は脳が損傷を受けたことによって生じるが、その症状の中には知覚や認知に関するものがある。本講義では知覚・認知の障害の症状を概観し、その支援方法について検討する。</p> <p>key words：統覚型視覚失認、連合型視覚失認、半側空間無視、半側身体失認、前向き健忘、逆行性健忘、</p>	<p>榎本光邦</p> <p>榎本光邦</p> <p>榎本光邦</p> <p>榎本光邦</p> <p>榎本光邦</p> <p>榎本光邦</p> <p>榎本光邦</p>
<p>科目の目的</p>	<p>一般に学習というと、学校における教科学習を想像するが、心理学において学習とは「経験によって生ずる行動の変容」と定義される。本講義では、行動主義が提唱した学習原理と、社会的学習理論という2つの理論体系について理解することを目的とする。</p> <p>また、人間のこころについて、認知機能の側面から理解し、思考・言語の理解・産出・獲得、人間の記憶など、認知機能に関する理論・仮説や研究方法を理解し、人間の認知機能について概説できるようにすることも目的とする。</p> <p>ディプロマポリシー：【倫理観と幅広い教養】【基本的知識と技術】【地域リハビリテーションの理解・問題解決力】【自己研鑽・探求力】</p>	
<p>到達目標</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 行動の心理学の基本的な考え方と学習心理学の原理を理解し、説明することができる。 2. ヒトを含む動物の行動に興味を持ち、根拠を持って心と行動の素朴な関連性を疑うことができる。 3. 記憶や注意などの心理学的概念を理解することができる。 4. 言語に関連する認知心理学的知見を理解することができる。 	
<p>関連科目</p>	<p>心理学、臨床心理学、教育心理学、心理測定法、人間関係コミュニケーション論</p>	

成績評価方法・基準	定期試験（レポート形式・50％）に、毎回の受講後に作成する小レポートの評価（50％）を加味して評価する。小レポートの内容に対するフィードバックは次回の講義の冒頭に行う。
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	準備学習の内容については前回の講義時に指示をする。各単元について、1時間程度の予習・復習を行うことを目安とする。 講義資料は、概ね講義の1週間前までにActive Academyにて配布するので、各自ダウンロードしておくこと。
教科書・参考書	【教科書】 なし。その都度資料を配布する。 【参考書】 箱田裕司（編） 『公認心理師の基礎と実践7 知覚・認知心理学』 遠見書房 楠見孝（編） 『公認心理師の基礎と実践8 学習・言語心理学』 遠見書房
オフィス・アワー	月・水・木・金の昼休み（1号館3階305研究室）
国家試験出題基準	なし
履修条件・履修上の注意	講義中の私語、スマートフォン・携帯電話の使用、講義と関係のない作業（他の科目の学習等）は禁止します。注意しても止めない場合や、それらの行為が頻回に見られる場合は退室を命じ、その回の講義の出席を認めない場合もあります。

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2学年	2単位	選択
担当教員	担当者		
榎本 光邦			

授業形態	講義形態が中心であるが、講義の後半では主にExcelを利用した統計処理の演習を行う。		担当者
授業計画	第1回	<p>オリエンテーション 心理学の歴史を知ることを通じて、心理測定法の意義を学ぶ。</p> <p>key words：心理測定法，心理学研究法</p>	榎本光邦
	第2回	<p>心理物理学的測定法 精神物理学的測定法で測定される刺激閾，弁別閾，主観的等価値などを学習し，閾値の概念について詳細に検討する。</p> <p>key words：精神物理学的測定法，閾値の測定</p>	榎本光邦
	第3回	<p>データの種類の識別する われわれは，自分が問題とする現象・事象について実験や調査，検査，観察を行ってデータを得る。そしてそのデータを処理して，なにがしかの所見を得ようとする。しかし，どのような方法で処理するかは，データの種類によって異なる。本講義では，データ処理のために適当な方法を適用するために，自分のデータがどのような性質を持つかを識別できるようになることを目指す。</p> <p>key words：名義尺度，順序尺度，間隔尺度，比率尺度</p>	榎本光邦
	第4回	<p>データを入力する データを分析するためには，標本集団から得られたデータを何らかの基準に従って数値化し，整理する必要がある。これはまず表の形にまとめられるが，この加工や編集をされていないデータを原データ（粗データ，素データ，raw data）という。本講義ではデータ処理の手始めとして，実験記録，観察記録，質問紙等で捉えた被験者（被検者，被調査者）の反応—原データをExcelに入力する演習を行う。</p> <p>key words：実験，観察，質問紙調査，原データ</p>	榎本光邦
	第5回	<p>データを編集する データ処理の過程で，入力した値や算出した値に様々な手を加えて，新しい値を与えることがある。最も単純な加工としては，数値を四捨五入して適当な位に丸めたり，文字データを数値データに置き換えたり，いくつかの変数の合計値を求めたりといった作業が挙げられる。やや複雑な加工としては，標準化をしたり，対数変換，角変換等を行うことがある。本講義では，Excelでこれらの加工の演習を行う。</p> <p>key words：データの編集，データを丸める，データの変換，標準化</p>	榎本光邦
	第6回	<p>データを集計し特徴を記述する データを集計する際，最も基本的な処理は，ある変量の値に従って観測を並べ替えることである。出席番号順に並べたり，肥満度の順番に個人を並べ替えたり，性別でグループ分けをしたりといった処理が該当する。本講義では，Excelを用いて様々なデータの集計方法についての演習を行う。</p> <p>key words：データの並べ替え，度数分布表，クロス集計，平均値，中央値，最頻値，散布度，GP分析</p>	榎本光邦
	第7回	<p>グラフに表す 原データについてグラフを描くと，データの分布が概観できる。次の段階では，原データの集計表から度数を計測したり平均値等を算出し，標本の特徴について記述し，さらに高度・複雑な分析を施すこともある。本講義では，Excelを用い，様々なデータをグラフで表す演習を行う。</p> <p>key words：原データのグラフ化，グラフウィザード，ラベル，目盛線</p>	榎本光邦
	第8回	<p>統計的検討① 表やグラフから傾向を読み取られた所見は，研究者自身の“読み”によるもので，そのような主観的な所見から示唆される差異や関係は，確率的に見て差がある，関係があると言えるのかどうかを数字の上で裏付ける必要がある。これが統計的検定と言われるものである。 本講義では，帰無仮説について学び，Excelを用いて二項検定やカイ二乗検定などの演習を行う。</p> <p>key words：帰無仮説，有意水準，二項検定，カイ二乗検定，自由度</p>	榎本光邦

	<p>第9回 統計的検討② 2つの条件下において同一の測定・調査を行い、その条件感で測定値（平均値）に差があるかどうかを検定する方法について学ぶ。 講義の後半では、Excelを用い、F検定、t検定の演習を行う。</p> <p>key words : F検定, 等分散, 対応のあるt検定, 対応のないt検定</p> <p>第10回 統計的検討? 心理学実験で得られる測定値には、通常多くの変動バラつきが見られる。この変動がどのような要因（条件, 変数）によって説明されるかを知るために、いくつかの影響因子をあらかじめ設定し、その要因が、偶然誤差による変動を見込んだ上でも、測定値全体の変動に影響を与えているのかどうかを検討する方法である分散分析について学ぶ。 講義の後半では、Excelを用い、様々な分散分析の演習を行う。</p> <p>key words : 分散分析, 一元配置, 繰り返しのある二元配置, 繰り返しのない二元配置</p> <p>第11回 類似性・関係の程度を数値で表す 2つの事象の間になんらかの関係ー共変関係, 因果関係, 一致, 類似などが想定される場合がある。そのような関係の有無を検討するために、関係の程度を数値化する試みがなされている。これが相関係数である。本講義では、距離尺度を構成する2つの変量間の関連の程度を表す時に適用するピアソンの積率相関係数について学ぶ。 講義の後半では、Excelを用いて2変量間の相関係数を求める演習を行う。</p> <p>key words : ピアソンの積率相関係数, 因果関係はない, 有意水準,</p> <p>第12回 多変量を集約する 人の傾向を測る時、「ものさし」が一つでは、見落としている側面があるのではないかと危惧される。本講義では、まず、問題としている特性に関連すると思われる「ものさし」を多数あてはめ、その特性を測ろうとする重回帰分析について学ぶ。更に、多くの反応指標が同時に得られる場合、外的基準は存在せず、変量（尺度）間の相関係数からそれらの構造的関連を分析する方法である因子分析についても学習する。 講義後半では、Excelを用い、これらの分析方法について演習を行う。</p> <p>第13回 発達検査 発達検査とは、乳幼児の精神 発達（運動・身辺自立・言語・社会性など）の程度を測定する検査である。本講義では、わが国で使用されている代表的な発達検査を紹介し、講義後半ではその一部を体験する演習を行う。</p> <p>key words : 新版K式発達検査2020, 遠城寺式乳幼児分析的発達検査法, デンバー発達判定法</p> <p>第14回 知能検査① ウェクスラーが知能を「目的的に行動し、合理的に思考し、能率的にその環境を処理しうる総合的・全体的能力」と定義している通り、知能とは単に頭の良さや勉強の出来具合を示す指標ではない。そして、知能検査とは、知能の程度を客観的・科学的に測定する検査である。 本講義では、わが国で使用されている代表的な知能検査の一つである田中ビネーV知能検査について紹介し、一部、実施の演習を行う。</p> <p>key words : 知能, 田中ビネーV知能検査, 鈴木ビネー検査</p> <p>第15回 知能検査② 本講義では、世界的に使用されているウェクスラー系の知能検査（成人用であるWAIS-IVおよび児童用であるWISC-IV・WISC-V）について紹介し、一部、実施の演習を行う。</p> <p>key words : WAIS-IV, WISC-IV, WISC-V</p>	<p>榎本光邦</p> <p>榎本光邦</p> <p>榎本光邦</p> <p>榎本光邦</p> <p>榎本光邦</p> <p>榎本光邦</p> <p>榎本光邦</p>
科目の目的	<p>心理学の領域では心に関する現象をデータに基づいて科学的に検証するために、様々な測定法が開発されてきた。この講義では、各測定法の方法論や特徴を学ぶことを通じて、データを読み解くための方法を理解することを目指す。</p> <p>ディプロマポリシー：【倫理観と幅広い教養】【基本的知識と技術】【地域リハビリテーションの理解・問題解決力】【自己研鑽・探求力】</p>	
到達目標	<p>1. 心理学研究の基礎をなす測定法の理論や具体的測定方法について理解する。 2. 測定することの意味や各研究領域を代表する測定方法について理解を深め、将来研究を企画する際の基礎知識を身に着ける。</p>	
関連科目	<p>心理学, 臨床心理学, 教育心理学, 学習・認知心理学, 人間関係コミュニケーション論</p>	
成績評価方法・基準	<p>定期試験（レポート形式・50%）に、毎回の受講後に作成する小レポートの評価（50%）を加味して評価する。小レポートの内容に対するフィードバックは次回の講義の冒頭に行う。</p>	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	<p>準備学習の内容については前回の講義時に指示をする。各単元について、1時間程度の予習・復習を行うことを目安とする。 講義資料は、概ね講義の1週間前までにActive Academyにて配布するので、各自ダウンロードしておくこと。</p>	

教科書・参考書	<p>【教科書】 遠藤健治 『Excelによるデータ処理入門ー集計から編集，要約，グラフ化，検定〔増補改訂版〕』 までー</p> <p>【参考書】 南風原朝和 『心理統計学の基礎』 有斐閣アルマ 山田弘幸（編） 『言語聴覚士のための心理学』 医歯薬出版株式会社</p>
オフィス・アワー	月・水・木・金の昼休み（1号館3階305研究室）
国家試験出題基準	なし
履修条件・履修上の注意	講義中の私語，スマートフォン・携帯電話の使用，講義と関係のない作業（他の科目の学習等）は禁止します。注意しても止めない場合や，それらの行為が頻回に見られる場合は退室を命じ，その回の講義の出席を認めない場合もあります。

講義科目名称： 行動科学とりハビリテーション

授業コード：

英文科目名称： Behavioral Science and Rehabilitation

対象カリキュラム： 2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	3学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
岡崎 大資			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2021年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		

講義科目名称： 病理学

授業コード： 4P058

英文科目名称： Pathology

対象カリキュラム： 2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1学年	2単位	必修
担当教員	担当者		
岡山 香里			

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回 病理学序論・組織細胞障害と修復機構1 病理学とは、変性	岡山香里
	第2回 組織細胞障害と修復機構2 アポトーシス、壊死	岡山香里
	第3回 組織細胞障害と修復機構3 再生、化生、瘢痕治癒	岡山香里
	第4回 物質代謝異常1 糖質代謝異常	岡山香里
	第5回 物質代謝異常2 脂質代謝異常	岡山香里
	第6回 物質代謝異常3 核酸代謝異常、生体内色素代謝異常、無機物代謝異常	岡山香里
	第7回 循環障害 1 循環血液量の異常	岡山香里
	第8回 循環障害2 閉塞性の循環障害	岡山香里
	第9回 循環障害3 傍側循環、全身性の循環障害	岡山香里
	第10回 炎症1 炎症とは、炎症の分類、炎症の経過	岡山香里
	第11回 炎症2 炎症の各型、自己免疫性疾患	岡山香里
	第12回 先天異常 遺伝子・染色体異常と発生発達異常	岡山香里
	第13回 腫瘍1 定義、分類、良性腫瘍と悪性腫瘍	岡山香里
	第14回 腫瘍2 腫瘍の発生、発育、分化度	岡山香里
	第15回 腫瘍3 腫瘍の発生要因、腫瘍の種類	岡山香里
科目の目的	病理学とは疾病の原因、発生メカニズムなど、疾病の本態を解明する学問である。病理学総論として代謝障害、循環障害、炎症、腫瘍について疾病で生じる変化、経過、疾病の予後を捉え、理解ができるようにする。【倫理観と幅広い教養】【基本的知識と技術】【地域リハビリテーションの理解・問題解決力】【自己研鑽・探求力】	
到達目標	1. 疾病の原因、経過、治療法、予後を説明できる。 2. 疾病の検査事項を説明できる。 3. 疾病の病理所見を説明できる。	
関連科目	運動器解剖学、臓器解剖学	
成績評価方法・基準	定期試験100%により成績を評価する。試験形態は筆記試験とする。	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	各回の授業内容について予習、復習を行うこと。準備学習に必要な時間は1時間程度とする。	
教科書・参考書	教科書：講師が配布する資料（授業ごとに配布する） 参考書：なるほどなっとく！病理学 病態形成の基本的な仕組み 小林正伸著 南山堂	
オフィス・アワー	講義終了後に質問を受け付ける。個別の相談は事前の連絡(okayama@paz.ac.jp)によって随時対応する。	
国家試験出題基準	≪専門基礎≫-Ⅱ-2-A-a ≪専門基礎≫-Ⅱ-2-A-b ≪専門基礎≫-Ⅱ-2-A-c	
履修条件・履修上の注意		

講義科目名称： 薬理学

授業コード： 4P059

英文科目名称： Pharmacology

対象カリキュラム： 2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
栗田 昌裕			

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回 薬理学とは 薬理学の基本知識。薬物治療に影響を与える因子。	栗田昌裕
	第2回 薬物動態 投与経路と薬の吸収、分布、代謝、排泄。	栗田昌裕
	第3回 麻酔薬と中枢興奮薬 全身麻酔薬。局所麻酔薬。中枢興奮薬。	栗田昌裕
	第4回 解熱鎮痛薬・抗炎症薬と麻薬 解熱鎮痛薬・抗炎症薬。麻薬性鎮痛薬・麻薬拮抗性鎮痛薬。	栗田昌裕
	第5回 向精神薬と抗癌薬 向精神薬。抗癌薬（抗てんかん薬）。	栗田昌裕
	筋弛緩薬と抗パーキンソン薬 筋弛緩薬の作用と応用。パーキンソン症候群の理解と抗パーキンソン薬の作用。	栗田昌裕
	第6回 自律神経薬 自律神経の基礎知識。コリン作動薬とコリン作動性効果遮断薬。アドレナリン作動薬とアドレナリン遮断薬。	栗田昌裕
	第7回 オータコイド オータコイドの種類とその作用。プロスタグランディンの臨床応用。	栗田昌裕
第8回 強心薬 強心薬（ジギタリス）の投与法。ジギタリスの副作用とその対策。	栗田昌裕	
科目の目的	ディプロマ・ポリシーとの関連では、「基本的知識と技術」をキーワードとする「DP2 理学療法の実践に向かうための基礎医学、臨床医学、理学療法学の基本的な知識および技術」の必要性に基づき、その基本的知識を得ることを目的とする科目である。具体的には、医療の中で投薬（服薬、注射、輸液、外用など）の役割は大きい。そこで、医療に携わる者は「薬物の種類とその作用に関する基本的な知識」を持ち、しかもそれに「的確な理解」が伴っている必要がある。薬理学概論ではそれらを見通しよく学習する。具体的にはその内容は以下の通りである。1) 薬理学の役割、構成、新薬の開発、医薬品の歴史、など薬理学の基本的知識を学ぶ。2) 薬物治療に影響を与える因子として、生体側、薬物側の因子を学び、副作用に関しても学ぶ。3) 薬の生体内運命と薬効との関係を学ぶ。ここでは、投与経路と吸収、分布・代謝・排泄に関して学ぶ。4) 薬物の種類と作用メカニズムの概略を系統的に学ぶ。 【倫理観と幅広い教養】【基本的知識と技術】【地域リハビリテーションの理解・問題解決力】 【自己研鑽・探求力】	
到達目標	薬物動態に関する基本的知識を得ること、薬物の作用機序による分類を知ること、主要な薬剤の適用に関する基礎的知識を持つこと、禁忌に関して学ぶこと。以上に関して、理学療法の実践に必要なとされるレベルに到達することを目標とする。	
関連科目	生理学Ⅰ・Ⅱ、生化学	
成績評価方法・基準	試験（100％）。	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	短期間の間に広範な内容を学ぶことになるので、毎回の講義で学んだことをよく復習することが望ましい。その際に、これまでに学んだ疾患に関する知識をよく思い出し、関連付けを明確にしておく。それが次回の内容を受け入れやすくなり、準備学習を兼ねることになる。復習時間は約1時間。	
教科書・参考書	教科書：使用しない。	

	参考書：「系統看護学講座 専門基礎分野 薬理学 疾病の成り立ちと回復の促進3」（医学書院）。
オフィス・アワー	火曜日の昼休み。
国家試験出題基準	【理学療法士】 《専門基礎》Ⅱ-2-B-e
履修条件・履修上の注意	Active Academyにより資料を事前配布します。配布期間は「授業前日から授業日まで」。持参方法は「各自印刷して授業に持参すること」。

講義科目名称： 臨床薬学

授業コード： 4P060

英文科目名称： Clinical Pharmacy

対象カリキュラム： 2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
栗田 昌裕			

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回 抗狭心症薬と抗不整脈薬 狭心症治療薬の作用と投与方法。不整脈の分類と治療。抗不整脈薬の種類。	栗田昌裕
	第2回 利尿薬と降圧薬 利尿薬の臨床的応用。降圧薬。抗動脈硬化薬。	栗田昌裕
	第3回 消化器病薬と駆虫薬 消化性潰瘍治療薬。健胃・消化薬。消化管運動促進薬。 制吐薬。下痢と止痢薬。潰瘍性大腸炎・クローン病治療薬。駆虫薬	栗田昌裕
	第4回 呼吸器病薬 呼吸器病薬。抗結核薬	栗田昌裕
	第5回 内分泌薬 下垂体ホルモン・甲状腺ホルモン・糖尿病治療薬	栗田昌裕
	第6回 第13回 血液病薬と抗癌薬 貧血の薬。止血薬。抗血栓療法薬。	栗田昌裕
	第7回 化学療法薬と免疫療法薬 化学療法薬。抗ウイルス剤。免疫について。免疫療法。	栗田昌裕
	第8回 消毒薬 滅菌・消毒法。消毒薬の濃度と殺菌速度。	栗田昌裕
科目の目的	<p>ディプロマ・ポリシーとの関連では、「基本的知識と技術」をキーワードとする「DP2 理学療法の実践に向かうための基礎医学、臨床医学、理学療法学の基本的な知識および技術」の必要性に基づき、その基本的知識を得ることを目的とする科目である。具体的には、医療の中で投薬（服薬、注射、輸液、外用など）の役割は大きい。そこで、医療に携わる者は「薬物の種類とその作用に関する基本的な知識」を持ち、しかもそれに「的確な理解」が伴っている必要がある。薬理学概論ではそれらを見通しよく学習する。具体的にはその内容は以下の通りである。1) 薬理学の役割、構成、新薬の開発、医薬品の歴史、など薬理学の基本的知識を学ぶ。2) 薬物治療に影響を与える因子として、生体側、薬物側の因子を学び、副作用に関しても学ぶ。3) 薬の生体内運命と薬効との関係を学ぶ。ここでは、投与経路と吸収、分布・代謝・排泄に関して学ぶ。4) 薬物の種類と作用メカニズムの概略を系統的に学ぶ。</p> <p>【倫理観と幅広い教養】 【基本的知識と技術】 【地域リハビリテーションの理解・問題解決力】 【自己研鑽・探求力】</p>	
到達目標	薬物動態に関する基本的知識を得ること、薬物の作用機序による分類を知ること、主要な薬剤の適用に関する基礎的知識を持つこと、禁忌に関して学ぶこと。以上に関して、理学療法の実践に必要なとされるレベルに到達することを目標とする。	
関連科目	生理学Ⅰ・Ⅱ、生化学	
成績評価方法・基準	試験（100％）。	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	短期間の間に広範な内容を学ぶことになるので、毎回の講義で学んだことをよく復習することが望ましい。その際に、これまでに学んだ疾患に関する知識をよく思い出し、関連付けを明確にしておこう。それが次回の内容を受け入れやすくなり、準備学習を兼ねることになる。復習時間は約1時間。	
教科書・参考書	教科書：使用しない。 参考書：「系統看護学講座 専門基礎分野 薬理学 疾病の成り立ちと回復の促進3」（医学書院）。	
オフィス・アワー	火曜日の昼休み。	
国家試験出題基準	【理学療法士】 《専門基礎》Ⅱ-2-B-e	
履修条件・履修上の注意	Active Academyにより資料を事前配布します。配布期間は「授業前日から授業日まで」。持参方法は「各自印刷して授業に持参すること」。	

講義科目名称： 公衆衛生学

授業コード： 4P061

英文科目名称： Public Health

対象カリキュラム： 2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	2単位	必修
担当教員	担当者		
木村 博一	木村 朗		

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回 公衆衛生学総論・新型コロナウイルス感染症の概要 公衆衛生学・新型コロナウイルス感染症の概要について講義する。 第2回 感染症疫学総論 感染症疫学について概説する。 第3回 感染症各論 結核、エイズならびに新興再興感染症について概説する。 第4回 疫学総論（集団の健康と疾病の概念） 疫学概要、記述疫学、分析疫学ならびにコホート研究について概説する。 第5回 疫学各論（疫学の方法） 系統誤差・偶発誤差、因果関係論ならびに保健統計について概説する。 第6回 生活習慣病総論（ライフスタイルと健康） NCDの概要、動脈硬化性疾患、予防ならびに健康教育について概説する。 第7回 親子保健（発達・成長と健康） 親子保健（発達・成長と健康）の概要と課題について概説する。 第8回 労働衛生・産業保健の概要 社会・環境と健康の概要と課題について概説する。 第9回 健康危機管理(1) 食品衛生・食の安全について概説する。 第10回 健康危機管理(2) 感染症発生時や災害時の対応について概説する。 第11回 院内感染対策概説 院内感染の現状と対策について概説する。 第12回 成人・精神保健概説 精神保健や自殺対策について概説する。 第13回 生活環境・環境と健康・地球温暖化 生活環境・環境と健康・地球温暖化などの諸問題について概説する。 第14回 保健医療行政概説 地域包括ケアシステムを含む保健医療行政について概説する。 第15回 がんの統計と疫学 がん対策・がん登録について概説する。	木村博一 木村博一 木村博一 木村 朗 木村 朗 木村 朗 木村 朗 木村 朗 木村 朗 木村博一 木村博一 木村博一 木村 朗 木村 朗 木村 朗 木村 朗
科目の目的	健康及び公衆衛生の基本的概念を学習する。各種疾患対策、環境対策と統計、疫学、健康教育、試験検査が織りなす総合科学であり、活動であることを理解する。【倫理観と幅広い教養】【基本的知識と技術】【地域リハビリテーションの理解・問題解決力】【自己研鑽・探求力】	
到達目標	1. 生活者の健康の保持・増進を目的とする公衆衛生活動を理解する。 2. 公衆衛生活動は、政治、経済、社会の動向と密接に関連していることを理解し、広い視野を養う。 3. 公衆衛生活動の基礎的技法として、集団からアプローチする疫学、保健統計、地域組織活動等を理解する。	
関連科目	生命倫理、環境学、社会学、情報処理、理学療法概論、地域理学療法学	
成績評価方法・基準	定期試験（期末試験）100%	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	準備学習に必要な学習時間の目安 1コマあたり2時間	
教科書・参考書	【教科書】 「社会・環境と健康 公衆衛生学 2022年版」柳川 洋、尾島 俊之 編集（医歯薬出版） 【教科書】 身体活動学入門、木村 朗、三共出版	
オフィス・アワー	講義の前後に質問を受け付ける（木村博一・木村朗） e-mail（木村博一）：h-kimura@paz.ac.jp；木村朗：a-kimura@paz.ac.jp e-mail（木村朗）：a-kimura@paz.ac.jp	
国家試験出題基準	専門基礎Ⅲ-1-A-f.g, Ⅲ-1-B-a.b.c.d.e.f.g.h.i.j	
履修条件・履修上の注意		

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
三浦 佑介	加藤 英樹	小池 正行	今尾 仁

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回 臨床検査学総論 臨床検査の必要性	三浦 佑介
	第2回 検体検査 (1) 一般検査の種類と実際	三浦 佑介
	第3回 検体検査 (2) 臨床血液検査の種類と実際	三浦 佑介
	第4回 検体検査 (3) 臨床化学検査の種類と実際	三浦 佑介
	第5回 検体検査 (4) 免疫検査・ホルモン検査の種類と実際	三浦 佑介
	第6回 検体検査 (5) 感染症検査・病理検査の種類と実際	三浦 佑介
	第7回 生体検査 (1) 心電図・脳波等などの測定の意義	三浦 佑介
	第8回 生体検査 (2) 血液ガス・超音波検査・その他生体検査の意義	三浦 佑介
	第9回 画像診断学総論	加藤 英樹
	第10回 頭部の画像診断	加藤 英樹
	第11回 胸部の画像診断 1 肺	加藤 英樹
	第12回 胸部の画像診断 2 心臓・大血管	小池 正行
	第13回 骨・関節の画像診断 (脊椎・脊髄を含む)	小池 正行
	第14回 肝胆膵の画像診断 (消化管を含む)	今尾 仁
	第15回 泌尿器・生殖器の画像診断	今尾 仁
科目の目的	ディプロマ・ポリシーの【倫理観と幅広い教養】【基本的知識と技術】【地域リハビリテーションの理解・問題解決力】【自己研鑽・探求力】を修得することを目的とする科目である。多様な病気の正確な診断に、臨床検査・画像診断学は欠かせないものとなっている。特に生体検査として、X線、CT、MRI、超音波検査(US)、核医学(SPECT、PET)など多くの画像診断法が開発され、発展している。これらの画像検査によって正常解剖の理解が深まり、病気の発生による解剖学的異常や生体内の変化を目で見る事が出来るようになった。一方、血液、尿・便、喀痰等の検体検査の測定法も日々進化し、臨床判断に大いに寄与している。本科目を学習することにより、正常解剖・生理学を分かりやすく理解するとともに、病気の診断に臨床検査・画像診断がどのように利用されているかを知ることが出来る。	
到達目標	1. 血液検査など検体検査で何が判るか理解する。 2. 理学療法士として、臨床検査の重要性を十分把握する。 3. X線、CT、MRI、超音波検査 (US)、核医学検査 (SPECT) ・PETの原理を習得する。 4. 正常解剖画像、代表的な病気の典型的な画像を理解する。 5. 正確な病気の診断に画像診断がどのように利用されているか、その役割を理解する。	
関連科目	関連し合う教養科目－情報処理、生物学、化学、物理学 この科目が基盤となる専門基礎科目－運動器解剖学、臓器解剖学、生理学Ⅰ・Ⅱ、生化学、病理学、薬理学、内科学、臨床医学関連領域論、整形外科学、神経内科学、小児科学 この科目が基盤となる専門科目－運動機能系理学療法治療学演習、神経機能系理学療法治療学演習Ⅰ・Ⅱ、内部機能系理学療法治療学演習、物理療法学、スポーツ理学療法学	
成績評価方法・基準	定期試験 (100%) により成績を評価する。	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	各回の授業内容について予習・復習を行い理解しておくこと。準備学習時間の目安は1時間程度とする。	
教科書・参考書	教科書：「画像診断コンパクトナビ」医学教育出版社 参考書：「系統看護学講座 別巻6 臨床検査」/大久保昭行 編 (医学書院)	
オフィス・アワー	三浦：講義終了後に質問を受け付ける。個別の相談は事前連絡によって随時対応する (miura@paz.ac.jp)。	

	加藤：講義終了後に質問を受け付ける。 小池：講義終了後に質問を受け付ける。 今尾：講義終了後に質問を受け付ける。
国家試験出題基準	<<専門基礎>> - II - 2 - B - a～d
履修条件・履修上の注意	状況に応じて内容が変更される場合があります。

講義科目名称： 臨床医学関連領域論

授業コード： 4P063

英文科目名称： Related Fields to Clinical Medicine

対象カリキュラム： 2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
宗宮 真	正田 純史		

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回 外科領域 (1) 総論 外科領域の疾患と治療の概要について理解する。	宗宮 真
	第2回 外科領域 (2) 胸部疾患 外科領域のうち胸部疾患とその治療の概要について理解する。	宗宮 真
	第3回 外科領域 (3) 腹部疾患 外科領域のうち腹部疾患とその治療の概要について理解する。	宗宮 真
	第4回 感染症科・滅菌法・消毒法 感染症科領域における疾患と滅菌法・消毒法の概要について理解する。	正田 純史
	第5回 耳鼻咽喉科領域 耳鼻咽喉科領域における疾患を理解する。	正田 純史
	第6回 泌尿器科領域 泌尿器科領域における疾患を理解する。	正田 純史
	第7回 産婦人科領域 産婦人科領域における疾患を理解する。	正田 純史
	第8回 老年医学領域 高齢者に特徴的な症候と疾患について理解する。	宗宮 真
科目の目的	臨床医学のうち、外科、老年科（老年医学）、耳鼻咽喉科、泌尿器科、産婦人科、感染症科・滅菌法・消毒法の概要について理解する。【倫理観と幅広い教養】【基本的知識と技術】【地域リハビリテーションの理解・問題解決力】【自己研鑽・探求力】	
到達目標	臨床医学の各科（外科、老年科、耳鼻咽喉科、泌尿器科、産婦人科、感染症科・滅菌法・消毒法）で診る疾患の概要について理解し、説明できる。	
関連科目	臓器解剖学、解剖学演習、生理学Ⅰ・Ⅱ、生理学実習、病理学、薬理学、臨床薬学、臨床検査・画像診断学演習、内科学、小児科学、リハビリテーション医学、救急・免疫・感染症学	
成績評価方法・基準	定期試験（90%）、授業中の質問や確認問題への回答（10%）。確認問題については、講義内で解説を行うなど、フィードバックを行う。	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	授業で解説した重要事項について、主に復習を中心とした自己学習を行い、次回授業までに、重要事項については自ら説明できるレベルまで理解しておくこと。1コマあたり2時間（実時間数90分）の授業時間外学習の時間を確保すること。	
教科書・参考書	教科書：使用しない。 参考書：各授業の際に適宜提示する。	
オフィス・アワー	講義終了後または水曜日昼休み（12時10分～50分、宗宮真、場所：1号館6階研究室）、講義終了後（正田純史、場所：非常勤講師室）。質問の内容により、別に時間を設定する場合がある。	
国家試験出題基準	《専門基礎》－Ⅱ－2－B－f 《専門基礎》－Ⅱ－12－A－a, b, c, d, e, f 《専門基礎》－Ⅱ－12－B－a, b, c, d, e, f 《専門基礎》－Ⅱ－12－C－a, b, c, d, e, f 《専門基礎》－Ⅱ－12－D－a, b, c, d, e, f 《専門基礎》－Ⅱ－12－E－a, b, c, d, e, f 《専門基礎》－Ⅱ－13－A－a, b, c, d, e, f, g, h 《専門基礎》－Ⅱ－13－B－a, b, c, d, e, f, g, h 《専門基礎》－Ⅱ－13－C－a, b, c, d, e, f, g, h 《専門基礎》－Ⅱ－13－D－a, b, c, d, e, f, g, h 《専門基礎》－Ⅱ－13－E－a, b, c, d, e, f, g, h	
履修条件・履修上の注意	前回講義の復習に利用する場合があるため、前回の配布資料を持参すること。	

講義科目名称： 内科学

授業コード： 4P064

英文科目名称： Internal Medicine

対象カリキュラム： 2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
岩崎 俊晴			

授業形態	講義	担当者
授業計画	<p>第1回 概論 1 ＜内科疾患の分類、薬物療法、食事療法＞内科疾患の分類、薬物療法の実際。薬物の作用、濃度。処方箋、医薬品に関する法令。薬用量。食事療法の目的。栄養と疾患の関係。各種病態と食事療法の基本方針。病院食とは。嚥下と栄養補給。</p> <p>第2回 概論 2 一般検査。血液検査。生化学検査。内分泌検査。感染症検査。免疫的検査。腫瘍マーカーとは。生理学的検査。画像検査。</p> <p>第3回 消化器疾患 1 消化器疾患の食事・栄養療法。口腔、食道、胃疾患、腸疾患。</p> <p>第4回 消化器疾患 2 肝、胆のう、膵臓疾患。腹膜疾患。急性腹症。</p> <p>第5回 呼吸器疾患 1 呼吸器疾患総論、感染性呼吸器疾患、気管支疾患、産業性呼吸器疾患、他。</p> <p>第6回 呼吸器疾患 2 間質性肺炎、COPD、肺腫瘍、肺循環障害、サルコイドーシス、他</p> <p>第7回 アレルギー、自己免疫疾患。 アレルギーとは。アレルギー性鼻炎。気管支喘息。アレルギー性肺炎。膠原病。</p> <p>第8回 循環器疾患 1 心不全。不整脈。</p> <p>第9回 循環器疾患 2 虚血性心疾患。弁膜症。心筋炎。リウマチ熱。</p> <p>第10回 循環器疾患 3 高血圧症。大動脈疾患。末梢動脈疾患。静脈・リンパ系の疾患。</p> <p>第11回 内分泌・代謝疾患 1 内分泌疾患の特徴。間脳、下垂体疾患。甲状腺、副甲状腺疾患、副腎疾患。</p> <p>第12回 内分泌・代謝疾患 2 糖代謝異常（糖尿病、低血糖）</p> <p>第13回 内分泌・代謝疾患 3 脂質代謝異常。尿酸代謝異常。その他の代謝異常。</p> <p>第14回 血液疾患 血液量の異常。脱水。貧血、多血症。血小板の異常。白血球の異常。</p> <p>第15回 内科学における遺伝性疾患。環境因子と内科疾患。 遺伝性疾患の形式。家族性高コレステロール血症について。公害病について。原発事故における健康被害。</p>	<p>岩崎</p>
科目の目的	臨床医学の中で内科学はすべての疾患を知る上で重要な学問である。特に、疾患の病理生理、診断、治療を学ぶことは臨床の現場で患者の状況を理解し、的確な判断に基づいて検査、治療を施す上で重要である。【倫理観と幅広い教養】【基本的知識と技術】【地域リハビリテーションの理解・問題解決力】【自己研鑽・探求力】	
到達目標	疾病の病態生理、診断、治療を一連の流れの中で理解する力を養う。国家試験に役立つ疾患について理解を深め、実際の問題に対応できるようにする。	
関連科目	解剖学Ⅰ・Ⅱ、病理学、生理学Ⅰ・Ⅱ	
成績評価方法・基準	試験とレポートの総合評価（レポート50%、ミニテスト50%） [2022.5.27 訂正]	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	毎回の講義内容をよく復習し、重要事項を頭に覚えておくこと。講義前に授業資料に目を通し、どのような流れの授業なのかを把握しておくこと。授業内容を深く理解するためには30分以上の予習が必要である。	
教科書・参考書	参考書：「病気が見える」シリーズ 教科書なし	
オフィス・アワー	講義の後20分ほど学内に滞在している。講義した内容に質問があれば出席表を利用する。	
国家試験出題基準	＜専門基礎＞-Ⅱ-11-ABCDE-abcdefg	
履修条件・履修上	特になし。	

履修条件・履修上の注意	教科書を持参すること。前回講義の復習に利用する場合があるため、前回の配布資料を持参すること。
-------------	--

講義科目名称： 神経内科学

授業コード： 4P066

英文科目名称： Neurology

対象カリキュラム： 2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
宗宮 真			

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回 総論 神経症候と神経学的診察法の概要について学習する。	宗宮 真
	第2回 脳血管障害1 脳血管障害の概要と脳出血について学習する。	宗宮 真
	第3回 脳血管障害2 脳梗塞1 病態と症候を中心に学習する。	宗宮 真
	第4回 脳血管障害3 脳梗塞2 検査と治療を中心に学習する。	宗宮 真
	第5回 脳血管障害4および外傷性疾患 くも膜下出血と頭部外傷について学習する。	宗宮 真
	第6回 神経変性疾患1 認知症疾患について学習する。	宗宮 真
	第7回 神経変性疾患2 大脳基底核障害（錐体外路系疾患）1 パーキンソン病を中心に学習する。	宗宮 真
	第8回 神経変性疾患3 大脳基底核障害（錐体外路系疾患）2 パーキンソン病以外の疾患について学習する。	宗宮 真
	第9回 神経変性疾患4 脊髄小脳変性症について学習する。	宗宮 真
	第10回 神経変性疾患5 運動ニューロン疾患について学習する。	宗宮 真
	第11回 脱髄疾患 多発性硬化症などの脱髄疾患について学習する。	宗宮 真
	第12回 末梢神経障害 ギラン・バレー症候群などの末梢神経障害について学習する。	宗宮 真
	第13回 筋疾患 筋ジストロフィーなどの筋疾患について学習する。	宗宮 真
	第14回 神経筋接合部疾患、機能性疾患 重症筋無力症などの神経筋接合部疾患、てんかんなどの機能性疾患について学習する。	宗宮 真
	第15回 感染性疾患 髄膜炎・脳炎などの感染性疾患について学習する。	宗宮 真
科目の目的	神経内科疾患の病態、症状、検査、診断、治療についての知識を習得する。【倫理観と幅広い教養】【基本的知識と技術】【地域リハビリテーションの理解・問題解決力】【自己研鑽・探求力】	
到達目標	神経内科疾患の病態、症状、検査、診断、治療およびリハビリテーションを行う際の注意点について説明できる。	
関連科目	臓器解剖学、解剖学演習、生理学Ⅰ、生理学Ⅱ、生理学実習、病理学、薬理学、臨床薬学、臨床検査・画像診断学演習、内科学、整形外科学、小児科学、リハビリテーション医学	
成績評価方法・基準	定期試験（筆記試験。90%）、授業中の質問や確認問題への回答（10%）。確認問題については、講義内で解説を行うなど、フィードバックを行う。	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	授業で解説した重要事項について、主に復習を中心とした自己学習を行い、次回授業までに、重要事項については自ら説明できるレベルまで理解しておくこと。1コマあたり1時間（実時間数45分）の授業外学習の時間を確保すること。	
教科書・参考書	教科書： 使用しない。 参考書1：「神経内科学テキスト（改訂第4版）」江藤文夫、飯島節（南江堂） 参考書2：「神経疾患のリハビリテーション（初版）」江藤文夫、和田直樹（南山堂）	
オフィス・アワー	講義終了後または水曜日昼休み（12時10分～50分、場所：6階研究室）。質問の内容により、別に時間を設定する場合がある。	
国家試験出題基準	《専門基礎》－Ⅱ－8－A－a, b, c, d, e, f, g 《専門基礎》－Ⅱ－8－B－a, b, c, d, e, f, g 《専門基礎》－Ⅱ－8－C－a, b, c, d, e, f, g 《専門基礎》－Ⅱ－8－D－a, b, c, d, e, f, g 《専門基礎》－Ⅱ－8－E－a, b, c, d, e, f, g 《専門基礎》－Ⅱ－9－A－a, b, c 《専門基礎》－Ⅱ－9－B－a, b, c	

	《専門基礎》－Ⅱ－9－C－a, b, c 《専門基礎》－Ⅱ－9－D－a, b, c 《専門基礎》－Ⅱ－9－E－a, b, c 《専門基礎》－Ⅱ－12－A－a, b, c, d, e, f 《専門基礎》－Ⅱ－12－B－a, b, c, d, e, f 《専門基礎》－Ⅱ－12－C－a, b, c, d, e, f 《専門基礎》－Ⅱ－12－D－a, b, c, d, e, f 《専門基礎》－Ⅱ－12－E－a, b, c, d, e, f
履修条件・履修上の注意	前回講義の復習に利用する必要があるため、前回の配布資料を持参すること。

講義科目名称： 精神医学

授業コード：

英文科目名称： Psychiatry

対象カリキュラム： 2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	3学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
平尾 良雄			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2021年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		

講義科目名称： 小児科学

授業コード： 4P068

英文科目名称： Pediatrics

対象カリキュラム： 2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
秋元かつみ			

授業形態	講義形式 (15コマ) 講義の前後にプレテスト、ポストテストを施行 講義の最後に問題を1問作成	担当者
授業計画	<p>第1回 小児科学概論 こどもの成長・発達および保健について学ぶ</p> <p>第2回 小児科学概論 (つづき) ・診断と治療の概要 こどもの疾患の診断・治療について学ぶ</p> <p>第3回 新生児・未熟児疾患 一般的な疾患およびリハビリテーションの中核をなす疾患群を学ぶ</p> <p>第4回 先天異常、先天代謝異常 一般的な疾患およびリハビリテーションの中核をなす疾患群を学ぶ 3年生の臨床神経学Ⅱで詳細を学ぶ</p> <p>第5回 神経・筋・骨等疾患 一般的な疾患およびリハビリテーションの中核をなす疾患群を学ぶ 3年生の臨床神経学Ⅱで詳細を学ぶ</p> <p>第6回 循環器疾患 一般的な疾患およびリハビリテーションの中核をなす疾患群を学ぶ</p> <p>第7回 呼吸器疾患 一般的な疾患およびリハビリテーションの中核をなす疾患群を学ぶ</p> <p>第8回 感染症、消化器疾患 小児疾患を系統別に学ぶ</p> <p>第9回 内分泌・代謝疾患 小児疾患を系統別に学ぶ</p> <p>第10回 血液疾患 小児疾患を系統別に学ぶ</p> <p>第11回 免疫・アレルギー疾患、膠原病 小児疾患を系統別に学ぶ)</p> <p>第12回 腎・泌尿器疾患、生殖器疾患、腫瘍性疾患 小児疾患を系統別に学ぶ</p> <p>第13回 心身症、神経症など 小児疾患を系統別に学ぶ</p> <p>第14回 重症心身障害児 眼科・耳鼻科的疾患 特に重症心身障害児に焦点をあてて学ぶ</p> <p>第15回 小児における薬物動態 小児における薬物および投薬に関する重要事項</p>	<p>秋元かつみ</p>
科目の目的	理学療法士として小児の訓練を行う場合、基礎として、小児の生理・病理を理解し、疾患について学び、将来他の医療スタッフと業務の上で協調できる能力をもつことを目的とする。 ディプロマポリシー：【倫理観と幅広い教養】【基本的知識と技術】【地域リハビリテーションの理解・問題解決力】【自己研鑽・探求力】	
到達目標	1) 小児の成長・発達を学び、小児の疾患についても総合的に学ぶ。2) 個々の疾患を覚えるのではなく、各疾患の特異性を平易に理解し学習することを目標とする。3) 患者の問題点について深く考え、医療チームで発言できるスキルを身につける。	
関連科目	解剖学、生理学、人間発達学、内科学、精神医学、看護学	
成績評価方法・基準	定期試験 100%	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	講義資料を前日までに目を通すこと。構内用の分野についてyou tube, Instagram, ブログなどで疾患を持った方とその家族の心情や生活の様子をみておくこと。	
教科書・参考書	教科書 「標準理学療法学・作業療法学小児科学(第4版)」 富田豊編 (医学書院) 参考書 小児科 子どものコモンな徴候・微症状 編集「小児科」編集委員会 小児科9月臨時増刊 vol.62 No.10 2021	
オフィス・アワー	授業の前後10分間	

国家試験出題基準	《専門基礎》Ⅱ-9・10・11
履修条件・履修上の注意	授業開始5分後までは出席扱い。その後は遅刻とします。

講義科目名称： リハビリテーション医学

授業コード： 4P069

英文科目名称： Rehabilitation Medicine

対象カリキュラム： 2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2学年	2単位	必修
担当教員	担当者		
宗宮 真			

授業形態	講義	担当者
授業計画	<p>第1回 リハビリテーション診療の概要 障害学、病期別リハビリテーション、診察、評価、検査、治療について学ぶ。</p> <p>第2回 障害の病態生理と評価・治療（1） 廃用症候群について学ぶ。</p> <p>第3回 障害の病態生理と評価・治療（2） 循環機能障害、呼吸機能障害について学ぶ。</p> <p>第4回 障害の病態生理と評価・治療（3） 運動障害、歩行障害について学ぶ。</p> <p>第5回 障害の病態生理と評価・治療（4） 摂食・嚥下障害について学ぶ。</p> <p>第6回 障害の病態生理と評価・治療（5） 高次脳機能障害について学ぶ。</p> <p>第7回 障害の病態生理と評価・治療（6） 老化による障害（老年症候群）、発達障害について学ぶ。</p> <p>第8回 疾患とリハビリテーション（1） 脳血管障害について学ぶ。</p> <p>第9回 疾患とリハビリテーション（2） 脊髄損傷について学ぶ。</p> <p>第10回 疾患とリハビリテーション（3） 神経筋疾患について学ぶ。</p> <p>第11回 疾患とリハビリテーション（4） 骨関節疾患について学ぶ。</p> <p>第12回 疾患とリハビリテーション（5） 切断と義肢について学ぶ。</p> <p>第13回 疾患とリハビリテーション（6） 呼吸器疾患、循環器疾患について学ぶ。</p> <p>第14回 疾患とリハビリテーション（7） 内部障害、悪性腫瘍について学ぶ。</p> <p>第15回 疾患とリハビリテーション（8） 小児疾患（脳性麻痺など）について学ぶ。</p>	<p>宗宮 真</p>
科目の目的	<p>1. 運動障害、廃用症候群、循環・呼吸機能障害、嚥下障害、高次脳機能障害、老年症候群、発達障害などの病態生理・評価・リハビリテーションの概要や注意点について理解する。</p> <p>2. 脳血管障害、脊髄損傷、神経筋疾患、骨関節疾患、切断と義肢、呼吸器疾患、循環器疾患、内部障害、悪性腫瘍、小児疾患などの疾患の病態とリハビリテーションの概要や注意点について理解する。</p> <p>【倫理観と幅広い教養】【基本的知識と技術】【地域リハビリテーションの理解・問題解決力】 【自己研鑽・探求力】</p>	
到達目標	リハビリテーションの対象となる障害や疾患の病態生理・評価およびリハビリテーションを行う際の注意点について説明できる。	
関連科目	運動器解剖学、臓器解剖学、解剖学演習、生理学Ⅰ、生理学Ⅱ、生理学実習、病理学、薬理学、臨床薬学、臨床検査・画像診断学演習、臨床医学関連領域論、内科学、整形外科学、神経内科学、小児科学	
成績評価方法・基準	定期試験（筆記試験。90%）、授業中の質問や確認問題への回答（10%）。確認問題については、講義内で解説を行うなど、フィードバックを行う。	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	授業で解説した重要事項について、主に復習を中心とした自己学習を行い、次回授業までに、重要事項については自ら説明できるレベルまで理解しておくこと。1コマあたり、4時間（実時間数180分）の授業外学習の時間を確保すること。	
教科書・参考書	教科書：使用しない。 参考書：各授業の際に適宜提示する。	
オフィス・アワー	講義終了後または水曜日昼休み（12時10分～50分、場所：6階研究室）。質問の内容により、別に時間を設定する場合がある。	
国家試験出題基準	<p>《専門基礎》－Ⅱ－3－A－a, b</p> <p>《専門基礎》－Ⅱ－3－B－a, b, c, d, e</p> <p>《専門基礎》－Ⅱ－3－C－a, b, c, d, e, f, g, h, i, j, k, l, m, n, o</p> <p>《専門基礎》－Ⅱ－3－D－a, b</p> <p>《専門基礎》－Ⅱ－3－E</p> <p>《専門基礎》－Ⅱ－3－F－a, b, c</p>	

	《専門基礎》－Ⅱ－3－G－a, b, c, d, e, f, g, h, i, j, k, l 《専門基礎》－Ⅱ－3－H－a, b, c, d, e 《専門基礎》－Ⅱ－8－A－a, b, c, d, e, f, g 《専門基礎》－Ⅱ－8－B－a, b, c, d, e, f, g 《専門基礎》－Ⅱ－8－C－a, b, c, d, e, f, g 《専門基礎》－Ⅱ－8－D－a, b, c, d, e, f, g 《専門基礎》－Ⅱ－8－E－a, b, c, d, e, f, g 《専門基礎》－Ⅱ－9－A－a, b, c 《専門基礎》－Ⅱ－9－B－a, b, c 《専門基礎》－Ⅱ－9－C－a, b, c 《専門基礎》－Ⅱ－9－D－a, b, c 《専門基礎》－Ⅱ－9－E－a, b, c 《専門基礎》－Ⅱ－11－A－a, b, c, d, e, f, g 《専門基礎》－Ⅱ－11－B－a, b, c, d, e, f, g 《専門基礎》－Ⅱ－11－C－a, b, c, d, e, f, g 《専門基礎》－Ⅱ－11－D－a, b, c, d, e, f, g 《専門基礎》－Ⅱ－11－E－a, b, c, d, e, f, g
履修条件・履修上の注意	前回講義の復習に利用する場合がありますため、前回の配布資料を持参すること。

講義科目名称： 救急・免疫・感染症学

授業コード：

英文科目名称： Critical Care Medicine Immunology and Infectiou… 対象カリキュラム： 2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	3学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
高橋 篤			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2021年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		

講義科目名称： 栄養学

授業コード： 4P071

英文科目名称： Nutrition

対象カリキュラム： 2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
後藤 香織			

授業形態	講義	担当者
授業計画	<p>第1回 栄養学の目的 健康と進化と食事 食と私たち これ以上に大事な学問はない 食育の必要性</p> <p>第2回 献立と主食 献立の立て方と主食、糖質について</p> <p>第3回 タンパク質と脂質 たんぱく質と脂質について</p> <p>第4回 ビタミンとミネラル ビタミンとミネラルの詳細</p> <p>第5回 糖質の代謝 これが運動のエネルギー源である だから人間は進化できた</p> <p>第6回 使ったエネルギー量の算出 と摂取エネルギーの計算 エネルギー収支について</p> <p>第7回 時間栄養学とスポーツ栄養学 時間によって変わるエネルギー代謝</p> <p>第8回 まとめ とテスト 1-7回のまとめ</p>	<p>後藤 香織</p>
科目の目的	<p>捕食という行動は全てを中心であることを深く理解し、人が食べるという行為をどれだけ重要に考えなくてはならないかを知り、人体が必要とする栄養素を学ぶ。さらに自身の摂取エネルギーと消費エネルギーから必要な栄養量、栄養素、運動、休養を求め、よりよい健康状態を保つことを身に漬ける方法を学ぶ。国の施策である「食育」が大学生には危機的な状況であることを知り改善する為に、栄養・休養・運動の三要素を含めて解説する。本学のディプロマポリシーに沿い、保健医療専門職としての栄養学の基礎的知識と、社会人としての食に関する教養を身につけ、食に関する多様な情報を適切に分析し、問題解決する方法を理解し、保健医療分野と栄養学との関係を見出し、科学的洞察による的確な判断ができ、先進・高度化する栄養分野の基礎的知識と技術を提供することや、栄養補給に関わるコミュニケーション能力を身につけ、生涯にわたって栄養に関する知識を身に付けて、自身が健康に過ごすことを身に付け、それを社会に貢献させる。【倫理観と幅広い教養】【基本的知識と技術】【地域リハビリテーションの理解・問題解決力】【自己研鑽・探求力】</p>	
到達目標	<p>基礎医学（解剖学、生理学、生化学）に関連した栄養学の基礎を学ぶ。また日々の食品摂取の判断ができるようにする。 栄養素と消化、吸収、代謝に関わる知識の習得、一日の消費カロリーの計算、一日の摂取エネルギーの計算、運動時の代謝、和食の伝統文化、美味しく感じる為の脳科学的方法を身につけます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・栄養学の基礎的知識と教養を身につけている。 ・栄養に関わる多様な情報を適切に分析し、問題解決する方法を理解している。 ・栄養分野の諸課題を見出し、科学的洞察による的確な判断ができる。 ・栄養学分野の基本的技術を提供することができる。 ・NSTを実践するための、コミュニケーション能力を身につけている。 ・生涯にわたって栄養分野を探究し、その発展に貢献する意欲を持っている。 ・人と社会に深い関心を持って、地域の栄養保健医療に寄与できる。 ・人権を尊重し、高い倫理観を持って社会に貢献する姿勢を身につけている。 	
関連科目	①運動器解剖学・臓器解剖学 ②生化学 ③生理学Ⅰ・Ⅱ ④病理学	
成績評価方法・基準	定期試験100%	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	高校の生物学および、解剖学、生理学とを見直しておく。 成分表の後半のページを読んでおく。20分予習する。	
教科書・参考書	<p>教科書：オールガイド食品成分表2022（実教出版） 参考書：新体系看護学 人体の構造と機能2 栄養生化学（メジカルフレンド社） 看護栄養学（医歯薬出版） リハビリテーションに役立つ栄養学の基礎 第2版 栢下淳・若林秀隆 編著（医歯薬出版）</p>	
オフィス・アワー	授業の前夜	
国家試験出題基準	<p><理学療法士> <<専門基礎分野>> I-2-N-a, b, c</p>	
履修条件・履修上の注意		

講義科目名称： 緩和医療学

授業コード：

英文科目名称： Palliative Medicine

対象カリキュラム： 2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	3学年	2単位	必修
担当教員	担当者		
木村 朗			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2021年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		

講義科目名称： リハビリテーション概論

授業コード： 4P073

英文科目名称： Introduction to Rehabilitation

対象カリキュラム： 2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
佐藤 満	村田 和香	白坂 康俊	

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回 イントロダクション リハビリテーションを取り巻く知識の整理 障害学、クライアント中心、健康、生活	村田 和香
	第2回 リハビリテーションの定義の変遷 歴史的変遷、定義と目的	佐藤 満
	第3回 病気と障害 病気とは、障害とは	佐藤 満
	第4回 障害のとらえ方 国際疾病分類（ICD）から国際障害分類（ICDH）、そして国際生活機能分類（ICF）へ	佐藤 満
	第5回 人間の活動と発達 発達とは、ライフサイクル、ノーマライゼーション、発達障害	佐藤 満
	第6回 リハビリテーションの諸領域 医学的・教育・職業・社会的・地域リハビリテーション、地域包括ケアシステム	佐藤 満
	第7回 リハビリテーションの流れと分野1 医療現場におけるリハビリテーション、急性期、回復期、生活期、終末期、理学療法	佐藤 満
	第8回 リハビリテーションの流れと分野2 地域リハビリテーション、保健・介護・福祉分野との連携、生活、作業療法	村田 和香
	第9回 自分らしく生きる 社会参加、社会貢献	村田 和香
	第10回 就労支援 職業的リハビリテーション、障害者雇用	村田 和香
	第11回 人生をまとめる 老年期・終末期 加齢と老化の視点、人生100年時代の課題	村田 和香
	第12回 言語障害・聴覚障害・コミュニケーションの障害	白坂 康俊
	第13回 食の楽しみと摂食・嚥下障害	白坂 康俊
	第14回 リハビリテーションとチーム医療 言語聴覚療法の役割と連携について	白坂 康俊
	第15回 まとめ 社会参加を支援する 社会参加、社会貢献、生活の意味	村田 和香
科目の目的	本講義では、リハビリテーションの理念と原則を踏まえて、医学および社会における包括的なリハビリテーション、ならびに障害学の基本概念を習得することを目標とする。理学療法士・作業療法士として必要な障害学の内容と評価・治療方法の要点、国際生活機能分類（ICF）、リハビリテーションのプロセス、各専門職とリハビリテーションチーム医療のあり方、さらには保健・福祉行政における社会的資源とリハビリテーションの関わり等についての基礎知識を理解する。【倫理観と幅広い教養】【基本的知識と技術】【地域リハビリテーションの理解・問題解決力】【自己研鑽・探求力】	
到達目標	リハビリテーションの基本理念と原則を理解し、障害の概念と分類、リハビリテーションの諸相とその過程、リハビリテーションの進め方、障害と心理、さらにはリハビリテーション障害学の基礎、そして保健医療福祉制度・関係法規とリハビリテーションとの関連について獲得する。具体的には下記の通りである。 ①リハビリテーションの概念および定義を説明することができる。 ②リハビリテーションの歴史を説明することができる。 ③国際生活機能分類（ICF）を説明できる。 ④リハビリテーションの多職種連携の重要性を説明できる。 ⑤理学療法士・作業療法士・言語聴覚士の果たす役割を説明できる。	
関連科目	理学療法概論、チーム医療とリハビリテーション、地域リハビリテーション学	
成績評価方法・基準	定期試験（100％）：到達目標の達成程度を確認する筆記試験を行う。	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	予習は各回の項目について配布資料・その他各種メディアを通じて自分なりの問題意識を抱き、復習は講義内容のレビューを行い疑問点を解消して自分の言葉で平易に正しく説明できるようにすること。 必要な学習時間の目安は概ね30分程度である	
教科書・参考書	教科書：特に定めず、講義資料を活用する。	

	参考書中村隆一編「入門リハビリテーション概論（第7版補訂）」（医歯薬出版） その他講義内容により資料等配布有り。
オフィス・アワー	講義の前後
国家試験出題基準	《専門基礎》Ⅲ - 2-A~E
履修条件・履修上の注意	

講義科目名称： チーム医療とリハビリテーション

授業コード： 4P074

英文科目名称： Team Approach to Health Care and Rehabilitation

対象カリキュラム： 2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
岡崎 大資	浅田・北村	村田・馬場	岡田・神山
	三浦・丹下		

授業形態	講義（3）、演習（5）		担当者
授業計画	<p>第1回 オリエンテーション 総論（講義） チーム・アプローチの必要性、保健医療チームの特徴、チームのタイプ</p> <p>第2回 リハビリテーション・チームの役割（講義） 理学療法士・作業療法士・言語聴覚士の役割</p> <p>第3回 グループ・ワークについて（講義） グループ課題情報共有、グループ分け</p> <p>第4~7回 グループワーク（演習4回） 下記の課題を担当するグループを決定し、グループでの役割分担、情報収集、分析、ディスカッション、発表準備を行う。 課題① 高崎市問屋町を生活圏とするために 課題② 大学生生活を快適にする方法 課題③ リハビリテーションを地域住民に知ってもらうために 課題④ 高齢者のための生活の工夫を考える 課題⑤ リハビリテーションの将来を考える</p> <p>第8回 グループ発表（演習） グループ・ワークの結果をまとめ、その学習成果をポスター等により発表し、ディスカッションを行う。</p>	<p>村田・岡崎・神山</p> <p>岡崎・馬場・神山</p> <p>神山・岡崎・馬場</p> <p>岡崎・浅田・北村・村田・馬場・岡田・神山・三浦・丹下</p> <p>岡崎・浅田・北村・村田・馬場・岡田・神山・三浦・丹下</p>	
科目の目的	リハビリテーション学部のディプロマ・ポリシーで謳われている「多様化する地域社会の諸問題を理解し、多職種と連携してリハビリテーションを実践できる能力」を目指し、リハビリテーション学部の3学科の学生が共に学ぶ機会を得ることにより、お互いを尊重する姿勢を学ぶ。「リハビリテーション概論」の学修に基づき、学科横断的に編成するグループによる課題解決の過程を通して、チームの概念、チームワークの難しさと効果、リーダーシップ、他者理解の上での交流の在り方、組織管理について学修する。【倫理観と幅広い教養】【基本的知識と技術】【地域リハビリテーションの理解・問題解決力】【自己研鑽・探求力】		
到達目標	<p>①チーム医療の意味を説明できる。</p> <p>②リハビリテーション・チームの役割を説明できる。</p> <p>③グループ・ワークに積極的に参加することができる。</p> <p>④他者の意見を聞くこと、自らの意見を話すことができる。</p>		
関連科目	多職種理解と連携、リハビリテーション概論、理学療法概論、地域リハビリテーション学		
成績評価方法・基準	グループ・ワークの発表（50%）およびディスカッションを含めた課題をレポートにまとめる（50%）。 レポートのフィードバックは学科担当教員が行う。		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	講義内容、およびグループでの作業を理解し、積極的にグループ・ワークに参加すること。 準備学習に必要な時間の目安は30分程度である。		
教科書・参考書	特に定めない。		
オフィス・アワー	グループ担当教員が対応。		
国家試験出題基準	（専門基礎）Ⅲ-1-A-d、Ⅲ-2-D-a, b, c, d		
履修条件・履修上の注意			

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
榎本 光邦			

授業形態	講義（14コマ）、演習（1コマ）。講義中、随時10分程度の小演習（個別・グループ）も取り入れる。		担当者
授業計画	第1回	臨床心理学とは何か 臨床心理学とは、心の不健康な人々を健康へと導くために、心理学の理論や知識そして心理学的技法を用いて専門的援助を行う心理学の応用的な一分野である。本講義では、臨床心理学の歴史や構造について学ぶ。	榎本光邦
	第2回	無意識の心理学（1）精神分析 精神分析とは、オーストリアの神経学者フロイトによって創始された人間の心を研究する方法であり、理論であり、精神疾患や不適応の治療法である。本講義では、心理療法としての精神分析を中心に、その基本概念について学習する。 key words：意識、前意識、無意識、エス（イド）、自我、超自我、エディプス・コンプレックス	榎本光邦
	第3回	無意識の心理学（2）分析心理学 分析心理学はスイスの精神医学者カール・グスタフ・ユングによって創始された心理学・心理療法であり、一般にユング心理学として知られている。ユングは当初フロイトから強い影響を受けたが、その理論の違いからフロイトと決別することになる。本講義では、フロイトの理論との比較を通してユングの理論について理解を深める。 key words：個人的無意識、普遍的無意識、元型、症状の持つ意味、夢分析	榎本光邦
	第4回	クライエント中心療法 カール・ロジャースは20世紀アメリカを代表する心理学者の1人である。ロジャースは人間の本質を善ととらえる人間観に基づき、人間の成長力、主体性を重視し、心理療法を「クライエント中心」に進めていくという大きな変革をもたらした。本講義ではロジャースの生涯をたどり、その理論の変遷について理解する。 key words：クライエント中心療法、パーソン・センタード、静かなる革命、受容、共感、自己一致、建設的なパーソナリティ変化が生じるための必要かつ十分な条件	榎本光邦
	第5回	臨床心理アセスメント（1） 臨床心理アセスメントは、対象となる事例の心理的側面に関する情報（データ）を収集し、その情報を統合し、事例の心理的問題についての総合的な査定を行う作業である。臨床心理アセスメントが精神医学的診断と同一のものとして混同されることがあるが、本質的には臨床心理アセスメントは精神医学的診断とは異なる特徴を持っている。本講義では、臨床心理アセスメントの技法について学び、精神医学的診断との違いについて理解を深める。 key words：面接法、観察法、検査法	榎本光邦
	第6回	こころの問題を理解する（1）「不安症／不安障害（神経症）」 不安症／不安障害（神経症）は主に心理的原因によって生じる心身の機能障害の総称であり、精神病とは異なる。本講義では不安症の種類や支援の方法について学び、理解を深める。 key words：分離不安症、選択制緘黙、限局性恐怖症、社交不安症、パニック症、広場恐怖症、全般不安症	榎本光邦
	第7回	こころの問題を理解する（2）「身体症状症と解離性同一症／解離性同一性障害」 神経症（ノイローゼ）の一類型として扱われていた「ヒステリー」は、DSM-III以降、ヒステリー概念が排除されたために、「転換ヒステリー」が「身体表現性障害」に、「解離性ヒステリー」は「解離性障害」として改められた。更に、DSM-5では「身体表現性障害」は「身体症状症」に、「解離性障害」は「解離症」に改められた。本講義では両者の下位分類や支援の方法について学び、理解を深める。 key words：身体症状症、転換性障害、病気不安症、解離性健忘、解離性同一症、離人感・現実感消失症	榎本光邦
	第8回	こころの問題を理解する（3）「摂食障害」 摂食障害は、極端な食事制限や大量の食糧摂取と排出行為など、摂食の問題が含まれる精神疾患であり、1980年代にDSMに登場して以降、先進国を中心に増加している。その背景として、やせを礼賛し体重増加を恐れる文化の影響や母子関係のつまづき等が考えられる。本講義では摂食障害の種類と支援の方法について学び、理解を深める。 key words：神経性やせ症／神経性無職欲症、神経性過食症／神経性大食症	榎本光邦

	<p>第9回 こころの問題を理解する(4)「性障害・性別違和」 性に関する問題は周辺のテーマであると考えられがちで、教科書や講義で取り上げられることはあまりない。そのため、訓練を受けた専門家でも、性の問題に関する知識を十分に持っていない場合がしばしばある。しかし、その一方で性とは、人間のアイデンティティの根幹にあってQOLに重大な影響を及ぼす事柄であり、臨床心理学でも大事なテーマになる。本講義ではDSM-5に記載されている3つの障害について理解を深め、その支援の方法について検討を行う。 key words: 性機能不全, パラフィリア(性嗜好異常), 性別違和</p> <p>第10回 こころの問題を理解する(5)「パーソナリティ障害」 パーソナリティ障害とは、思考・感情・行動などのパターンが平均から著しく逸脱し、社会生活や職業生活に支障をきたしている状態を指し、正常な状態とは言えないが病気であるとも言えない状態である。本講義ではパーソナリティ障害の分類と支援の方法について学び、理解を深める。 key words: 猜疑性/妄想性パーソナリティ障害, シゾイド/スキゾイドパーソナリティ障害, 統合失調型パーソナリティ障害, 境界性パーソナリティ障害, 演技性パーソナリティ障害, 自己愛性パーソナリティ障害, 反社会性パーソナリティ障害, 回避性パーソナリティ障害, 依存性パーソナリティ障害, 強迫性パーソナリティ障害</p> <p>第11回 こころの問題を理解する(6)「気分障害」 人は誰でも気分の浮き沈みを経験するが、うつ病や双極性障害においては、その浮き沈みの程度や期間が著しく、睡眠障害などの身体症状も現れる。本講義ではうつ病・双極性障害の違いとその支援方法について学び、理解を深める。 なお、本講義は初級障がい者スポーツ指導員の基準カリキュラム「各障がいの理解(精神障がい)」に該当する(講義時間は1.5時間) key words: 双極Ⅰ型障害, 双極Ⅱ型障害, うつ病/大うつ病性障害</p> <p>第12回 こころの問題を理解する(7)「統合失調症」 統合失調症は、幻覚や妄想という症状が特徴的な精神疾患である。それに伴って、人々と交流しながら家庭や社会で生活を営む機能が障害を受け(生活の障害)、「感覚・思考・行動が病気のために歪んでいる」ことを自分で振り返って考えることが難しくなりやすい(病識の障害)という特徴を併せもっている。本講義では統合失調症の類型と支援の方法について学び、理解を深める。 なお、本講義は初級障がい者スポーツ指導員の基準カリキュラム「各障がいの理解(精神障がい)」に該当する(講義時間は1.5時間) key words: 緊張型, 解体(破瓜)型, 妄想型</p> <p>第13回 臨床心理アセスメント(2) 質問紙法 質問紙法は、印刷された質問文、またはウェブサイト上の質問文に対して、いくつかの選択肢からあてはまるものを回答する臨床心理アセスメントのための道具である。本講義では、POMS2日本語版を体験し、自分のおかれた条件の下で変化する一時的な気分・感情を測定する。 key words: 質問紙法, POMS2</p> <p>第14回 臨床心理アセスメント(3) 描画法演習 様々な対象を指定して画用紙に絵を描かせる心理検査を「描画法」と総称している。画用紙という環境にいかにか自己表現するかによって、被検査者のパーソナリティの構造や動き具合を測定しようとする検査である。本講義では風景構成法を体験し、その理論や臨床への適応について学ぶ。 key words: 描画法, 風景構成法</p> <p>第15回 総括 これまでの講義を通して学んだ知識や身に着けた技法について振り返り、自らの専門にどのように活かしていくかを検討する。</p>	榎本光邦
<p>科目の目的</p>	<p>臨床心理学とは、心の不健康な人々を健康へと導くために、心理学の理論や知識そして心理学的技法を用いて専門的援助を行う心理学の応用的な一分野である。本講義では、臨床心理学の基礎について理解し、保健医療領域におけるサービスに必要な知識と基礎的な技術を習得する。 なお、第11・12回目の講義は初級障がい者スポーツ指導員の基準カリキュラム「各障がいの理解(精神障がい)」に該当する(講義実施時間は合計3.0時間)。</p> <p>ディプロマポリシー:【倫理観と幅広い教養】【基本的知識と技術】【地域リハビリテーションの理解・問題解決力】【自己研鑽・探求力】</p>	
<p>到達目標</p>	<p>1. 臨床心理学が扱う心の問題と心の正常な機能および問題を軽減して正常化を図る方法としての心理療法の正しい知識を身につけることを通して、人間への深い理解を形成することができる。 2. 人間への深みのある理解を通して、自己理解、他者理解、人間社会の理解を自分の言葉で表現できるようになる。 3. 保健医療領域におけるサービスに必要な知識と基礎的な技術を習得し、対人支援に活用することができる。 4. 看護場面・治療場面における患者の心理と患者とのコミュニケーションの方法について理解を深め、患者と良好な関係を築けるようになる。</p>	
<p>関連科目</p>	<p>【教養・共通基盤科目群】心理学, 教育学, 教育心理学, 生命倫理, 哲学, 人間と宗教, 社会学, 生活文化と医療, 大学の学び入門, 大学の学びー専門への誘いー, 多職種理解と連携 【専門基礎科目群】生理学Ⅰ・Ⅱ, 発達心理学, 公衆衛生学, 保健統計, カウンセリング 【専門科目群】全科目</p>	
<p>成績評価方法・基準</p>	<p>定期試験(レポート形式・50%)に、毎回の受講後に作成する小レポートの評価(50%)を加味して評価する。小レポートの内容に対するフィードバックは次回の講義の冒頭に行う。</p>	

準備学習の内容・ 準備学習に必要な 学習時間の目安	準備学習の内容については前回の講義時に指示をする。各単元について、1時間程度の予習・復習を行うことを目安とする。 講義資料は、概ね講義の1週間前までにActive Academyにて配布するので、各自ダウンロードし、講義の際はプリントアウトして手元に用意しておくこと。
教科書・参考書	【教科書】 下山晴彦編著（2009）「よくわかる臨床心理学」 ミネルヴァ書房 山祐嗣・山口素子・小林知博編著（2009）「基礎から学ぶ心理学・臨床心理学」 北大路書房 ※ 1年次必修科目「心理学」の教科書
オフィス・アワー	月・水・木・金の昼休み（1号館3階305研究室）
国家試験出題基準	《専門基礎》 II-4-A-a, b, c II-4-B-a, b, c II-4-C II-4-D
履修条件・履修上の注意	講義中の私語、スマートフォン・携帯電話の使用、講義と関係のない作業（他の科目の学習等）は禁止します。注意しても止めない場合や、それらの行為が頻回に見られる場合は退室を命じ、その回の講義の出席を認めない場合もあります。

講義科目名称： 安全管理

授業コード：

英文科目名称： Security Management

対象カリキュラム： 2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	4学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
高橋 篤			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2021年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		

講義科目名称： 医療統計学

授業コード： 4P077

英文科目名称： Medical Statistics

対象カリキュラム： 2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
木村 朗			

授業形態	講義1-15コマと演習1-15コマ すべて講義と演習の併用		担当者
授業計画	第1回	統計学の基礎と医療統計 日常生活と医療における統計を基に確率と統計を考える（次回の事前学習用課題呈示）	木村 朗
	第2回	1次元のデータ、数理統計基礎1 代表値	木村 朗
	第3回	2次元のデータ、数理統計基礎2 散布図 相関係数 直線のあてはめ	木村 朗
	第4回	確率、数理統計基礎3 ランダムネス 確率の定義	木村 朗
	第5回	確率変数、数理統計基礎4 確率分布	木村 朗
	第6回	確率分布1、数理統計基礎5 二項分布 正規分布 ほか	木村 朗
	第7回	確率分布2、数理統計基礎6 指数分布	木村 朗
	第8回	多次元の確率分布 同時確率分布 統計学入門1	木村 朗
	第9回	大数の法則と中心極限定理 大数の法則と中心極限定理の応用 統計学入門2	木村 朗
	第10回	標本分布 母集団と標本 母数 統計学入門3	木村 朗
	第11回	正規分布からの標本 標本分散の標本分布 統計学入門4	木村 朗
	第12回	推定 標本と母平均に基づく母分散の求め方による区間推定 統計学入門5	木村 朗
	第13回	仮説検定 検定の考え方 統計学入門6	木村 朗
	第14回	回帰分析 回帰分析 回帰係数の推定 統計学入門7	木村 朗
	第15回	医療統計入門 Rを用いた重回帰およびロジスティック回帰分析の演習 PCを用いた演習	木村 朗
科目の目的	医療に携わる者として、大学教養レベルの統計学の基本的な知識を身につけ、医療に関連する課題に対する正しい統計手法の適応について理解し、生涯にわたり医療における不確実な課題に統計学を応用できる態度を滋養すること。 DP1～4に則した知識・理解に関して医療統計学の基本を学び「多様な情報を適切に分析し、問題解決する方法を理解している」ようになるための知識と能力を身につけること。 【倫理観と幅広い教養】【基本的知識と技術】【地域リハビリテーションの理解・問題解決力】 【自己研鑽・探求力】		
到達目標	1. 学生は数の概念を説明できるようになること。 2. 学生はヒストグラムの概念と線形代数を応用することで、高校数学とは一線を画す確率を用いた現象の見方について説明できるようになること。 3. 学生は医療の課題で用いられる代表値と記述統計について統計検定2級程度の問題が解けるようになること。リハ学部カリキュラムポリシー3・4PT学科1～4に含まれる学修であることを理解する。 4. 学生は確率密度関数、確率分布の説明ができるようになること。 5. 学生は分散分析、点推定、区間推定、検定について医療研究において頻出する例を挙げることができるようになること。 6. 学生は統計ソフトウェアRの基本的な操作をアシスタントツールを用いて操作できるようになること。		
関連科目	情報処理・情報リテラシー、数学、公衆衛生学		
成績評価方法・基準	期末時筆記テスト80%、小テスト20%		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	Web上のkimuakilab.main.jpに掲示された事前学習ストーリーミング動画を視聴し、初めて聞く単語について、書き出し、ネット等で可能な範囲で内容を理解できるようにしておくこと。予習にかかる目安の時間は微積・統計を高校で履修した者は予習30分、履修していない者は90分程度、授業中にPC操作が完了した者の復習目安時間は30分、それ以上かかった者は本人の能力に応じて60分から120		

	分。
教科書・参考書	教科書：基礎統計学1 統計学入門 東京大学出版会. 参考サイト：kimuakilabo 学部学生向け、統計学習コーナー
オフィス・アワー	火or水12:10~12:50(木村研究室)
国家試験出題基準	社会医学1-C-a, b、1-D- b、医療安全管理学-1-A-a, bおよびB-a, b, 医用画像情報学1-A-a
履修条件・履修上の注意	特になし

講義科目名称： 社会福祉・地域サービス論

授業コード： 4P078

英文科目名称： Social Welfare and Community Services

対象カリキュラム： 2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
金谷 春代			

授業形態	講義	担当者
授業計画	<p>第1回 初回授業のため、自己紹介、授業目的、今後の授業の進め方、テキスト説明などのオリエンテーション</p> <p>第2回 社会福祉とは テキストP2からP11まで</p> <p>第3回 日本の社会福祉の歴史 テキストP12からP25まで</p> <p>第4回 社会保障制度と社会福祉を展開する組織 テキストP26からP39まで</p> <p>第5回 子ども福祉 テキストP41からP55まで</p> <p>第6回 障害者福祉 テキストP57からP71まで</p> <p>第7回 高齢者福祉 テキストP73からP84まで</p> <p>第8回 介護保険制度と専門職の役割：チームアプローチの必要性 テキストP86からP102まで</p> <p>第9回 低所得者福祉 テキストP103からP116まで</p> <p>第10回 地域福祉とその推進方法 テキストP117からP129まで</p> <p>第11回 医療福祉・精神保健福祉 テキストP133からP146まで</p> <p>第12回 社会福祉の役割・社会福祉を担う人々 テキストP160からP180まで</p> <p>第13回 相談援助の目的と方法 テキストP181からP188まで</p> <p>第14回 医療ソーシャルワーカーと多職種連携 テキストP194からP201まで</p> <p>第15回 社会福祉を巡る課題とコメディカルに期待される役割・まとめ テキストP202からP207まで</p>	<p>金谷 春代</p> <p>金谷 春代</p> <p>金谷 春代</p> <p>金谷 春代</p> <p>坂井 勉</p> <p>魚屋 真佐江</p> <p>魚屋 真佐江</p> <p>魚屋 真佐江</p> <p>坂井 勉</p> <p>坂井 勉</p> <p>魚屋 真佐江</p> <p>坂井 勉</p> <p>坂井 勉</p> <p>魚屋 真佐江</p> <p>金谷 春代</p>
科目の目的	社会福祉的考え方の重要性、人を相手とする職業で必要な人権や権利擁護意識、在宅生活を支える地域包括ケアシステム制度や社会保障制度の理解、地域連携・多職種連携など「連携」の意義について学ぶ。【倫理観と幅広い教養】【基本的知識と技術】【地域リハビリテーションの理解・問題解決力】【自己研鑽・探求力】	
到達目標	1. 社会福祉全般について理解すること。 2. 人を支援するプロフェッショナルになる自覚を促す。	
関連科目	なし	
成績評価方法・基準	全講義終了後の筆記試験のみ（100%）	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	事前に次回講義部分を熟読しておくこと。 1コマ約1時間	
教科書・参考書	教科書：「コメディカルのための社会福祉概論第4版（講談社出版）」ISBN978-4-06-514046-8 参考書：随時配付	
オフィス・アワー	講義終了後	
国家試験出題基準	《専門基礎》-Ⅲ-1-C-a, b, c、D-a, b, c	
履修条件・履修上の注意		

講義科目名称： 理学療法概論

授業コード： 4P079

英文科目名称： Introduction to Physiotherapy

対象カリキュラム： 2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
木村 朗	木村 朗		

授業形態	講義14コマ・学外実習（施設見学）1コマ		担当者
授業計画	第1回	オリエンテーション・イントロ 講義概要の説明・理学療法を知ったきっかけを話題としたグループワーク（GW）	木村 朗
	第2回	理学療法とは1 「理学療法・士とは何か」理学療法の定義と歴史、ルーツの解説 「治らないものを治すとは？」	木村 朗
	第3回	理学療法とは2 理学療法の役割と職域、「理学療法に求められていることは何か」身近な話題からGW	木村 朗
	第4回	理学療法とは3 理学療法の対象の理解・身体の不自由な人は、どのように社会と歴史を生きてきたか（小説やドキュメンタリー、映画から感じる障害と考える障害を知る）	木村 朗
	第5回	理学療法とは4 「障害とは」（社会の中の理学療法、リハビリテーションの中での理学療法の位置づけ）	木村 朗
	第6回	理学療法と社会の関わり 各種理学療法技術の歴史・理学療法を作ってきた人々1・世界の理学療法1 GW	木村 朗
	第7回	理学療法技術の歩み1 理学療法を作ってきた人々2・世界の理学療法2 GW	木村 朗
	第8回	理学療法技術の歩み2 関連職種の法律と理学療法士法（医師法・保助看法・理学療法士及び作業療法士法）・公衆衛生と理学療法	木村 朗
	第9回	理学療法と法律 理学療法の法規 理学療法の実際（関連施設、学内の理学療法士と語る）	木村 朗
	第10回	理学療法と管理・チームワーク 理学療法士に求められる倫理観（劇画、映像等）を基に語るGW	木村 朗
	第11回	理学療法士のルーツ1 理学療法（学）の歩み、理学療法学徒として知っておくべき治療家の資料を収集しディスカッションを行う。	木村 朗
	第12回	理学療法士のルーツ2 理学療法（学）の歩み、理学療法学徒として知っておくべき治療家の資料を収集しディスカッションを行う。	木村 朗
	第13回	理学療法士のルーツ3 理学療法（学）の歩み、理学療法学徒として知っておくべき治療家の資料を収集しディスカッションを行う。	木村 朗
	第14回	理学療法士のルーツ4 理学療法（学）の歩み、理学療法学徒として知っておくべき治療家の資料を収集しディスカッションを行う。	木村 朗
	第15回	理学療法の実際を知る 施設見学の実施 見学を通して感じたこと、考えたことを授業の最初に考えたことと比べ、報告する	木村 朗
科目の目的	理学療法士を目指す学生にとって、理学療法を俯瞰し、現在、過去未来の我が国の理学療法像のみならず、世界の理学療法を理解することで、生涯にわたり障害のもつ人の課題に取り組む態度を滋養すること。 DPの目的に関して、保健医療専門職としての基礎的知識と、社会人としての教養を身につけること、先進・高度化する専門分野の基本的技術を提供することのための基本的な姿勢を身につけること。【倫理観と幅広い教養】【基本的知識と技術】【地域リハビリテーションの理解・問題解決力】【自己研鑽・探求力】を滋養する。		
到達目標	1. 学生は理学療法の定義、対象、業務、歴史、保健医療福祉と社会的役割の点から理学療法を説明できるようになること。 2. 学生は理学療法技術の構成要素が言えるようになること。 3. 学生は今後の学習に必要な学習内容を説明できるようになること。 4. 学生はグループワークの中で自分の役割を果たし、かつ意見交換の記録を報告することができる		

	<p>ようになること。 学部カリキュラムポリシー1.2. PT学科ポリシー1.2. に含まれる学修であることを理解する。</p>
関連科目	リハビリテーション概論、理学療法診断学、基礎理学療法診断学演習、日常生活活動学ほか
成績評価方法・基準	ジャーナル（毎回の講義の振り返り）の提出（50%）、プレゼンテーション（25%）、小テスト（約25%）
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	各講義題目内容に対し、教科書・参考書の該当部分を読み、理解しづらい単語や概念をノートに記載し、調べておくこと。約90分。
教科書・参考書	教科書：理学療法概論テキスト（第3版） 細田多穂他 南江堂 参考書：理学療法のルーツ 武富由雄 共同医書出版
オフィス・アワー	火or水12:10～12:50(木村研究室)
国家試験出題基準	<p><専門> I-1-A-a I-1-B-a～d I-1-C-a～c I-1-D-a, b I-1-E, I-1-G I-1-H-a I-1-I-a～f I-2-A～F I-2-G - a～c</p>
履修条件・履修上の注意	特になし

講義科目名称： 障害と理学療法

授業コード： 4P080

英文科目名称： Disability and Physiotherapy

対象カリキュラム： 2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
佐藤 満			

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回 疾病の帰結として見た障害・健康の構成要素から見た障害 障害の多面的なとらえ方を理学療法の観点から理解する	佐藤 満
	第2回 医学モデルと社会モデル 個人の問題としての障害と社会の問題としての障害の観点を理解する	佐藤 満
	第3回 身体構造に関する生活機能と障害 生活機能としての身体構造を理学療法の観点から理解する	佐藤 満
	第4回 心身機能に関する生活機能と障害 生活機能としての心身機能を理学療法の観点から理解する	佐藤 満
	第5回 活動に関する生活機能と障害 生活機能としての活動を理学療法の観点から理解する	佐藤 満
	第6回 参加に関する生活機能と障害 生活機能としての参加を理学療法の観点から理解する	佐藤 満
	第7回 環境因子と生活機能および障害 生活機能の背景因子としての環境を理学療法の観点から理解する	佐藤 満
	第8回 個人因子と生活機能および障害 生活機能の背景因子としての個人的因子を理学療法の観点から理解する	佐藤 満
	第9回 ICFを用いた理学療法評価と課題設定 ICFコアセットの概念と理学療法の観点から見た活用方法を理解する	佐藤 満
	第10回 身体構造と生活機能分類 身体構造に関する生活機能分類の構成を理学療法の観点から理解する	佐藤 満
	第11回 心身機能と生活機能分類 心身機能に関する生活機能分類の構成を理学療法の観点から理解する	佐藤 満
	第12回 活動と生活機能分類 活動に関する生活機能分類の構成を理学療法の観点から理解する	佐藤 満
	第13回 参加と生活機能分類 参加に関する生活機能分類の構成を理学療法の観点から理解する	佐藤 満
	第14回 環境因子と生活機能分類 環境に関する生活機能分類の構成を理学療法の観点から理解する	佐藤 満
	第15回 小児・高齢者にとっての生活機能 多様な年代における生活機能のとらえ方を理学療法の観点から理解する	佐藤 満
科目の目的	「障がい」の概念をICF（国際生活機能分類）で理解する 機能の障がいの三領域（運動器障害・神経系障害・循環器系障害）の病態を理解する 【倫理観と幅広い教養】【基本的知識と技術】【地域リハビリテーションの理解・問題解決力】 【自己研鑽・探求力】	
到達目標	ICFの概念図を書いてそれぞれの因子と関係性を説明できる 機能障害の病態とそれに対応する理学療法について説明できる	
関連科目	基礎となる科目・・・理学療法概論 将来繋がる科目・・・全ての専門科目	
成績評価方法・基準	提出課題40%＋試験60%	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	ICFテキストの各回該当部分の予習と復習（90分程度） 講義資料の各回該当部分の予習と復習（90分程度）	
教科書・参考書	教科書；障害者福祉研究会（編集）：ICF国際生活機能分類－国際障害分類改訂版．中央法規出版	
オフィス・アワー	講義の前後	
国家試験出題基準	《専門》－I-1-A-a 《専門》－I-1-B-a～d 《専門》－I-1-C-a～c 《専門》－I-1-D-a, b 《専門》－I-1-E, 《専門》－I-3-A-a 《専門》－I-3-B-a～c 《専門》－I-3-C-a～d 《専門》－I-3-D-a～d	
履修条件・履修上の注意	前半は社会科学・後半は自然科学の授業で広範囲な内容なので、予習と復習を十分に確保すること	



講義科目名称： 理学療法総合演習

授業コード：

英文科目名称： General Practice of Physiotherapy

対象カリキュラム： 2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	4学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
目黒 力			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2021年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
実務経験のある教員による授業		
実務経験	目黒 力（理学療法士）	
授業の概要	これまでの学習した理学療法の対象、評価法、介入法について、総合臨床実習Ⅰ及びⅡでの経験を基に、今後職業として実践する理学療法について整理・統合するとともに、専門職としての理学療法のある方、理学療法研究の意味を確認する。	

講義科目名称： 理学療法研究論

授業コード：

英文科目名称： Physiotherapy Research

対象カリキュラム： 2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	3学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
木村 朗			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2021年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		

講義科目名称： 障害者スポーツ・レクリエーション論

授業コード： 4P083

英文科目名称： Adapted Sports and Recreation Therapy

対象カリキュラム： 2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
城下 貴司			

授業形態	講義（7コマ）、講義と実技（3コマ）、実技（5コマ）		担当者
授業計画	第1回	オリエンテーション、概論：障がい者スポーツとは（講義） 授業の紹介	城下
	第2回	概論：障がい者スポーツとは（講義）	城下
	第3回	障がい者スポーツに関する諸施策（講義） 関連法律、障害者手帳とその判定などの福祉制度と障がい者スポーツの位置づけ（障がい者スポーツに関する施策）とそれに関わる施策の動向について学ぶ。	城下
	第4回	障がい者スポーツの意義と理念（講義） 障がい者スポーツの定義や社会的役割を学ぶ上で、障がい者にとってのスポーツの意義と理念を理解する。	城下
	第5～7回	各障がいの理解（講義および実技） 各障がいの主な特性や、実際のスポーツ活動場面で活かせる各障がいに関する知識と指導上の配慮点を身につける。	城下
	第8回	障がい者スポーツ推進の取り組み 障がい者スポーツ指導者制度を紹介し、資格を取得した後に、地域で行われている教室や大会等へ積極的に関わられるように、地域の障がい者スポーツ振興の現状について学ぶ。	城下
	第9回	全国障害者スポーツ大会概要 全国障害者スポーツ大会の基本理念など大会の概要及び大会開催の目的や意義について学び、大会がスポーツ未経験者や初心者のスポーツ参加の動機づけになっていること、地域のスポーツ振興を進める契機となっていることを学ぶ。	城下
	第10回	スポーツのインテグリティと指導者に求められる資質 ボランティアとは、その魅力、心得について学ぶ→障害者スポーツ指導者制度を紹介する	城下
	第11, 12回	障がいに応じたスポーツの工夫（実技） 障害に応じたスポーツの工夫を考え実技をする 例）車椅子に乗車してのボールパスなど	城下
	第13～15回	障がい者との交流（実技） シドニーパラリンピック銅メダリスト塚本京子さん（予定）及び障がい者を招致の交流をする	
科目の目的	「障害のない人はスポーツをした方がよいが、障害がある人はスポーツをしなければならない」というHeinz Freiの言葉からも障害者にとってスポーツは必修である、その障がい者のためのスポーツを理学療法の立場から、その基地知識を学ぶ。 *ディプロマ・ポリシー：【倫理観と幅広い教養】【基本的知識と技術】【地域リハビリテーションの理解・問題解決力】【自己研鑽・探求力】		
到達目標	各々の障害レベルに合わせたスポーツ指導を体験する		
関連科目	【教養科目群】心理学、生命倫理、大学の学び入門 【専門基礎科目群】生理学Ⅰ・Ⅱ、人間発達学、神経内科学、小児神経学、精神医学、小児科学、リハビリテーション医学、リハビリテーション関連領域論、臨床心理学、安全管理、 【専門科目群】地域ボランティア活動論、運動機能系理学療法診断学演習、神経機能系理学療法診断学演習、内部機能系理学療法診断学演習、運動機能系理学療法治療学演習、脊髄疾患理学療法学演習 神経機能系理学療法治療学演習Ⅰ、神経機能系理学療法治療学演習Ⅱ、内部機能系理学療法評価治療学演習、発達支援理学療法学、作業療法理論		
成績評価方法・基準	課題レポート100%		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	積極的に障がい者スポーツのボランティアに参加すること		
教科書・参考書	参考書：障害者スポーツ指導教本 初級・中級 新刊 株式会社ぎょうせい 参考書：全国障害者スポーツ大会競技規則集（解説付）公益財団法人日本障がい者スポーツ協会		

オフィス・アワー	水曜日：12：10～13：00
国家試験出題基準	特になし
履修条件・履修上の注意	<p>ボランティア体験をレポートとするため、ボランティアに参加する意思がないものは絶対に履修しないこと。 実技がある動きやすい服装で望むこと。 下記単位を取得し、かつ授業を全て出席した場合、「公益財団法人日本障がい者スポーツ協会」に「障がい者スポーツ指導員初級」を申請、登録費用を納めることにより資格取得が可能となる。</p> <p>≪取得要件科目≫ 科目名，開講学年・学期，必修・選択 「障害者スポーツ・レクリエーション論」，1学年・前期，選択 「臨床心理学」，1学年・後期，必修 「安全管理」，4学年・後期，必修</p>

講義科目名称： 生体計測工学

授業コード：

英文科目名称： Biomeasurement Engineering

対象カリキュラム： 2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	3学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
目黒 力			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2021年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		

講義科目名称： 支援工学

授業コード：

英文科目名称： Wellbeing Science and Assistive Technology

対象カリキュラム： 2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	3学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
目黒 力			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2021年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		

講義科目名称： 国際理学療法学

授業コード： 4P086

英文科目名称： International Physiotherapy

対象カリキュラム： 2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
高橋 正明	橋口 優	木村 朗	佐藤 満

授業形態	講義 1 回 演習 7 回		担当者
授業計画	第 1 回	ガイダンス 海外研修の意義と目的 わが国の理学療法の歴史と英語との関係	高橋正明
	第 2 回	英語の発音矯正	高橋正明
	第 3 回	英語文章の音読練習	高橋正明 橋口 優
	第 4 回	英語を読み、英語で考え、理解する	高橋正明
	第 5 回	英語でWHOや諸外国の理学療法の定義を学ぶ	高橋正明
	第 6 回	英語で基本的な運動器の名称を覚える	橋口 優
	第 7 回	英語で運動療法の専門用語を学ぶ	高橋正明
	第 8 回	英語でプレゼンにチャレンジ	高橋正明 橋口 優 木村 朗 佐藤 満
科目の目的	大学の一つの目的「国際社会へ貢献できる人材育成」に基づき、豊かな人間性と幅広い教養、国際的諸問題の分析視点、国際レベルの専門知識と他言語でのコミュニケーション能力等の向上に資するために海外研修プログラムが組まれている。通訳無しで現地の学生や教師と直接交流するプログラムの場合は、たとえ片言の英語でも専門用語を使ってコミュニケーションを図ることが肝心で、それを実現するために科目「国際理学療法」を設けた。		
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 英語の発音で簡単な文章を音読できる。 2. 理学療法の基本的な専門用語を英語で言うことができる。 3. 英語で話しかけることができる。 4. 理学療法士にとって英語が重要であることを説明できる。 		
関連科目	それまでに学んだ専門科目		
成績評価方法・基準	英語でのプレゼンを4名の教員で評価する		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	予習、復習を合わせて90分		
教科書・参考書	プリントを適宜配付する		
オフィス・アワー	開講日の昼休み		
国家試験出題基準	国家試験の対象外		
履修条件・履修上の注意	英語の音読は何度も繰り返して慣れることが必要		

講義科目名称： 事例研究法

授業コード：

英文科目名称： Case Study Methods

対象カリキュラム： 2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	3学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
村田 和香			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2021年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		

講義科目名称： 卒業研究

授業コード：

英文科目名称： Graduation Studies

対象カリキュラム： 2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	4学年	2単位	選択
担当教員	担当者		
木村 朗			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2021年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
実務経験のある教員による授業		
実務経験	木村 朗（理学療法士）	
授業の概要	卒業後、自ら研究する姿勢と能力を養うことを目的に、専門科目担当教員の指導の下、テーマを定めて研究に取り組む。具体的には、研究の必要性の理解、研究課題の設定、文献検索、具体的研究テーマと目的の設定、研究方法の選択（実験研究、臨床研究）、倫理的配慮、研究計画書の作成、データの収集・集計・分析・考察、論文作成して発表する。	

講義科目名称： 理学療法管理学

授業コード：

英文科目名称： Physiotherapy Management

対象カリキュラム： 2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	3学年	2単位	必修
担当教員	担当者		
岡崎 大資			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2021年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		

講義科目名称： 理学療法診断学

授業コード： 4P090

英文科目名称： Physiotherapy Diagnostics

対象カリキュラム： 2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
加茂 智彦	黒川 望	橋口 優	

授業形態	講義4回、演習11回	担当者
授業計画	<p>第1回 【講義】 理学療法診断の概念・目的</p> <p>第2回 【講義】 理学療法における診断の種類（時期と対象）、問題解決のための評価過程 講義</p> <p>第3回 【講義】 一般的評価項目</p> <p>第4回 【講義】 意識障害</p> <p>第5回 【演習】 四肢長周径および関節可動域測定 関節可動域測定（上肢・頸部）1</p> <p>第6回 【演習】 四肢長周径および関節可動域測定 関節可動域測定（上肢・頸部）2</p> <p>第7回 【演習】 四肢長周径および関節可動域測定 関節可動域測定（上肢・頸部）3</p> <p>第8回 【演習】 四肢長周径および関節可動域測定 関節可動域測定（上肢・頸部）4</p> <p>第9回 【演習】 四肢長周径および関節可動域測定 関節可動域測定（上肢・頸部）5</p> <p>第10回 【演習】 四肢長周径および関節可動域測定</p> <p>第11回 【演習】 四肢長周径および関節可動域測定 関節可動域測定（下肢・胸腰部）1</p> <p>第12回 【演習】 四肢長周径および関節可動域測定 関節可動域測定（下肢・胸腰部）2</p> <p>第13回 【演習】 四肢長周径および関節可動域測定 関節可動域測定（下肢・胸腰部）3</p> <p>第14回 【演習】 四肢長周径および関節可動域測定 関節可動域測定（下肢・胸腰部）4</p> <p>第15回 【演習】 四肢長周径および関節可動域測定 関節可動域測定（下肢・胸腰部）5</p>	<p>加茂</p> <p>加茂</p> <p>加茂</p> <p>加茂</p> <p>加茂、黒川、橋口</p>
科目の目的	<p>1. 理学療法診断の意義、目的、評価の過程を知ること。</p> <p>2. 一般的評価事項および形態測定、関節可動域測定の知識と技術を取得すること。</p> <p>・保健医療専門職としての基本的知識と、社会人としての教養を身につけている。</p> <p>・多様な情報を適切に分析し、問題解決する方法を理解している。</p> <p>【倫理観と幅広い教養】 【基本的知識と技術】 【地域リハビリテーションの理解・問題解決力】 【自己研鑽・探求力】</p>	
到達目標	<p>1. 理学療法診断の意義、目的、その過程を言及できる。</p> <p>2. 診断時に理学療法士が配慮すべき点を列挙できる。</p> <p>3. 形態測定、関節可動域測定を中心とした検査測定および評価項目が実施できる。</p>	
関連科目	<p>運動器解剖学、臓器解剖学、運動学、臨床運動学、理学療法概論、表面解剖学と触診法、基礎理学療法診断学演習、基礎運動療法、運動機能系理学療法診断学演習・治療学演習、神経機能系理学療法診断学演習・治療学演習、内部機能系理学療法診断学演習・治療学演習、見学実習、評価学実習、地域理学療法実習、総合臨床実習Ⅰ・Ⅱ</p>	
成績評価方法・基準	<p>実技テスト（40%）、定期テスト（60%） ただし、単位認定のためには実技テスト、定期テストそれぞれでの60%以上の獲得を条件とする。</p>	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	<p>身体のランドマーク、関節可動域測定の基本軸、移動軸、参考可動域を演習実施までに全て暗記すること。 各演習前には必ず実技の予習を、各演習後には必ず実技の復習を行い、知識と技術を習得すること。 必要な学習時間の目安は、1コマあたり60分。</p>	
教科書・参考書	<p>教科書：「理学療法評価学改訂第6版」松澤正、江口勝彦著（金原出版） 参考書：特に指定しない。理学療法評価に関する書籍全般。</p>	
オフィス・アワー	<p>講義日の昼休み</p>	
国家試験出題基準	<p>《専門基礎》Ⅱ-2-B-a、Ⅲ-1-A-e 《専門》Ⅱ-1-A、2-A、B、C-a、D、E-a~d、F、G、H Ⅱ-3-A-a~g、B-a~e、C-a~h、D、E-a~c、F-a Ⅱ-5-A、B-a~d、C</p>	

	V-1-C、D、E、F
履修条件・履修上の注意	演習時は測定しやすい・されやすい服装、測定器具を準備する。

講義科目名称： 基礎理学療法診断学演習

授業コード： 4P091

英文科目名称： Elementary practice of Physiotherapy Examination … 対象カリキュラム： 2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
黒川 望	浅田 春美	橋口 優	

授業形態	講義（5回）、演習（10回）	担当者
授業計画	<p>第1回 総論 講義1 理学療法における記録方法と情報収集</p> <p>第2回 総論 講義2 筋力測定の意味と目的</p> <p>第3回 総論 講義3 骨格筋の運動生理</p> <p>第4回 総論 講義4 徒手筋力検査法の基礎知識</p> <p>第5回 各論 演習1 徒手筋力検査測定演習：導入</p> <p>第6回 各論 演習2 徒手筋力検査測定演習：肩関節</p> <p>第7回 各論 演習3 徒手筋力検査測定演習：肘関節・前腕</p> <p>第8回 各論 演習4 徒手筋力検査測定演習：手関節・手指</p> <p>第9回 各論 演習5 徒手筋力検査測定演習：肩甲帯・頭頸部</p> <p>第10回 各論 演習6 徒手筋力検査測定演習：前半のまとめ</p> <p>第11回 総論 講義5 臨床で求められるセラピストとしての接遇</p> <p>第12回 各論 演習7 徒手筋力検査測定演習：股関節</p> <p>第13回 各論 演習8 徒手筋力検査測定演習：股関節・膝関節</p> <p>第14回 各論 演習9 徒手筋力検査測定演習：足関節・足指</p> <p>第15回 各論 演習10 徒手筋力検査測定演習：体幹・骨盤、胸腰部</p>	<p>黒川 望</p> <p>黒川 望</p> <p>黒川 望</p> <p>黒川 望</p> <p>黒川、橋口</p> <p>黒川、橋口</p> <p>黒川、橋口</p> <p>黒川、橋口</p> <p>黒川、橋口</p> <p>黒川、橋口</p> <p>黒川、橋口</p> <p>黒川、橋口</p> <p>浅田 春美</p> <p>黒川、橋口</p> <p>黒川、橋口</p> <p>黒川、橋口</p> <p>黒川、橋口</p>
科目の目的	<p>解剖学・運動学で学んだ知識を再確認しながら、筋力検査の方法について理論と技術を学ぶ。評価技術の基本となる筋力検査として徒手筋力検査(MMT)を中心に学習し、1年時に学習した基本的な検査・測定技術を再確認し、確実に習得することを目的とする。</p> <p>【倫理観と幅広い教養】【基本的知識と技術】【地域リハビリテーションの理解・問題解決力】</p> <p>【自己研鑽・探求力】</p>	
到達目標	<p>1. 理学療法の記録や患者オリエンテーションの内容を臨的に適切な言動や態度で説明できる。</p> <p>2. 筋力検査の目的・意義・代表的な測定方法を説明できる。</p> <p>3. MMTを実施できる（注意点や代償運動を説明できることを含む）。</p> <p>4. 形態測定・関節可動域測定・筋力測定を他者に実施できる。</p>	
関連科目	<p>運動器解剖学、表面解剖学と触診法、生理学Ⅰ・Ⅱ、生理学実習、運動学、運動学実習、理学療法概論、理学療法診断学、運動機能系理学療法診断・治療学演習、神経機能系理学療法診断・治療学演習、内部機能系理学療法診断・治療学、見学実習、評価学実習、総合臨床実習Ⅰ、総合臨床実習Ⅱ</p>	
成績評価方法・基準	<p>筆記試験(7割)及び実技試験(3割)とする。筆記試験を成績判定の基礎とするが、そのためには実技試験の合格が前提となる。</p>	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	<p>演習が始まるまでに作用する筋の起始・停止、神経支配、髄節を全て復習しておくこと。各演習の前には必ず実技の予習を行うこと。授業後、予習と合わせて復習も行うこと。（予習・復習の目安：1コマあたり1時間）</p> <p>講義の部分においては、アクティブアカデミーにより資料を事前配付する（配付期間：前回授業翌日から当該日まで）。各自印刷あるいはPCにダウンロードの上、授業に持参すること。</p>	
教科書・参考書	<p>【教科書】「理学療法評価学 改訂第6版」松澤 正著（金原出版株式会社）</p> <p>「新・徒手筋力検査法 原著第10版」Helen J. Hislop, Jacqueline Montgomery著、津山直一・他訳（協同医書出版社）</p> <p>【参考書】「PT・OTのための測定評価DVD series3 MMT-頭部・頸部・上肢 第2版」伊藤 俊一監修（三輪書店）</p> <p>「PT・OTのための測定評価DVD series4 MMT-体幹・下肢 第2版」伊藤 俊一監修（三輪書店）</p>	
オフィス・アワー	<p>講義日の昼休み</p>	

国家試験出題基準	《専門》-Ⅱ-3-C-d, e, f, g, h, -Ⅱ-3-D, -Ⅱ-3-E-a, b, c, -Ⅱ-3-F-a
履修条件・履修上の注意	演習時は検査しやすい・されやすい服装を準備すること。詳細は初回講義にて説明する。
実務経験のある教員による授業	
実務経験	黒川 望（理学療法士）、浅田 春美（理学療法士）、加茂 智彦（理学療法士）、林 翔太（理学療法士）
授業の概要	対象者の問題を解決するための理学療法の前提は的確な理学療法診断がなされることであり、理学療法ゴールと方針が導かれる礎となるものである。演習では、理学療法診断を含む記録方法について学び、適切な診断項目の選定も含め科学的な診断の考え方を理解する。技術としては、人間の動きを生み出す力源である筋力の測定方法について重点的に学ぶ。具体的には徒手筋力検査法及び筋力検査機器による測定方法を習得する。

講義科目名称： 運動機能系理学療法診断学演習

授業コード： 4P092

英文科目名称： Practice of Physiotherapy Examination for musc...

対象カリキュラム： 2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
城下 貴司			

授業形態	講義（10コマ）、実技演習（5コマ）		担当者
授業計画	第1回	オリエンテーション 整形外科疾患評価法の概念 科目の概要・講義スケジュール 整形外科疾患とその評価法	城下
	第2回	痛み 運動器系理学療法における「痛み」の考え方とそのメカニズムについて学ぶ	城下
	第3回	下肢疾患 股関節(変形性股関節症)	城下
	第4回	下肢疾患 股関節(大腿骨頭壊死)	城下
	第5回	下肢疾患 足関節(靭帯損傷等)	城下
	第6回	下肢疾患 足関節(アキレス腱断裂、アキレス腱周囲炎等)	城下
	第7回	上肢疾患 肩関節(外傷性肩関節脱臼)	城下
	第8回	上肢疾患 肩関節(腱板断裂)	城下
	第9回	上肢疾患 肩関節(腱板断裂、肩鎖関節損傷)	城下
	第10回	上肢疾患 手関節(手根不安定症 手根不安定症、母指CM、狭窄性腱鞘炎)	城下
	第11回	四肢疾患の基礎知識と診断学の復習と小テスト 理解度を確認する	城下
	第12回	下肢診断学の実技 診断学 実技 下肢 (主に股関節)	城下
	第13回	下肢診断学の実技 診断学 実技 下肢 (主に足関節)	城下
	第14回	上肢診断学の実技 診断学 実技 上肢 (主に肩関節)	城下
	第15回	上肢診断学の実技 診断学 実技 上肢 (主に肘、手関節)	城下
科目の目的	理学療法士は医師が行う病態診断よりも運動機能診断を展開する。そのためレントゲンやMRIといった画像診断を手掛かりにした病態診断よりも、理学療法士としての専門性を生かした運動機能の基礎を理解し機能診断できることを目的とする。 *ディプロマ・ポリシー：【倫理観と幅広い教養】【基本的知識と技術】【地域リハビリテーションの理解・問題解決力】【自己研鑽・探求力】		
到達目標	運動機能診断学の基礎を理解し遂行できる。		
関連科目	解剖学ⅠおよびⅡ、生理学ⅠおよびⅡ、運動学Ⅰ、整形外科学、理学療法診断学、基礎理学療法診断学演習、運動機能系理学療法治療学演習、脊髄疾患理学療法演習、スポーツ理学療法学、障がい者スポーツレクリエーション論		
成績評価方法・基準	中間テスト40%、定期試験60%で総合評価する。		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	授業範囲は広範となる、授業前に1時間程度の予習部位は指定する、授業後の復習も必修である。		
教科書・参考書	教科書：城下貴司 運動機能系理学療法診断学 上肢編 ブイツーツリビューション 星雲社 教科書：城下貴司 運動機能系理学療法診断学 下肢編 ブイツーツリビューション 星雲社 教科書：城下貴司 運動機能系理学療法診断学 脊柱編 ブイツーツリビューション 星雲社 教科書：中村 利孝ほか：標準整形外科学 14版. 医学書院 教科書：中村隆一ほか 基礎運動学 第6版改定版 (医歯薬出版) 教科書：奈良 勲 (監修) 標準理学療法学・作業療法学 解剖学第5版 (医学書院) 参考書：松澤 正ほか 理学療法評価学改訂第6版 (金原出版株式会社) 参考書：「新・徒手筋力検査法 原著第8版」Helen J. Hislop, Jacqueline Montgomery著, 津山直一・他訳(協同医書出版社)		
オフィス・アワー	水曜日：12：10～13：00		
国家試験出題基準	《専門》-Ⅱ-7-A-abcdefghijkl		

	<<専門>>-II-7-B-g <<専門>>-II-7-C-e <<専門>>-II-7-I <<専門>>-II-7-L-ab <<専門>>-III-1-B-abcdef <<専門>>-III-3-F-abc <<専門>>-III-6-A-abcdefghijkl <<専門>>-III-6-I <<専門>>-III-6-L-ab <<専門>>-III-6-M <<専門>>-III-6-N-bc
履修条件・履修上の注意	授業範囲は広範となる、授業前に予習と復習は必修であり、独自に授業ノートを作成すること。
実務経験のある教員による授業	
実務経験	城下 貴司（理学療法士）
授業の概要	理学療法の対象となる障害のうち、多くの割合を占める運動器系（骨・関節、筋、末梢神経、軟部組織）の疾患・障害の理学療法診断学を学ぶ。具体的には、筋力検査や関節可動域検査などの基本的な運動器の検査技術の理解の上に立ち、運動器系疾患・障害に固有な検査・測定方法、日本整形外科学会の判定基準、骨・関節や筋及び軟部組織のX線やMRI及び超音波による画像による診断技術を講義と実技を通じて学ぶ。

準備学習の内容・ 準備学習に必要な 学習時間の目安	神経系の解剖学, 生理学の知識をもっていることが望ましい. 準備時間: 30分
教科書・参考書	教科書 田崎義昭 斎藤伊雄 著 坂井文彦 改訂: ベッドサイドの神経の診かた 南山堂 松澤正著: 理学療法評価学 金原出版株式会社 パワーポイント資料をPDFファイルにて配布予定 参考書: 鈴木則宏編: 神経診察クローズアップ メジカルビュー社 内山靖, 小林武, 潮見泰三編: 臨床評価指標入門 適用と解釈のポイント 協同医書出版 シグネ・ブルンストローム著, 松村秩訳: 片麻痺の運動療法 医師薬出版
オフィス・アワー	水曜日12:30~13:00 605研究室
国家試験出題基準	《専門》 II-7-B-a~f, h 《専門》 II-7-C-a~e 《専門》 II-7-H-a, b 《専門》 II-7-K-a, b 《専門》 II-7-N-a, d
履修条件・履修上の注意	中枢神経および脳神経の解剖学, 生理学の知識が乏しいと内容の理解が難しくなるのでこれらの基礎を把握することが重要である. 神経系理学療法評価治療学演習 I および II の内容の基礎となる.
実務経験のある教員による授業	
実務経験	鈴木 学 (理学療法士), 浅田 春美 (理学療法士), 黒川 望 (理学療法士), 田辺 将也 (理学療法士), 加茂 智彦 (理学療法士), 林 翔太 (理学療法士)
授業の概要	脳神経など末梢神経疾患と中枢神経系疾患に生じる障害を評価する検査法と、検査結果を如何に統合解釈し、問題点を抽出し、目標を設定していくかを学習する。具体的には、片麻痺機能テスト、筋緊張検査、深部腱反射検査、病的反射検査、感覚検査、姿勢反射検査、協調性検査、高次脳機能検査などを取り上げ、それらの検査の意義、正常と異常の違いなどを学習する。さらに各種検査所見を統合し、その結果から問題点の抽出、目標設定を行う能力を養う。

講義科目名称： 内部機能系理学療法診断学演習

授業コード：

英文科目名称： Practice of Physiotherapy Examination for Card...

対象カリキュラム： 2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	3学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
北村 達夫			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2021年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
実務経験のある教員による授業		
実務経験	木村 朗（理学療法士）	
授業の概要	呼吸・循環・代謝系の病態に対して、カルテ情報や画像情報・問診・観察によって標準的な理学療法の適応判断が求められる生理的機能、心理的影響等において理学療法士が行う診断学を学習する。内部疾患に対して病態改善のみならず、合併症として運動負荷によるリスクが生じる状況について固有の検査・測定技術・評価データの解釈、内部機能を改善する理学療法を学ぶ。	

講義科目名称： 高次脳機能評価学

授業コード：

英文科目名称： Higher Brain Disfunction Assessment

対象カリキュラム： 2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	3学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
竹原 敦			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2021年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		

講義科目名称： 基礎運動療法

授業コード： 4P096

英文科目名称： Basic Therapeutic Exercise

対象カリキュラム： 2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
田辺 将也	加茂 智彦		

授業形態	講義13回、演習2回	担当者
授業計画	<p>第1回 【講義】オリエンテーション、運動療法の概念と実際 運動療法の概要</p> <p>第2回 【講義】関節可動域運動 関節可動域の異常</p> <p>第3回 【講義】関節可動域運動 関節可動域運動の種類</p> <p>第4回 【演習】関節可動域運動 関節可動域運動の実際（上肢、下肢の関節）</p> <p>第5回 【講義】ストレッチング ストレッチングの理論、注意点</p> <p>第6回 【演習】ストレッチング ストレッチングの実際</p> <p>第7回 【講義】筋力増強運動 随意運動のメカニズム</p> <p>第8回 【講義】筋力増強運動 筋力の異常・廃用症候群</p> <p>第9回 【講義】筋力増強運動 筋力増強運動および持久力運動</p> <p>第10回 【講義】バランスの獲得・改善 バランスの構成要素</p> <p>第11回 【講義】姿勢保持の改善 姿勢観察および異常姿勢の影響</p> <p>第12回 【講義】基本動作の獲得・改善 基本動作の獲得・改善の進め方</p> <p>第13回 【講義】協調性運動 協調性運動の概要</p> <p>第14回 【講義】バイタルチェック バイタル正常値理解および測定</p> <p>第15回 【講義】リスク管理 運動療法実施時の注意点など</p>	<p>田辺</p> <p>田辺</p> <p>田辺</p> <p>田辺、加茂</p> <p>田辺</p> <p>田辺、加茂</p> <p>田辺</p>
科目の目的	<p>運動療法の概念と基礎知識、運動の種類、基本的な運動療法の知識を習得し、基本的な運動療法の技術を習得する。 【倫理観と幅広い教養】【基本的知識と技術】【地域リハビリテーションの理解・問題解決力】 【自己研鑽・探求力】 ・保健医療専門職としての基本的知識と、社会人としての教養を身につけている。 ・多様な情報を適切に分析し、問題解決する方法を理解している。 ・自己研鑽に励み、わからないことを明らかにしようとする探求力を身につけている。</p>	
到達目標	<p>運動療法の基礎知識・技術を整理・理解・習得し、より専門的な理学療法治療学（運動機能系・神経機能系・内部障害系・高齢者・スポーツ理学療法学・日常生活活動学・身体活動学）を学ぶための基礎知識・技術を習得する。</p>	
関連科目	<p>運動器解剖学・臓器解剖学、生理学Ⅰ・Ⅱ、運動学、臨床運動学、表面解剖学と触診法、理学療法診断学、基礎理学療法診断学演習、運動機能系理学療法診断学演習・治療学演習、脊髄疾患理学療法学演習、神経機能系理学療法診断学演習・治療学演習Ⅰ・Ⅱ、内部機能系理学療法診断学演習・治療学演習、身体活動学、スポーツ理学療法学、日常生活活動学、高齢者理学療法学演習、見学実習、評価学実習、地域理学療法実習、総合臨床実習Ⅰ、総合臨床実習Ⅱ</p>	
成績評価方法・基準	<p>小テスト（20%）、期末テスト（80%）</p>	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	<p>各回授業範囲の教科書内の内容を事前に読み、理解しておくこと。 各演習の前には必ず実技の予習を、各演習の後には必ず実技の復習を行い、知識と技術を習得すること。 必要な学習時間の目安は1コマあたり1時間。</p>	
教科書・参考書	<p>教科書： 「標準理学療法学専門分野運動療法学総論」吉尾雅春編集（医学書院） 「運動療法学」柳澤健編集（金原出版） 「基礎運動学」中村隆一、齋藤宏、長崎浩著（医歯薬出版） 参考書： 「理学療法ゴールド・マスター・テキスト2 運動療法学」柳澤健編（メジカルビュー社） 「理学療法Ⅲ 運動療法Ⅰ」千住秀彰監修河元岩男、溝田勝彦編集（神陵文庫）</p>	

オフィス・アワー	講義日の昼休み
国家試験出題基準	≪専門≫Ⅲ-1-A ≪専門≫Ⅲ-1-B-a, b, c, d, e, f ≪専門≫Ⅲ-2-A-a, b, c, d, e, f, g, h, i, j, k, l, m, n, o, p ≪専門≫Ⅲ-2-C-e ≪専門≫Ⅲ-3-A-a, b, d, e, f ≪専門≫Ⅲ-3-B-a, b, c, d, e ≪専門≫Ⅲ-3-C-a, b, c, d, e, f
履修条件・履修上の注意	演習時は運動療法に適した服装を準備する。

講義科目名称： 運動機能系理学療法治療学演習

授業コード： 4P097

英文科目名称： Practice in Physiotherapy approach for Muscu...

対象カリキュラム： 2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
城下 貴司			

授業形態	講義（13コマ）、実技演習（2コマ）		担当者
授業計画	第1回	オリエンテーション と 下肢疾患 股関節(主に関節内骨折) (講義)	城下
	第2回	下肢疾患 股関節(主に関節外骨折) (講義)	城下
	第3回	下肢疾患 膝関節 (主に大腿骨顆上・果部骨折 (講義)	城下
	第4回	下肢疾患 膝関節 (主に半月板損傷) (講義)	城下
	第5回	下肢疾患 膝関節 (主に靭帯損傷) (講義)	城下
	第6回	下肢疾患 膝関節 (主に変形性膝関節症)	城下
	第7回	下肢疾患 膝関節 (主に骨端症) (講義)	城下
	第8回	下肢疾患 足関節 (主に下腿骨折) (講義)	城下
	第9回	下肢疾患 足関節 (主に外反母趾と骨端症) (講義)	城下
	第10回	下肢疾患の基礎知識と診断学の復習と小テスト 理解度を確認する	城下
	第11回	上肢疾患 肩関節疾患 (主に肩関節周囲炎、投球障害) (講義)	城下
	第12回	上肢疾患 肘関節疾患 (主に上腕骨顆上骨折) (講義)	城下
	第13回	上肢疾患 肘関節疾患 (主に野球肘とテニス肘) (講義)	城下
	第14回	上肢疾患 手関節疾患 (主に橈骨遠位端骨折) (講義)	城下
	第15回	上肢疾患 手関節疾患 (主に橈骨遠位端骨折) (講義)	城下
科目の目的	臨床における運動運動機能系の疾患は多数ある。その一部を学習しても断片的な知識となり整理がつかない。本授業はそれらの疾患を広く浅く学習することで、理学療法士がそれらの疾患の対応方法と理学療法の根拠を裏付ける理論をどのように構築しているかを紹介しその能力を修得する。 *ディプロマ・ポリシー：【倫理観と幅広い教養】【基本的知識と技術】【地域リハビリテーションの理解・問題解決力】【自己研鑽・探求力】		
到達目標	理学療法士が運動運動機能系の疾患に対する科学的根拠のある考え方を整理すること。		
関連科目	解剖学ⅠおよびⅡ、生理学ⅠおよびⅡ、運動学Ⅰ、整形外科学、理学療法診断学、基礎理学療法診断学演習、運動機能系理学療法診断学演習、脊髄疾患理学療法演習、スポーツ理学療法学		
成績評価方法・基準	中間テスト40%、定期試験60%で総合評価する		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	授業範囲は広範となる、授業前に1時間程度の学習時間を要する予習を具体的に指定する、授業後の復習も必修である。		
教科書・参考書	教科書：中村 利孝ほか：標準整形外科学 14版. 医学書院 教科書：城下貴司 運動機能系理学療法診断学 上肢編 ブイツーソリューション 星雲社 教科書：城下貴司 運動機能系理学療法診断学 下肢編 ブイツーソリューション 星雲社 教科書：城下貴司 運動機能系理学療法診断学 脊柱編 ブイツーソリューション 星雲社 教科書：運動療法学 金原書店 参考書：林 典雄ほか：関節機能解剖学に基づく整形外科運動療法ナビゲーション— 参考書：堀尾重治：骨・関節X線写真の撮りかたと見かた 第8版. 医学書院		
オフィス・アワー	水曜日：12：10～13：00		
国家試験出題基準	《専門》-Ⅱ-7-A-abcdefghijkl 《専門》-Ⅱ-7-B-g 《専門》-Ⅱ-7-C-e		

	<<専門>>-II-7-I <<専門>>-II-7-L-ab <<専門>>-III-1-B-abcdef <<専門>>-III-3-F-abc <<専門>>-III-6-A-abcdefghijk <<専門>>-III-6-I <<専門>>-III-6-L-ab <<専門>>-III-6-M <<専門>>-III-6-N-bc
履修条件・履修上の注意	予習と復習は必修である 実技がある動きやすい服装で望むこと
実務経験のある教員による授業	
実務経験	城下 貴司（理学療法士）
授業の概要	運動器系理学療法学の治療学に関して講義と演習を通じて理論と実践について学ぶ。具体的には、幅広い運動器系疾患の中から、大腿骨頸部骨折、変形性膝関節症、慢性関節リウマチ、切断、熱傷、骨盤底筋群不全を取り上げる。これらについて、講義に加え、一部問題解決型学習とデモンストラーションの演習を行い、運動器系疾患に対する理学療法士としての対応能力を修得する。

講義科目名称： 脊髄疾患理学療法学演習

授業コード：

英文科目名称： Practice in Physiotherapy for Spinal cord Dise…

対象カリキュラム： 2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	3学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
城下 貴司			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2021年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
実務経験のある教員による授業		
実務経験	城下 貴司（理学療法士）	
授業の概要	脊髄疾患は理学療法の主要な対象疾患である。脊髄疾患には外傷性の脊髄損傷と、疾病による脊髄腫瘍や血管障害及び進行性難病がある。疾病による脊髄疾患は神経系疾患で取り扱うので、本講義では、脊髄疾患の基本的な症状を示す脊髄損傷に関して重点的に学ぶ。具体的には、脊髄損傷の疫学、病理と臨床像、障害タイプの分類と予後、合併症とその管理について理解した上で、脊髄損傷に対する理学療法診断学と治療学について学ぶ。	

講義科目名称： 神経機能系理学療法治療学演習 I

授業コード： 4P099

英文科目名称： Practice of Physiotherapy Approach for Neur... I

対象カリキュラム： 2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
鈴木 学			

授業形態	講義, 実技	担当者
授業計画	<p>第1回 片麻痺の病態 (1) 片麻痺の病態と内科的・外科的治療</p> <p>第2回 片麻痺の病態 (2) 片麻痺の機能障害と回復過程</p> <p>第3回 片麻痺への治療介入の考え方 回復期ごとの治療介入および中枢神経障害の治療の原則</p> <p>第4回 片麻痺の急性期理学療法の評価と治療介入 ベッドサイド評価と治療介入の実際 (リスク管理含む)</p> <p>第5回 片麻痺の急性期理学療法の治療介入と回復期の評価 ベッドサイド治療介入の実際, 回復期の評価とゴール設定</p> <p>第6回 片麻痺の回復期理学療法の治療介入 (1) 各種起居動作獲得練習の介入理論と手技: 体幹・上下肢近位筋への介入</p> <p>第7回 片麻痺の回復期理学療法の治療介入 (2) 各種起居動作練習: 寝返り・座位獲得の介入理論と手技</p> <p>第8回 片麻痺の回復期理学療法の治療介入 (3) 各種起居動作練習: 臥位からの起き上がり, 四つ這い位, 座位からの四つ這い位への体位変換</p> <p>第9回 片麻痺の回復期理学療法の治療介入 (4) 各種起居動作練習: 膝立ち位, 膝立ち位への体位変換</p> <p>第10回 片麻痺の回復期理学療法 (5) 立ち上がり動作練習, 各種分離運動獲得の介入理論と手技</p> <p>第11回 片麻痺の回復期理学療法 (7) 各種分離運動獲得の介入理論と手技</p> <p>第12回 実技まとめ (1) 実技試験</p> <p>第13回 実技まとめ (2) 実技試験</p> <p>第14回 片麻痺の回復期理学療法 (8) 実技立位および歩行練習試験</p> <p>第15回 片麻痺の維持期理学療法と予後予測 片麻痺の維持期理学療法の介入, 片麻痺の予後予測</p>	<p>鈴木 学</p> <p>鈴木 学</p> <p>鈴木 学</p> <p>鈴木 学, 橋口 優</p> <p>鈴木 学</p> <p>鈴木 学, 橋口 優</p> <p>鈴木 学, 橋口 優</p> <p>鈴木 学, 橋口 優</p> <p>鈴木 学, 橋口 優, 田辺将也</p> <p>鈴木 学, 橋口 優, 田辺将也</p> <p>鈴木 学, 橋口 優</p> <p>鈴木 学</p>
科目の目的	<p>中枢神経系疾患、特に脳血管障害片麻痺に生じる障害の評価のための検査法と検査結果を如何に統合解釈し、問題を抽出し、目標を設定していくかを学習する。具体的には、急性期、回復期および維持期について、それぞれ評価内容、治療の考え方および進め方、治療技術の理論と実技を獲得させる。</p> <p>これらは理学療法学科のディプロマ・ポリシーの【倫理観と幅広い教養】、【基本的知識と技術】、【地域リハビリテーションの理解・問題解決力】、【自己研鑽・探求力】能力を向上させる</p>	
到達目標	<p>1. 脳血管障害に生じる障害について説明できる。</p> <p>2. 脳血管障害による片麻痺や四肢麻痺の急性期、回復期および維持期に対する理学療法における評価、治療プログラム作成、理学療法実施方法について説明および実践できる。</p> <p>3. 脳血管障害に片麻痺や四肢麻痺の理学療法を実施する上でのリスク管理について説明できる</p>	
関連科目	<p>臓器解剖学 局所解剖学 生理学Ⅰ・Ⅱ 生理学実習 運動学 精神医学 神経内科学 リハビリテーション医学 理学療法診断学 日常生活活動学 神経機能系理学療法診断学演習 療診断学演習 神経機能系理学療法治療学演習Ⅱ 装具学 地域理学療法学 地域リハビリテーション学 見学実習 評価学実習 地域理学療法学実習 総合臨床実習Ⅰ 総合臨床実習Ⅱ</p>	
成績評価方法・基準	<p>筆記試験 70%, 実技試験 30% *実技試験の再試験はしない</p>	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	<p>神経系の解剖学, 生理学の知識をもっていることが望ましい。 準備時間: 40分</p>	

教科書・参考書	教科書 「理学療法テキスト神経障害理学療法学Ⅰ」石川朗 総編集（中山書店） 「神経内科学テキスト（改訂第3版）」江藤文夫、飯島節（南江堂） パワーポイント資料をPDFファイルにて配布予定 参考書 「Steps to Follow」P. M. デービス著（シュプリンガー・フェアラーク東京） 「系統理学療法学 神経障害系理学療法学」丸山仁司 編（医歯薬出版） 「脳卒中理学療法の理論と実技」原寛美、吉尾雅春 編（メジカルビュー社）
オフィス・アワー	水曜日12:30～13:00 605研究室
国家試験出題基準	《専門》Ⅲ-1-B-a～f 《専門》Ⅲ-3-E-a～c 《専門》Ⅲ-3-H-a～e 《専門》Ⅲ-6-B-a～h 《専門》Ⅲ-6-c-a～e 《専門》Ⅲ-6-H-a, b 《専門》Ⅲ-6-K-a, b 《専門》Ⅲ-6-N-a, d
履修条件・履修上の注意	中枢神経および脳神経の解剖学, 生理学の知識が乏しいと内容の理解が難しくなるのでこれらの基礎を把握することが重要である. 神経機能系理学療法診断学演習の内容が基礎となるので合わせてしっかりと学習すること.
実務経験のある教員による授業	
実務経験	鈴木 学（理学療法士）, 黒川 望（理学療法士）, 田辺 将也（理学療法士）加茂 智彦（理学療法士）, 林 翔太（理学療法士）
授業の概要	脳梗塞・脳出血などの脳血管障害、パーキンソン病・脊髄小脳変性症などの変性疾患、脳性麻痺など各種神経疾患の症状と、それに伴う障害についての知識を学び習得する。また、上記各疾患・障害に対する理学療法、とりわけ運動療法の原理、診断と治療体系、目標設定とその実現のための問題点の抽出、治療計画の立案方法について学習する。さらに、各疾患における重要なリスク管理方法や理学療法の効果判定についての考え方と方法論を学ぶ。

講義科目名称： 神経機能系理学療法治療学演習Ⅱ

授業コード：

英文科目名称： Practice of Physiotherapy Approach for Neur... Ⅱ

対象カリキュラム： 2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	3学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
鈴木 学			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2021年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
実務経験のある教員による授業		
実務経験	鈴木 学（理学療法士）	
授業の概要	「神経機能系理学療法診断学演習」及び「神経機能系理学療法治療学演習Ⅰ」で学んだ治療体系について技術面の演習を行う。具体的には脳血管障害の急性期・回復期・慢性期それぞれに対応した治療アプローチを習得する。また、進行性神経難病の進行段階に合わせた理学療法を実施できる能力の習得を目指す。診断から効果判定まで系統的な理学療法が実践できるよう具体的な事例で演習を行う。	

講義科目名称： 内部機能系理学療法治療学演習

授業コード：

英文科目名称： Practice in Physiotherapy Approach for Cardio…

対象カリキュラム： 2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	3学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
木村 朗			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2021年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
実務経験のある教員による授業		
実務経験	木村 朗（理学療法士）	
授業の概要	<p>本科目では、「内部機能系理学療法診断・治療学」の理解の上に立ち、循環・代謝系疾患障害の固有の検査・測定方法、その結果の解釈、心電図や血液データの見かたを含む診断学、循環・代謝系理学療法治療学、すなわち循環機能の改善、運動耐容能の改善、エネルギー代謝の改善の総論と各論を学ぶ。さらに、生活習慣病や障害予防、喀痰の吸引について、その考え方と対応・実践方法を学ぶ。</p>	

講義科目名称： 身体活動学

授業コード：

英文科目名称： Physical Activity

対象カリキュラム： 2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	3学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
木村 朗			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2021年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		

講義科目名称： 発達支援理学療法学

授業コード：

英文科目名称： Developmental Physiotherapy

対象カリキュラム： 2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	3学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
中 徹			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2021年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		

講義科目名称： 理学療法関連領域論

授業コード：

英文科目名称： Related Fields to Physiotherapy

対象カリキュラム： 2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	3学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
木村 朗			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2021年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		

講義科目名称： 物理療法学

授業コード： 4P105

英文科目名称： Biophysical Agents

対象カリキュラム： 2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2学年	2単位	必修
担当教員	担当者		
黒川 望	鈴木 学	目黒 力	岡崎 大資

授業形態	講義9回、実習6回		担当者
授業計画	<p>第1回 総論 物理療法の定義、位置付け、物理療法の原理、分類</p> <p>第2回 各論 マッサージⅠ（定義、生理学的作用、基本手技）</p> <p>第3回 実習 マッサージⅡ（身体各部の手技の実際）</p> <p>第4回 各論 温熱療法Ⅰ（定義、熱力学、生理学的作用）</p> <p>第5回 各論 温熱療法Ⅱ（温熱療法の実際）</p> <p>第6回 各論 寒冷療法（定義、分類、生理学的作用、寒冷療法の実際）</p> <p>第7回 各論 水治療法（定義、水の物理的特性、生理学的作用、治療の実際）</p> <p>第8回 各論 高周波療法（定義、原理、生理学的作用、治療の実際）</p> <p>第9回 各論 超音波療法（定義、原理、生理学的作用、治療の実際）</p> <p>第10回 実習ガイダンス 実習の進め方・課題の理解、実際使用する道具・機器の確認</p> <p>第11回 実習1 班単位で、温熱・寒冷療法、水治療法、高周波療法、超音波療法のいずれかを実習する。</p> <p>第12回 実習2 実習1とは別項目を、班単位で実施する。</p> <p>第13回 実習3 前回までとは別項目を、班単位で実施する。</p> <p>第14回 実習4 前回までとは別項目を、班単位で実施する。</p> <p>第15回 実習5 前回までとは別項目を、班単位で実施する。実習1～5を通じて、全項目を実習することとなる。</p>		<p>黒川 望</p> <p>鈴木 学</p> <p>鈴木 学</p> <p>黒川 望</p> <p>目黒、岡崎、黒川</p> <p>目黒、岡崎、黒川</p> <p>目黒、岡崎、黒川</p> <p>目黒、岡崎、黒川</p> <p>目黒、岡崎、黒川</p> <p>目黒、岡崎、黒川</p> <p>目黒、岡崎、黒川</p>
科目の目的	<p>物理療法学は、運動療法学と共に、理学療法の中で車の両輪をなすもので、その治療法を理解することは、疾病治療を進める上で欠かせないものである。本科目では物理療法の治療根拠と実際を学習する。物理療法の前半として、物理療法の総論と、マッサージ、温熱療法、寒冷療法、水治療法、高周波療法、超音波療法等について、その定義、分類、原理、生理学的作用、適応、禁忌、実際について、基本的事項の習得を目的とする。</p> <p>【倫理観と幅広い教養】 【基本的知識と技術】 【地域リハビリテーションの理解・問題解決力】 【自己研鑽・探求力】</p>		
到達目標	<p>1. 臨床実習において実施可能になることを念頭に、物理療法の治療にあたり、その治療根拠を理解し、各種疾患に対し適切な治療ができる。</p> <p>2. グループワークの中で、自分の役割を果たすことができる。</p>		
関連科目	<p>生理学Ⅰ・Ⅱ、生理学実習、運動学、運動学実習、病理学、内科学、整形外科学、神経内科学、理学療法概論、障害と理学療法</p>		
成績評価方法・基準	<p>筆記試験（50%）、実習レポート（50%）</p>		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	<p>教科書ならびに実習書の該当部分を熟読した上で参加すること。 （予習の目安：1コマあたり1時間、復習の目安：1コマあたり3時間） 講義の部分においては、アクティブアカデミーにより資料を事前配付する（配付期間：前回授業翌日から当該日まで）。各自印刷およびPCにダウンロードの上、授業に持参すること。</p>		
教科書・参考書	<p>【教科書】松澤正、江口勝彦・監修：物理療法学 改訂第3版。金原出版株式会社，2021。</p>		
オフィス・アワー	<p>講義日の昼休み</p>		
国家試験出題基準	<p>《専門》－Ⅲ－1－B－a, b, c, d, e, f, －Ⅲ－2－B－a, c, e, f, h</p>		

履修条件・履修上の注意	実習においては、動ける服装で参加すること。詳細は講義にて説明する。
-------------	-----------------------------------

講義科目名称： 物理療法学演習

授業コード：

英文科目名称： Practice in Biophysical Agents

対象カリキュラム： 2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	3学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
目黒 力			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2021年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
実務経験のある教員による授業		
実務経験	目黒 力（理学療法士）	
授業の概要	「物理療法学」で学習した基礎的知識をもとに、実際の方法を学ぶ。安全且つ適切、迅速に実践できること、ケースに対してインフォームドコンセントを確実に行えるようにすることを目標とする。各種測定機器を用いて各自物理療法による生理学的変化を測定・分析することを通じて、疾患に応じて適切な物理療法を適用する力を養う。	

講義科目名称： 装具学

授業コード：

英文科目名称： Orthotics

対象カリキュラム： 2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	3学年	2単位	必修
担当教員	担当者		
橋口 優			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2021年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		

講義科目名称： 義肢学

授業コード：

英文科目名称： Prosthesis

対象カリキュラム： 2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	3学年	2単位	必修
担当教員	担当者		
平井 正利			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2021年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		

講義科目名称： スポーツ理学療法学

授業コード：

英文科目名称： Physiotherapy in Sports

対象カリキュラム： 2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	3学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
城下 貴司			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2021年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2学年	2単位	必修
担当教員	担当者		
浅田 春美			

授業形態	講義 (7コマ) ・ 演習 (8コマ)	担当者
授業計画	第1回 講義：ガイダンス／ADLの概念と範囲 ADL, APDLなど言葉の定義, リハビリテーションにおける範囲について 生活機能からみたADLの位置づけ	浅田春美
	第2回 講義：ADLの評価① ADL評価の目的・基準・尺度 ADL評価のポイント	浅田春美
	第3回 講義：ADLの評価② 代表的なADL評価表について 課題提示：FIMについての課題説明<資料の作成> 第14回講義にて発表 FIM課題提示	浅田春美
	第4回 演習：ADL評価の実際／セルフケアの構成要素① セルフケア（食事・排泄・入浴・更衣・整容）を細項目に分解する（G.W.） 細目動作を各関節の運動で表現し、表に記入する	浅田春美
	第5回 演習：ADL評価の実際／セルフケアの構成要素② セルフケアの構成要素をグループごとに発表（デモンストレーションを交えて行う） 講義終了時、発表に使用した表をグループごとに1通提出	浅田春美
	第6回 講義：基本動作① 基本動作の定義・意味／臥位・座位・立位姿勢	浅田春美
	第7回 演習：基本動作② 臥位から立位までの正常動作の流れ／介助が必要な場合の介助法	浅田春美
	第8回 演習：移動補助具（杖・松葉杖・歩行器）① 移動補助具の定義・種類・適応／杖の合わせ方・杖歩行 課題：T字杖歩行の指導用ハンドアウトの作成A4枚<患者さんまたは家族へ分かりやすく説明する> 次回の講義時提出／課題のフィードバックは、返却時個人および全体へ行う	浅田春美
	第9回 演習：移動補助具（杖・松葉杖・歩行器）② 松葉杖の合わせ方／松葉杖歩行／歩行器歩行 実技では患者さんへ松葉杖歩行を指導するよう、分かりやすい言葉を用いて行う	浅田春美
	第10回 講義：移動補助具（車いす）① 車いすの基本構造と名称・種類・適応	浅田春美
	第11回 演習：移動補助具（車いす）② 車いすの合わせ方（身体計測）・車いすの検定	浅田春美
	第12回 講義：複合動作練習① 車いす操作とシーティング	浅田春美
	第13回 演習：複合動作練習② 移動・移乗動作と介助法	浅田春美
	第14回 演習：ADL評価<FIM課題報告会> 各グループによる発表<発表時に各項目ごとに説明を実施>	浅田春美
	第15回 講義：リハビリテーション支援機器 移乗関連機器・自助具	浅田春美
科目の目的	日常生活活動（ADL）の概念とその範囲<起居・移動，食事，排泄，入浴，更衣，整容>・より広い日常生活関連動作、QOLなどの概念との関係を理解する。またADL動作の分析・評価方法，また患者さんや家族への練習・指導方法などについて学習する。さらに日常生活活動各動作の自立度の改善向上に有効な手段である歩行補助具，車いすなどの使用法，適応などについて学ぶ。 【倫理観と幅広い教養】【基本的知識と技術】【地域リハビリテーションの理解・問題解決力】 【自己研鑽・探求力】	
到達目標	1. ADL・APDL・IADL・QOL の概念や範囲を説明できる。 2. 代表的なADL 評価法の目的と活用法について説明できる。 3. 基本動作を含むADL を運動学的にとらえ，模倣することができる。 4. 移動・移乗動作の指導・介助ができる。 5. 移動補助具の基本構造が説明でき，適合・指導することができる。	
関連科目	人間発達学，障害と理学療法，臨床運動学，理学療法診断学，生活環境学，地域理学療法学，地域	

	リハビリテーション学, 運動機能系理学療法診断学演習, 運動機能系理学療法治療学演習, 神経機能系理学療法診断学演習, 神経機能系理学療法治療学演習Ⅰ・Ⅱ, 内部機能系理学療法診断学演習, 内部機能系理学療法治療学演習, 発達支援理学療法学, 高次脳機能評価学, 装具学, 義肢学, 福祉機器論, 見学実習, 評価学実習, 地域理学療法実習, 総合臨床実習Ⅰ, 総合臨床実習Ⅱ
成績評価方法・基準	筆記試験(80%), 演習・課題への取り組みおよび提出(20%)
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	<ul style="list-style-type: none"> ・授業前にテキストを読み、疑問点について調べてくること <必要に応じて運動学の復習を行うこと> ・演習後のまとめ課題に取り組むこと ・授業後に実技練習を実施し、技術の向上に努めること <予習復習は概ね1時間程度必要とする>
教科書・参考書	<p>【教科書】1. 細田多穂監修, 河元岩男他編: シンプル理学療法学シリーズ日常生活活動学テキスト, 南江堂, 2019</p> <p>2. 千野直一他: 脳卒中の機能評価 SIASとFIM, 金原出版株式会社, 2020</p> <p>【参考書】1. Bengt Engstrom著, 高橋正樹他訳: からだにやさしい車椅子のすすめ, 三輪書店, 2007.</p> <p>2. 勝平純司他著: 介助にいかすバイオメカニクス, 医学書院, 2011.</p>
オフィス・アワー	当該講義終了後
国家試験出題基準	<<専門>>-Ⅰ-3-0、P-a、b、Q-a <<専門>>-Ⅲ-2-C-c、d <<専門>>Ⅲ-4-A-a、B、C-a、b、c、d、e、f、g、D-a、b <<専門>>-Ⅲ-5-A、C <<専門>>-Ⅳ-1-I-a、b
履修条件・履修上の注意	実技演習の場合には、動きやすい服装で出席すること

講義科目名称： 高齢者理学療法学演習

授業コード：

英文科目名称： Practice in Physiotherapy for Geriatrics

対象カリキュラム： 2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	3学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
岡崎 大資			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2021年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
実務経験のある教員による授業		
実務経験	岡崎 大資（理学療法士）	
授業の概要	理学療法の対象者において、高齢者は多くを占めている。演習では地域在住の高齢者を対象とする地域理学療法について、見学・体験実習を実施することで、医療的視点に加え生活に対する視点を持つとともに、地域における高齢者に対する理学療法士の役割について学ぶ。併せて、地域理学療法に従事するために熟知しておくべき法制度を学ぶとともに、法制度に基づく分野での理学療法の目的、現況等を、各法制度の目的や方法、制定に至った歴史的背景、具体的事例等を通して学習する。	

講義科目名称： リハビリテーション栄養学

授業コード：

英文科目名称： Rehabilitation Nutrition

対象カリキュラム： 2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	3学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
浅田 春美			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2021年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		

講義科目名称： 福祉機器論

授業コード：

英文科目名称： Adaptation to Assistive Device Use

対象カリキュラム： 2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	3学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
南 征吾			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2021年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		

講義科目名称： 作業療法理論

授業コード：

英文科目名称： Theories of Occupational Therapy

対象カリキュラム： 2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	3学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
石井 良和			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2021年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		

講義科目名称： 就労支援技術論

授業コード：

英文科目名称： Vocational Rehabilitation

対象カリキュラム： 2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	3学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
馬場 順子			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2021年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		

講義科目名称： 災害保健学

授業コード：

英文科目名称： Disaster Response and Recovery

対象カリキュラム： 2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	3学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
宮寺 寛子			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2021年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		

講義科目名称： 地域理学療法学

授業コード：

英文科目名称： Community-Based Physiotherapy

対象カリキュラム： 2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	3学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
岡崎 大資			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2021年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		

講義科目名称： 地域リハビリテーション学

授業コード：

英文科目名称： Community-based Rehabilitation

対象カリキュラム： 2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	3学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
岡崎 大資			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2021年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		

講義科目名称： 生活環境学

授業コード：

英文科目名称： Human Life and Environment

対象カリキュラム： 2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	3学年	2単位	必修
担当教員	担当者		
目黒 力			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2021年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		

講義科目名称： 国際保健学

授業コード：

英文科目名称： Global Health

対象カリキュラム： 2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	4学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
宮寺 寛子			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2021年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		

講義科目名称： 見学実習

授業コード： 4P121

英文科目名称： Clinical Clerkship

対象カリキュラム： 2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
浅田 春美	高橋正明, 中徹	鈴木学, 木村朗	目黒力, 岡崎大資
	黒川望, 橋口優	城下貴司, 田辺将也	加茂 智彦, 林翔太

授業形態	事前学内実習 (OSCE 1 コマ)、講義 (1コマ)、学外実習 (1週間：40時間)、実習後報告会 (2コマ)		担当者
授業計画	1	事前学内実習 (OSCE) (2時間) 見学実習に関する情報収集、実技確認等	鈴木, 浅田, 橋口, 岡崎, 城下, 黒川, 田辺
	2	講義：オリエンテーション及び接遇について (1時間) 見学実習の実習目的・実習内容等の説明、自己の目標設定 接遇講義	鈴木, 浅田, 橋口, 田辺
	3	学外臨床実習 (40時間) 病院等学外実習施設における見学実習 (臨床実習)	(学外実習指導者)
	4	実習後報告会 (2時間) 見学実習で学んできたことについての振り返りと報告会。自己目標に対するフィードバック	高橋, 木村, 目黒, 鈴木, 浅田, 橋口, 田辺
科目の目的	病院・施設等における理学療法の臨床場面の見学を通し、社会人・専門職としての基本的態度を養い、また、見学施設での理学療法士の役割、理学療法業務、リハビリテーションの中での理学療法士の位置づけを理解することを目的とする。 3年次での評価学実習、4年次の総合臨床実習Ⅰ・Ⅱに向けての導入・準備のための実習と位置づける。 【倫理観と幅広い教養】 【基本的知識と技術】 【地域リハビリテーションの理解・問題解決力】 【自己研鑽・探求力】		
到達目標	1. 社会人・専門職としての基本的態度を身につける。 2. 見学施設における理学療法士所属部署の位置づけ、他職種との関連を理解する。 3. 見学施設における理学療法の対象を理解する。 4. 見学施設における理学療法業務を理解する。		
関連科目	2年次までの履修科目全般。評価学実習、総合臨床実習Ⅰ、総合臨床実習Ⅱ		
成績評価方法・基準	実習前準備の成績 (OSCE) 20%、学外臨床実習成績40%、実習後報告会の成績40%を総合して評価する。		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	医療面接、理学療法評価 (バイタルチェック、形態計測、関節可動域測定) 技術、移乗動作介助の復習		
教科書・参考書	教科書：なし 参考書：岡田慎一郎他：理学療法臨床実習サポートブック，医学書院，2015		
オフィス・アワー	学外実習のため特に設定せず。電話にて適宜、フォローアップ。		
国家試験出題基準	《専門》-V-1-A, B, C, D, E, F		
履修条件・履修上の注意			
実務経験のある教員による授業			
実務経験	浅田 春美 (理学療法士)、高橋 正明 (理学療法士)、佐藤 満 (理学療法士)、木村 朗 (理学療法士)、鈴木 学 (理学療法士)、目黒 力 (理学療法士)、岡崎 大資 (理学療法士)、城下 貴司 (理学療法士)、黒川 望 (理学療法士)、橋口 優 (理学療法士)、田辺 将也 (理学療法士)、加茂 智彦 (理学療法士)、林 翔太 (理学療法士)		
授業の概要	学内で学んだ理学療法の基礎知識を基に、病院・施設での見学実習を通じて、理学療法の業務全般を体験して学ぶ。具体的には、理学療法の対象疾患、理学療法の流れ、理学療法評価、理学療法の治療法、リハビリテーションでの位置づけ等を見学を通して経験する。		

講義科目名称： 評価学実習

授業コード：

英文科目名称： Bedside Assessment Practicum

対象カリキュラム： 2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	3学年	5単位	必修
担当教員	担当者		
橋口 優			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2021年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
実務経験のある教員による授業		
実務経験	橋口 優（理学療法士）	
授業の概要	学内で学んだ理学療法の評価法の知識・技術を中心に病院・施設で実習する。理学療法の対象疾患である中枢神経疾患、整形外科疾患等の医療面接法、各種検査・測定、記録法等について、臨床実習指導者の下で実体験する。実習期間前後の合計5日間を事前事後指導にあてる。	

講義科目名称： 地域理学療法実習

授業コード：

英文科目名称： Practice in Community-Based Physiotherapy

対象カリキュラム： 2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	3学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
浅田 春美			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2021年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
実務経験のある教員による授業		
実務経験	浅田 春美（理学療法士）	
授業の概要	地域包括支援の方向にあつて、地域での生活を支援するために必要な理学療法、多職種との連携、行政との関わりを理解することを目的とした実習を行う。通所でのリハビリテーションまたは訪問リハビリテーションにて実務体験を通じて、多様な理学療法のありかたや多職種との連携を実践的に学ぶ。	

講義科目名称： 総合臨床実習 I

授業コード：

英文科目名称： Comprehensive Clinical Practicum I

対象カリキュラム： 2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	4学年	8単位	必修
担当教員	担当者		
鈴木 学			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2021年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
実務経験のある教員による授業		
実務経験	鈴木 学（理学療法士）	
授業の概要	学内で学んだ理学療法の知識、技術全般について、病院、施設で実習する。患者を対象として理学療法の流れに従って、理学療法評価、治療目標の設定、治療プログラムの作成、治療の実施、記録等を、臨床実習指導者の下で学ぶ。実習期間の前後合計5日間を事前事後指導にあてる。	

講義科目名称： 総合臨床実習Ⅱ

授業コード：

英文科目名称： Comprehensive Clinical Practicum II

対象カリキュラム： 2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	4学年	8単位	必修
担当教員	担当者		
鈴木 学			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2021年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
実務経験のある教員による授業		
実務経験	鈴木 学（理学療法士）	
授業の概要	学内で学んだ理学療法の知識、技術全般について、病院、施設で実習する。患者を対象として理学療法の流れに従って、理学療法評価、治療目標の設定、治療プログラムの作成、治療の実施、記録等を、臨床実習指導者の下で学ぶ。実習期間の前後合計5日間を事前事後指導にあてる。	